

2013年3月期
第1四半期
(2012年4~6月期)
決算アナリスト説明会

 SoftBank

2012年8月1日
ソフトバンク株式会社

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

移動体通信事業の収益認識基準について

移動体通信事業における売上高は、主に通信料売上と携帯端末売上からなります。通信料売上は、音声関連収入とデータ関連収入からなり、顧客にサービスを提供した時点で、料金プランに応じた月額定額の基本料金に従量料金を加え、割引額を控除した金額を収益として認識しています。

携帯端末売上は、携帯端末を販売代理店に出荷した時点で計上しています。販売代理店は、主に24カ月の割賦販売により、顧客へ携帯端末を販売します。ソフトバンクモバイル(株)は、販売代理店より割賦債権を買い取った上で、24カ月にわたって割賦債権の回収を行います。

新規顧客の契約事務手数料収入は、サービスを提供した時点で収益を認識しています。

経理編 4

連結P/L増減分析 5

連結B/S増減分析 18

連結C/F増減分析 29

財務編 33

事業編 53

ブロードバンド・インフラ事業 55

固定通信事業 59

移動体通信事業 64

経理編

**ソフトバンク株式会社
執行役員 経理部長 兼 内部統制室長**

君和田 和子

連結P/L增減分析

連結P/L総括

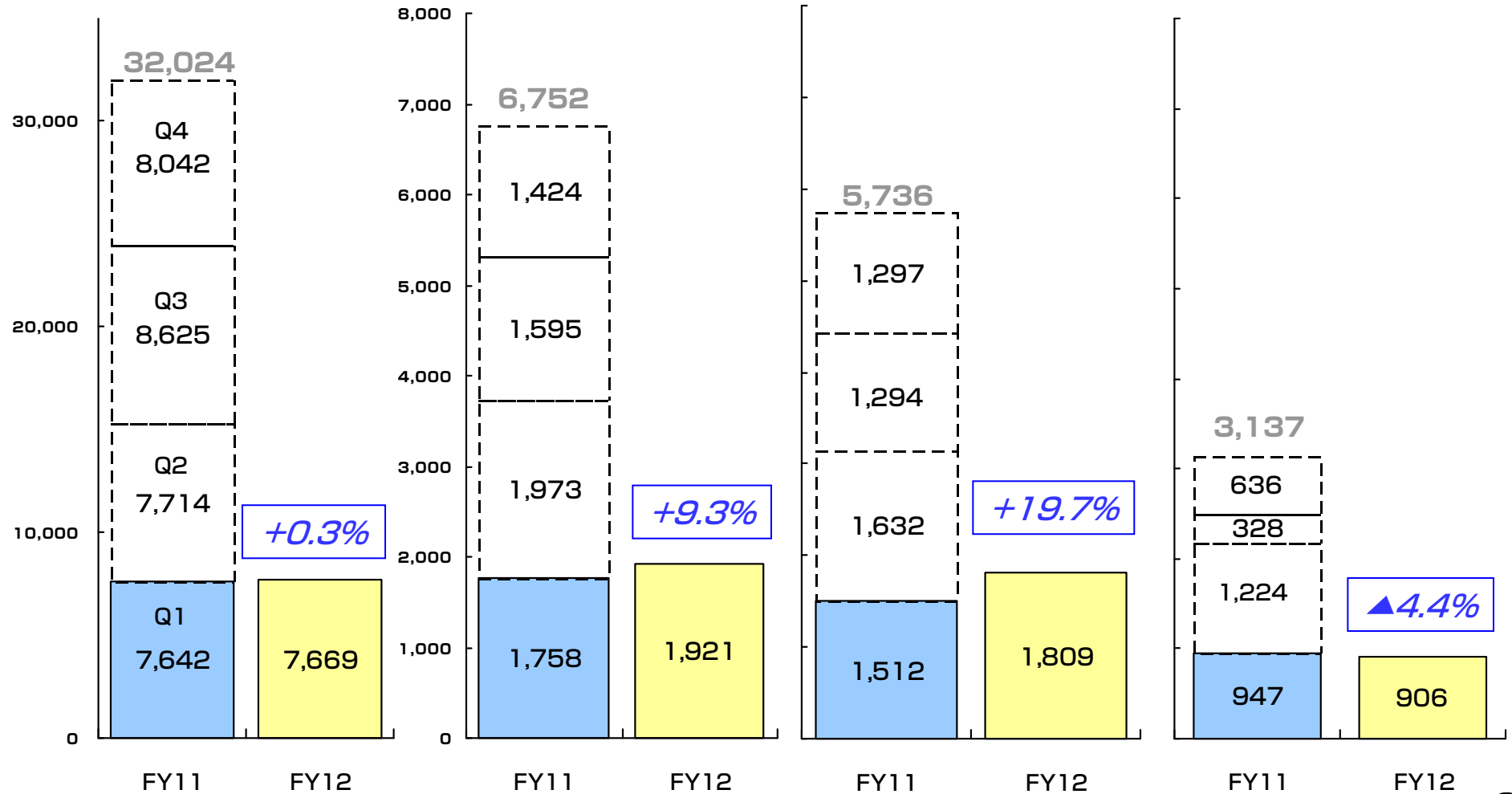
<億円>

売上高

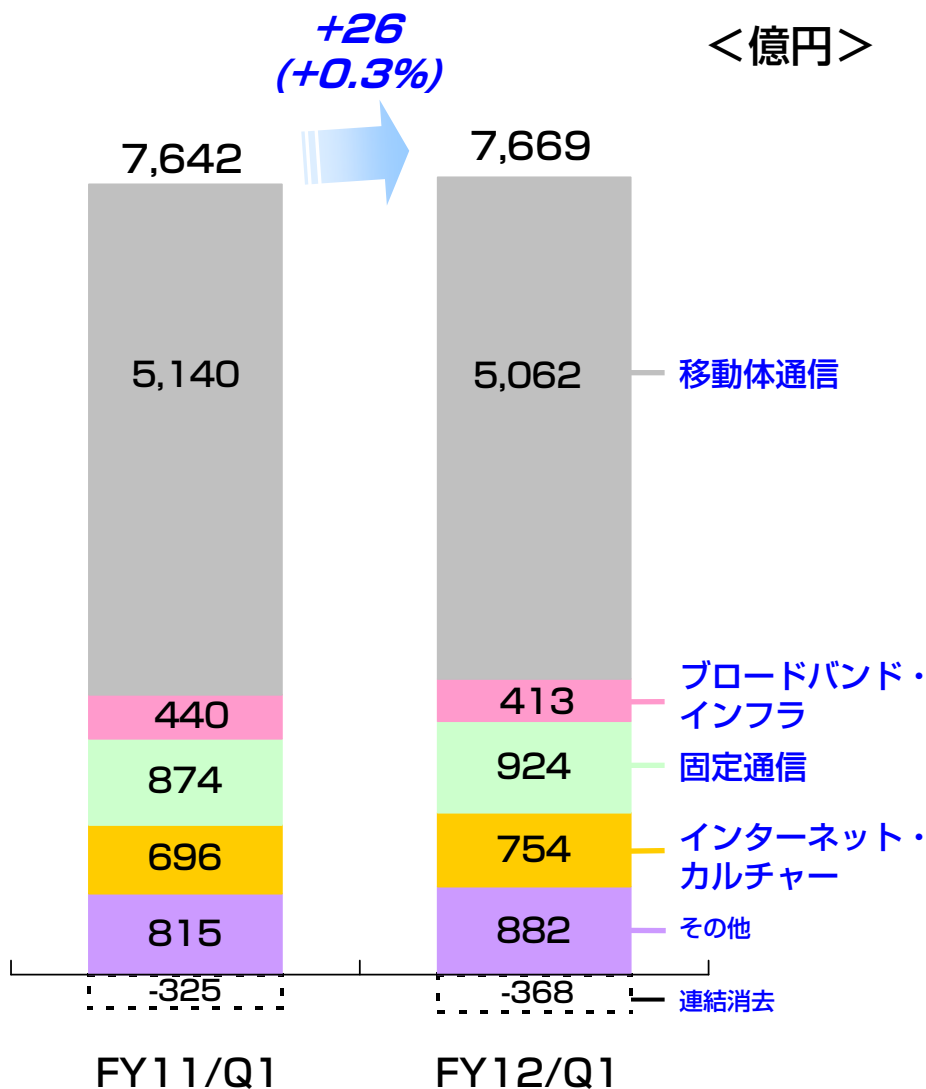
営業利益

経常利益

当期純利益



連結売上高



【増減と主な変動要因】

移動体通信事業 ▲78億

- 通信料売上の増加 +298億
 - データ関連収入の増加 +351億
 - 音声関連収入の減少 ▲71億
- 携帯端末売上の減少など ▲376億

ブロードバンド・インフラ事業 ▲26億

- Yahoo! BB ADSL売上の減少 ▲83億
- 「Yahoo! BB 光 with フレッツ」売上の増加 +33億

固定通信事業 +49億

- SBMなどグループ会社への伝送路貸し出し増加に伴う売上の増加
- 法人向けソリューション収入の増加 (データセンターなど)

インターネット・カルチャー事業 +58億

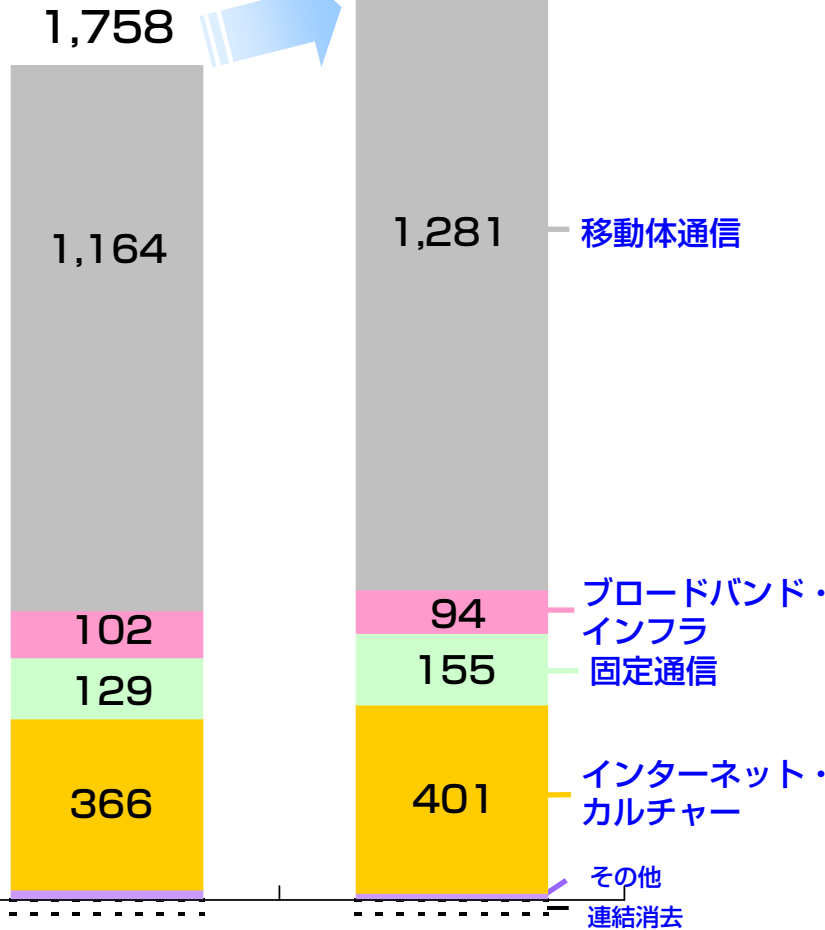
- スマホ経由のリスティング広告、ディスプレイ広告、ゲーム関連、情報掲載サービスの売上増加

※ 音声関連収入とは通話料、着信料収入、基本使用料などを、データ関連収入とはパケット通信料などを指します。
SBM：ソフトバンクモバイル

連結営業利益

+162
(+9.3%)

<億円>



FY11/Q1

FY12/Q1

【増減と主な変動要因】

移動体通信事業

+116億

- ・売上高の減少 ▲78億
- ・売上原価、販売費及び一般管理費の減少 +194億

商品原価と販売手数料の単価が低い端末の構成比増加による商品原価、販売手数料の減少
基地局増設などによる減価償却費の増加

ブロードバンド・インフラ事業

▲7億

- ・売上高の減少 ▲26億
- ・ADSL回線数減少による販売手数料の減少など +19億

固定通信事業

+26億

- ・売上高の増加 +49億
- ・売上原価、販売費及び一般管理費の増加 ▲23億

通信設備使用料の増加
法人向けソリューション原価の増加
リース期間満了資産の増加による賃借料の減少

インターネット・カルチャー事業

+35億

- ・売上高の増加 +58億

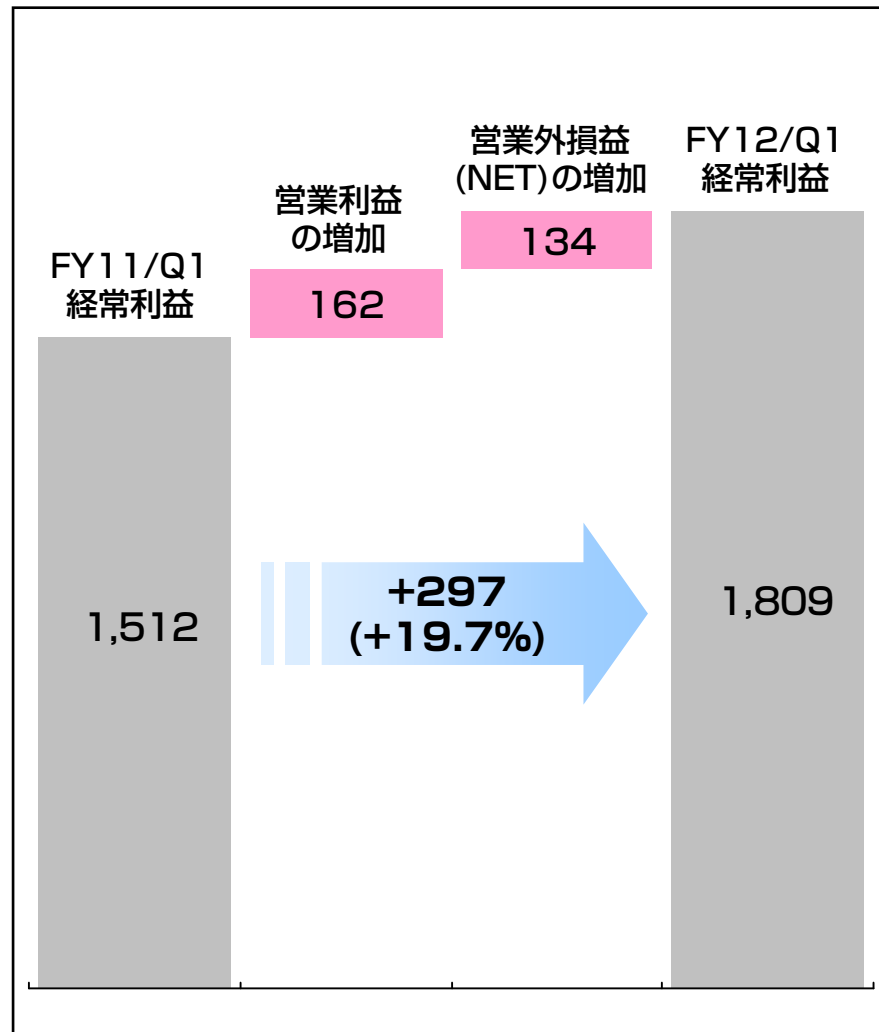
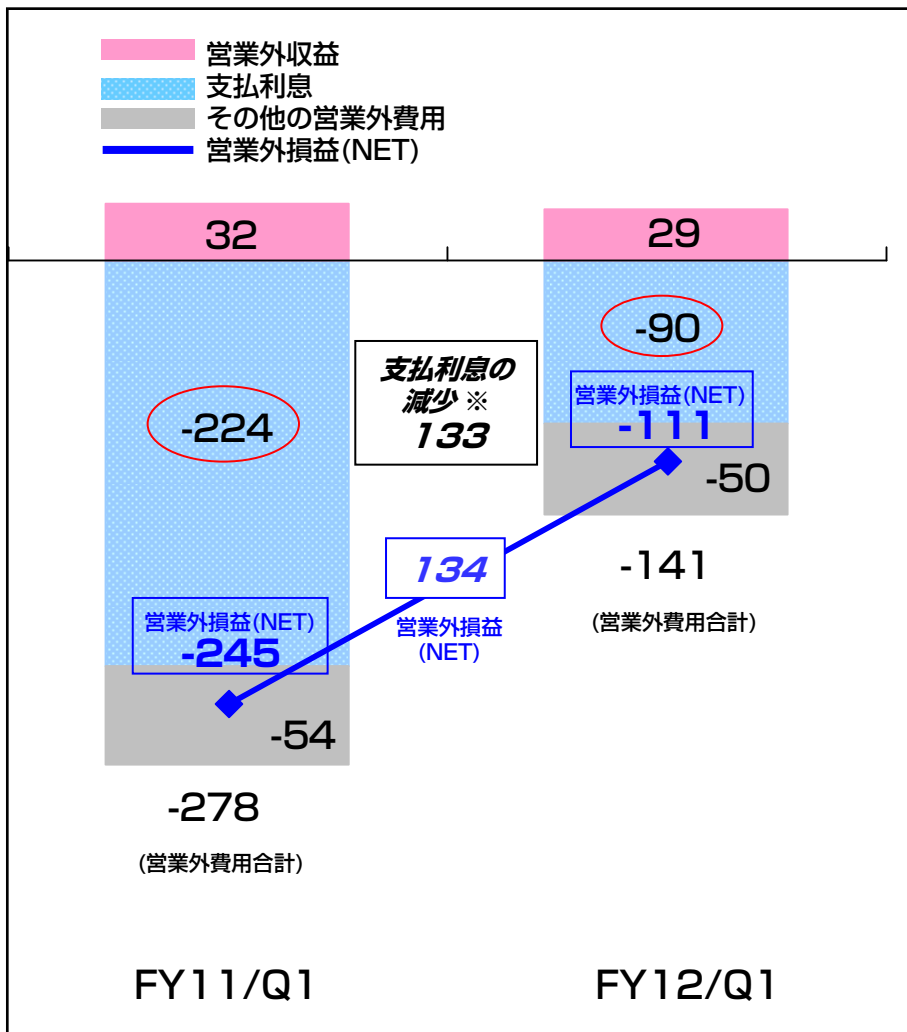
営業外損益と経常利益

<億円>

営業外損益

経常利益

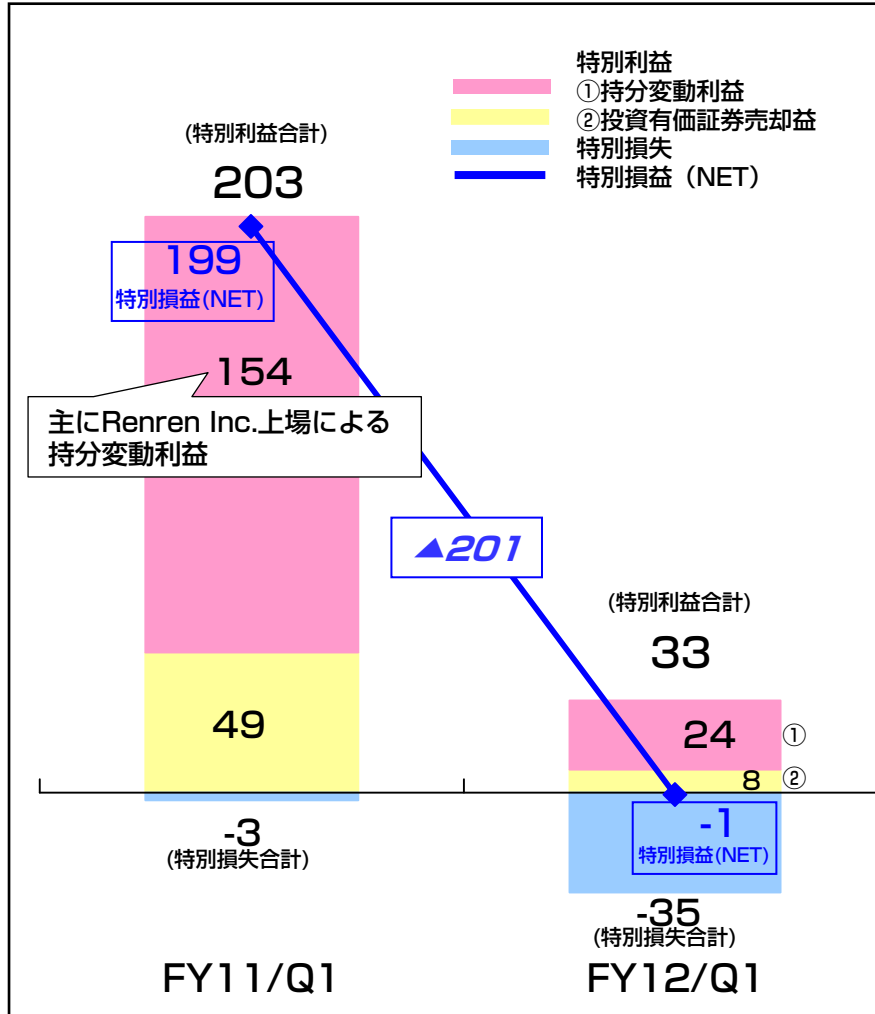
- 営業外収益
- 支払利息
- その他の営業外費用
- 営業外損益 (NET)



※ 2011年10月に、SBMローンを完済したことなどによる減少

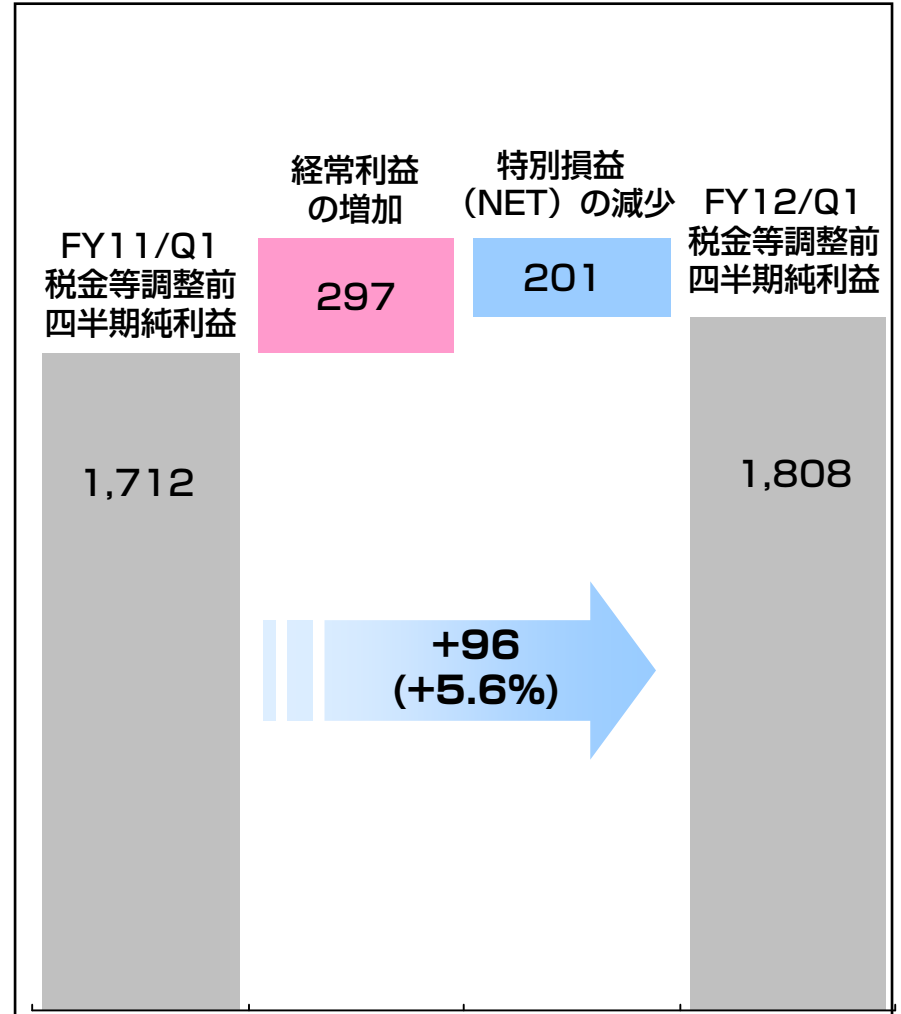
特別損益と税金等調整前四半期純利益

特別損益



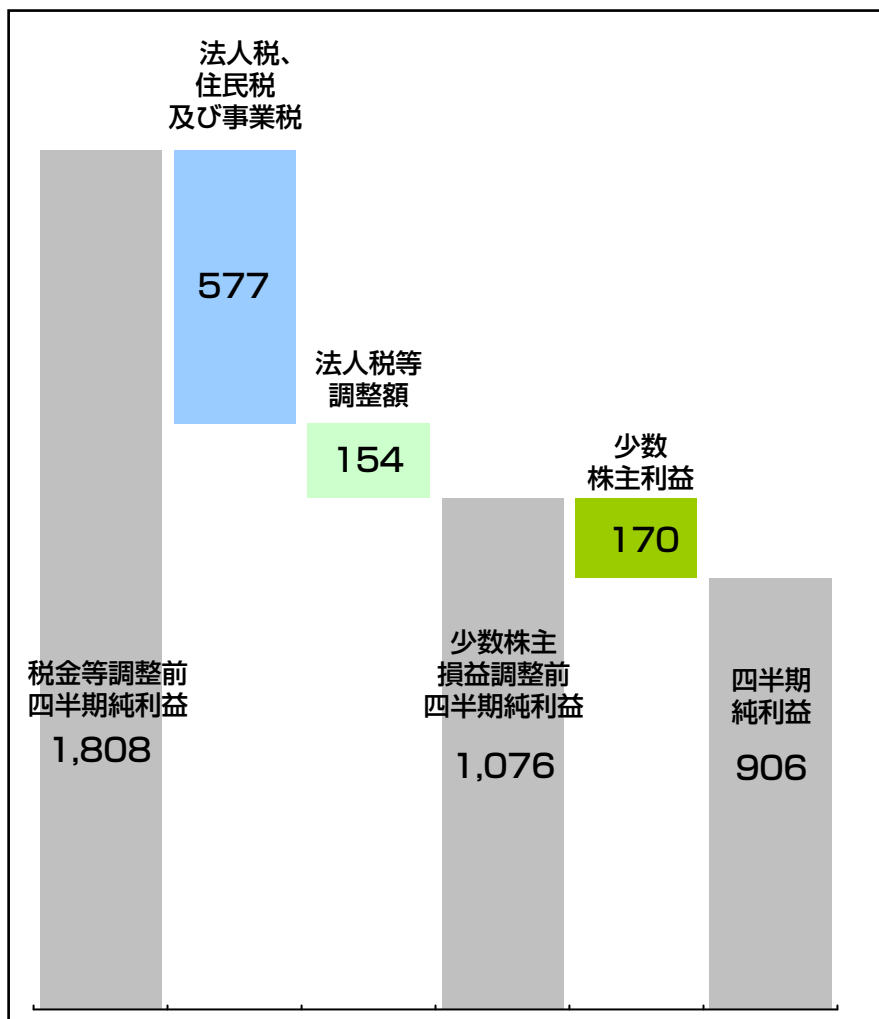
税金等調整前四半期純利益

<億円>



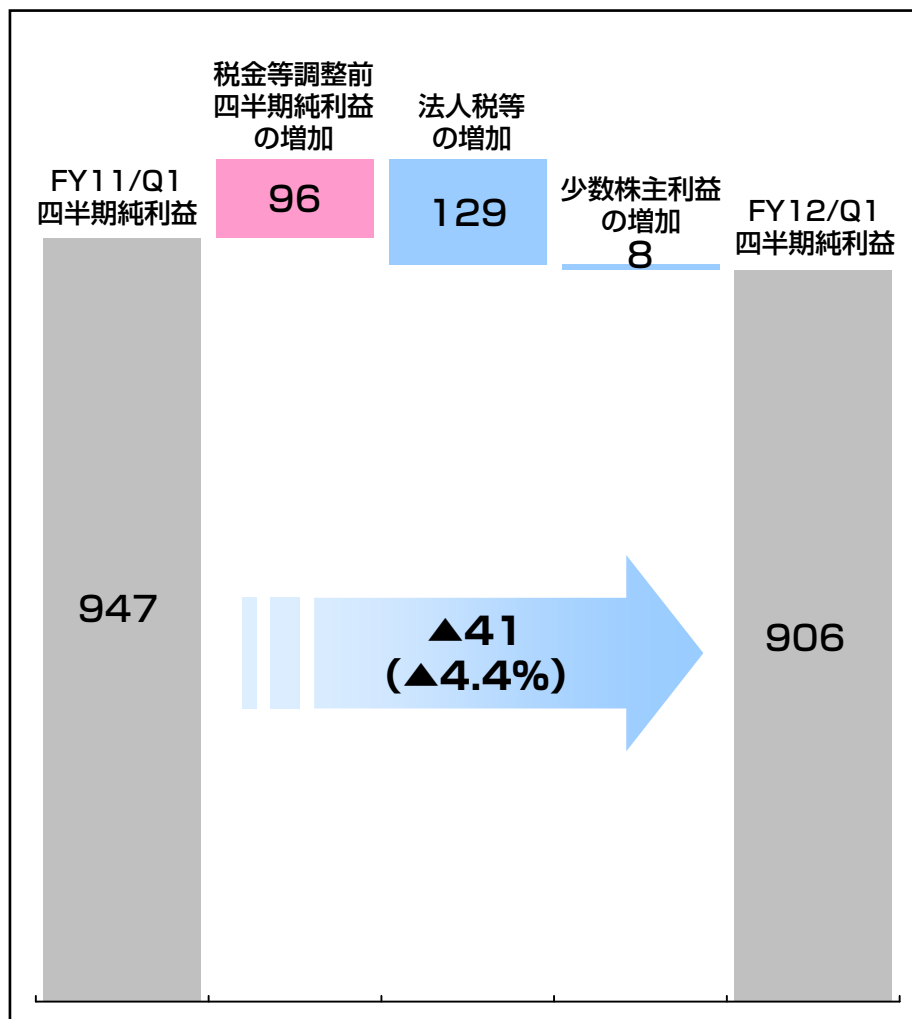
四半期純利益

四半期純利益



前年比増加要因

<億円>



(参考) FY12/Q1 包括利益

<億円>

	B/S 前期末残高 ①	期中変動額			B/S Q1末残高 (①+②-③+④)	P/L (②-③)
		四半期 包括利益 ②	(調整) 少数株主 持分相当額 ③	(調整) 持分法適用会社 に対する 持分相当額 ④		
少数株主損益調整前四半期純利益		1,076	170			906
その他の包括利益			少数株主利益			四半期純利益
その他有価証券評価差額金	105	▲121	▲0	▲6	▲22	
繰延ヘッジ損益	▲9	1	-	-	▲8	
為替換算調整勘定	▲308	▲47	+1	+89	▲267	
持分法適用会社に対する持分相当額 [※]	-	82	-	▲82	-	
その他の包括利益合計	▲212	▲85	+1	-	▲298	
四半期包括利益		991	171			820

少数株主に係る
四半期包括利益

親会社株主に係る
四半期包括利益

※. その他の包括利益各項目に含まれる、持分法適用会社に対する持分相当額を区分して表示

税金・その他調整額の内訳

FY12/Q1 主な税金費用の内訳

<億円>

A	法人税、住民税および事業税	577
	(主な内訳)	
	1. BBM 連結納税グループ法人税	268
	2. SBM 住民税および事業税 (BBM連結納税対象外)	131
	3. ヤフー	145
B	法人税等調整額	154
	(主な内訳)	
	4. SBTM 繰越欠損金の利用・一時差異解消など	68
	5. SBM 減価償却費等調整 (SBM連結時全面時価評価に伴うものの調整)	22
	6. SBM 一時差異解消 (未払事業税など)	22
	7. SBB 繰越欠損金の利用・一時差異解消など	7
	8. その他 一時差異	32
	税金費用合計(A+B)	731

BBM : BBモバイル SBM : ソフトバンクモバイル SBTM : ソフトバンクテレコム SBB : ソフトバンクBB

繰延税金資産・負債の内訳（参考）

2012年6月末

<億円>

繰延税金資産

(主な内訳) 減価償却費	515
繰越欠損金	373
連結子会社の全面時価評価	286
投資有価証券	209
ポイント引当金	126
貸倒引当金	124
未払金及び未払費用	109
その他	554
繰延税金資産 小計	2,300
評価性引当額	▲764

繰延税金資産 合計

1,536

繰延税金負債

(主な内訳) グループ法人税制に基づく関係会社株式売却益の税務上の繰延	▲116
その他有価証券評価差額金	▲17
その他	▲119

繰延税金負債合計

▲252

繰延税金資産の純額

1,283

税率差異要因 (参考)

FY12/Q1 主な税率差異要因

	率(%)	(参考) 金額(億円)
税金等調整前四半期純利益		1,808
法定実効税率	38.0%	687
(主な税率差異要因)		
・ のれん償却 (主にソフトバンクモバイル)	3.2%	57
・ 評価性引当額の減少	▲2.2%	▲39
・ その他	1.4%	25
法人税等の負担率	40.4%	731

自然エネルギー事業について（参考）

SBエナジー株式会社（ソフトバンクの100%連結子会社）

ソフトバンクグループの自然エネルギー発電事業を担う。

2012年7月1日より京都、群馬にて稼働を開始（下記参照）しています。

第2四半期に稼働した第1号案件	出力規模・出力量	稼働日
ソフトバンク京都ソーラーパーク（京都府京都市）	約2.1MW	7/1
ソフトバンク榛東ソーラーパーク（群馬県榛東村）	約2.4MW	7/1

当第1四半期 連結財務諸表への主な影響は、以下の通り。

総資産：約18億円

主に設備投資分

売上：なし

第1号案件の稼働が、2012年7月1日（第2四半期）であるため。

連結業績への影響は軽微

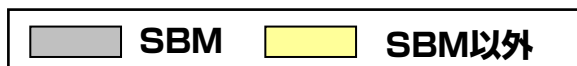
非連結子会社・関連会社等の業績

非連結子会社・関連会社等の損益および有利子負債の状況			
	社数	四半期純利益 (持分割合考慮後)	有利子負債 (グループ外部)
持分法非適用 非連結子会社	60	1.0億円	1.5億円
持分法適用 非連結子会社	3	-	-
持分法非適用 関連会社	24	▲0.7億円	該当なし
合計	87	0.2億円	1.5億円

※ソフトバンクは(株)ウィルコムが発行済株式100%を保有していますが、(株)ウィルコムは会社更生法上の更生会社であり、ソフトバンクとの間に有効な支配従属関係が存在しないと認められることから子会社としていません。そのため上表には含まれていません。

連結B/S增減分析

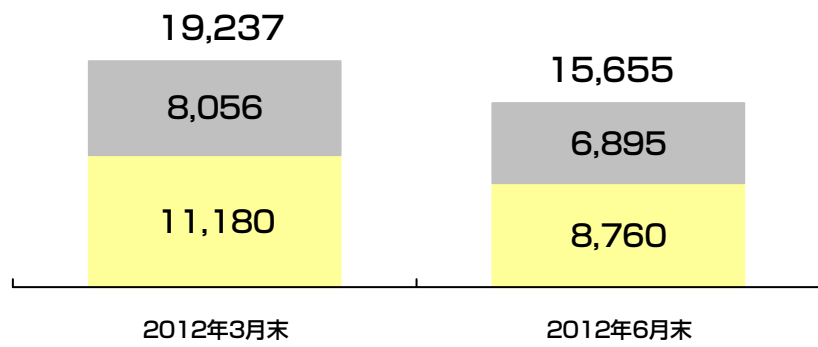
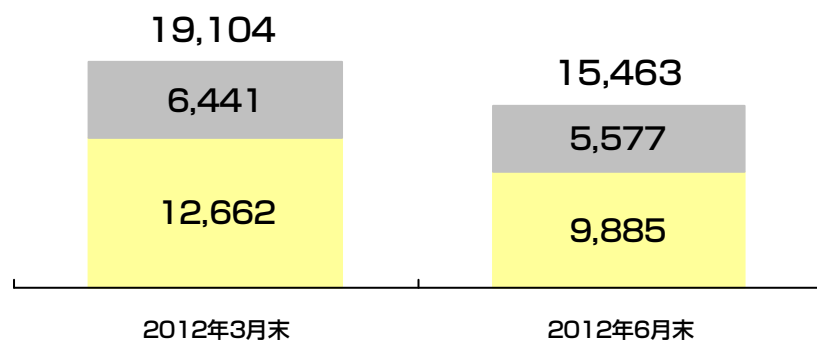
連結B/S 総括



<億円>

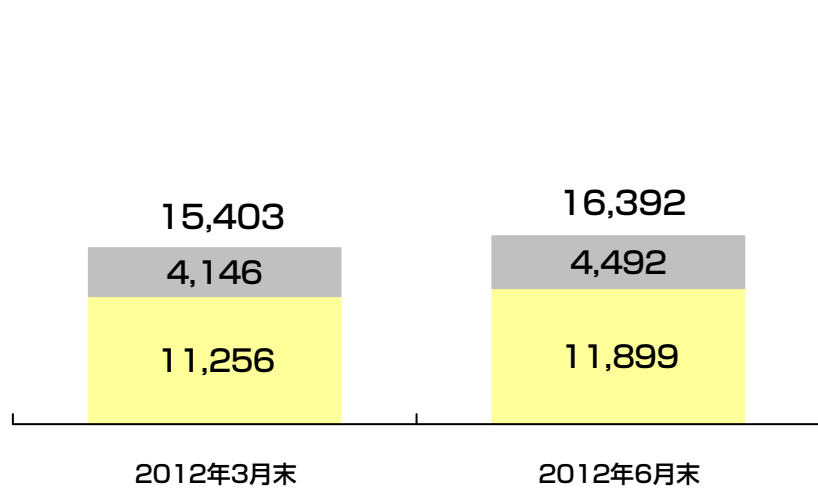
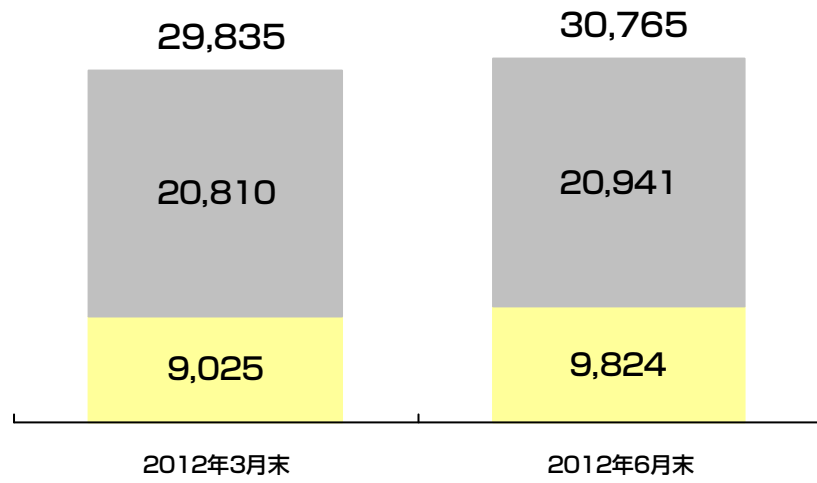
流動資産

流動負債



固定資産

固定負債



SBM：ソフトバンクモバイル

連結B/S (1) 流動資産

<億円>

資産	2012年3月末	2012年6月末	増減	摘要
流動資産	19,104	15,463	▲3,641	
SBM	6,441	5,577	▲864	
その他	12,662	9,885	▲2,777	
現金及び預金	10,162	7,581	▲2,580	
SBM	498	513	15	
その他	9,664	7,068	▲2,596	SB : 12/3末 (6,445) → 12/6末 (4,233) 内訳 / ポーダフォン向け優先株等の取得にかかる未払金の支払い (▲2,000) , 配当金の支払い (▲392) ヤフー : 12/3末 (2,416) → 12/6末 (2,000) アスクル(株)への出資 (▲330)
受取手形及び売掛金	6,612	5,728	▲884	
SBM	4,918	4,177	▲740	携帯電話端末の割賦売掛金 12/3末 (2,212) → 12/6末 (1,884) うち割賦売掛金売却 (▲785) 通信収入等売掛金 12/3末 (1,884) → 12/6末 (1,840) 携帯電話端末販売 (代理店向け) 12/3末 (758) → 12/6末 (412)
その他	1,694	1,550	▲143	SBB : 12/3末 (597) → 12/6末 (530) SBTM : 12/3末 (463) → 12/6末 (417)
有価証券	45	56	10	
SBM	-	-	-	
その他	45	56	10	
商品及び製品	426	288	▲137	
SBM	308	149	▲158	
その他	117	138	21	
繰延税金資産	564	384	▲179	
SBM	262	183	▲78	
その他	302	201	▲100	
その他	1,682	1,778	96	
SBM	786	850	64	
その他	896	928	31	
貸倒引当金	▲390	▲355	34	
SBM	▲331	▲297	34	
その他	▲58	▲58	0	

連結B/S (2) 有形固定資産

<億円>

資産	2012年3月末	2012年6月末	増減	摘要
固定資産	29,835	30,765	929	
SBM	20,810	20,941	131	
その他	9,025	9,824	798	
有形固定資産	12,963	14,096	1,132	
SBM	9,644	9,824	179	
その他	3,319	4,272	953	
建物及び構築物	774	1,180	406	
SBM	267	275	7	
その他	506	905	399	FSBHM：主に福岡Yahoo! JAPANドーム取得による増加（詳細は、本資料P.31参照）
通信機械設備	9,885	9,959	74	
SBM	8,514	8,543	29	機械設備取得（+377）、空中線設備等取得（+24）、償却等（▲373）
その他	1,371	1,415	44	SBTM：12/3末（983）→12/6末（992） SBB：12/3末（313）→12/6末（332）
通信線路設備	652	638	▲13	
SBM	80	79	▲1	
その他	571	558	▲12	SBTM：12/3末（571）→12/6末（558）
土地	231	738	507	
SBM	112	112	0	
その他	119	626	506	FSBHM：主に福岡Yahoo! JAPANドーム取得による増加（詳細は、本資料P.31参照）
建設仮勘定	805	938	133	
SBM	496	641	144	
その他	308	297	▲10	
その他	615	640	25	
SBM	173	172	▲0	
その他	442	468	26	

SBM：ソフトバンクモバイル FSBHM：福岡ソフトバンクホークスマーケティング SBTM：ソフトバンクテレコム SBB：ソフトバンクBB

連結B/S (3) 無形固定資産・投資その他の資産

資産	2012年3月末	2012年6月末	増減	摘要
固定資産	29,835	30,765	929	
無形固定資産	11,265	11,165	▲100	
SBM	10,110	10,034	▲76	
その他	1,154	1,130	▲23	
のれん	7,802	7,644	▲158	
SBM	7,242	7,114	▲128	規則的な償却による減少
その他	559	530	▲29	規則的な償却による減少
ソフトウェア	3,101	3,219	117	
SBM	2,768	2,852	84	
その他	333	366	33	
その他	361	301	▲59	
SBM	99	67	▲31	
その他	261	233	▲27	
投資その他の資産	5,606	5,503	▲102	
SBM	1,055	1,082	27	
その他	4,551	4,420	▲130	
投資有価証券	3,381	3,182	▲199	
SBM	7	7	0	
その他	3,374	3,174	▲199	Alibaba.com Limited 非公開化の影響 (▲512) ※ ヤフー：アスクル株への出資 (330)
繰延税金資産	1,043	1,081	38	
SBM	649	682	32	
その他	393	398	5	
その他	1,340	1,406	65	
SBM	512	514	1	
その他	828	892	63	
貸倒引当金(長期)	▲159	▲166	▲7	
SBM	▲114	▲121	▲7	
その他	▲45	▲45	▲0	
繰延資産	56	52	▲4	
SBM	—	—	—	
その他	56	52	▲4	

<億円>

※ 詳細はP.26を参照
SBM：ソフトバンクモバイル

連結B/S (4) 流動負債

<億円>

負債	2012年3月末	2012年6月末	増減	摘要
流動負債	19,237	15,655	▲3,581	
SBM	8,056	6,895	▲1,161	
その他	11,180	8,760	▲2,420	
支払手形及び買掛金	1,905	1,372	▲532	
SBM	1,204	817	▲386	携帯端末仕入債務の支払いなど
その他	701	554	▲146	SBB: 12/3末(415) → 12/6末(315)
短期借入金	4,031	3,881	▲149	
SBM	-	-	-	
その他	4,031	3,881	▲149	SB: 12/3末(4,019) → 12/6末(3,869)
1年内償還予定の社債	1,449	1,699	250	
SBM	-	-	-	
その他	1,449	1,699	250	SB: 第31回無担保普通社債を固定負債から振替(+250)
未払金及び未払費用	8,350	5,755	▲2,594	
SBM	5,097	4,452	▲644	代理店向け未払金(▲411)、設備未払金(▲62)
その他	3,253	1,302	▲1,950	SB: ポーダフォン向け優先株等の取得にかかる未払金の支払い(▲2,000)
リース債務	1,526	1,659	132	
SBM	1,268	1,341	72	
その他	258	317	59	
その他	1,973	1,286	▲686	
SBM	486	282	▲203	未払事業税・住民税12/3末(318) → 12/6末(136)
その他	1,486	1,003	▲483	未払法人税等 BBM: 12/3末(541) → 12/6末(250) ヤフー: 12/3末(340) → 12/6末(149)

SBM: ソフトバンクモバイル SBB: ソフトバンクBB SB: ソフトバンク BBM: BBモバイル

連結B/S (5) 固定負債

<億円>

負債	2012年3月末	2012年6月末	増減	摘要
固定負債	15,403	16,392	989	
SBM	4,146	4,492	346	
その他	11,256	11,899	642	
社債	4,599	4,349	▲250	
SBM	-	-	-	
その他	4,599	4,349	▲250	SB：第31回無担保普通社債を流動負債へ振替（▲250）
長期借入金	5,600	5,651	50	
SBM	-	-	-	
その他	5,600	5,651	50	SB：12/3末（5,590）→12/6末（5,640）
繰延税金負債	203	182	▲20	
SBM	-	-	-	
その他	203	182	▲20	
ポイント引当金	320	335	14	
SBM	320	335	14	利用顧客に対するポイント割引
その他	-	-	-	
リース債務	3,476	4,698	1,221	
SBM	3,168	3,551	382	
その他	308	1,147	839	FSBHM：主に福岡Yahoo! JAPANドーム取得による増加（詳細は、本資料P.31参照）
その他	1,202	1,175	▲27	
SBM	657	606	▲51	
その他	544	568	23	

SBM：ソフトバンクモバイル SB：ソフトバンク FSBHM：福岡ソフトバンクホークスマーケティング

連結B/S (6) 純資産

<億円>

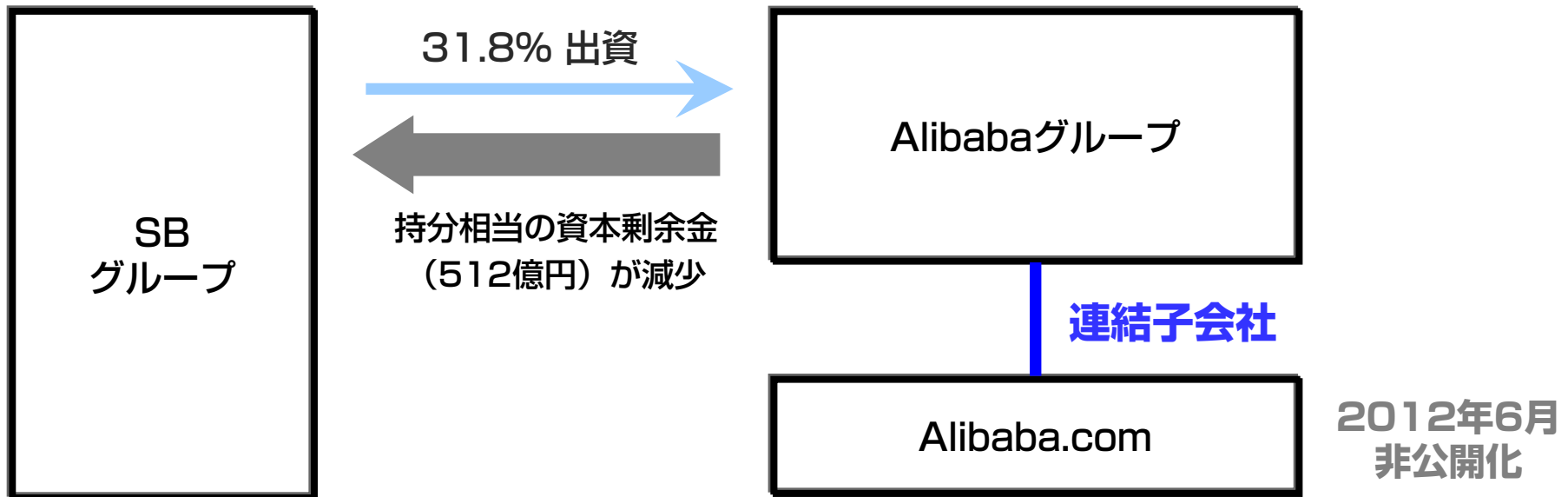
純資産	2012年3月末	2012年6月末	増減	摘要
純資産の部	14,356	14,232	▲123	
株主資本	9,579	9,533	▲46	
資本金	2,137	2,137	-	
資本剰余金	2,365	1,853	▲512	Alibaba.com Limited 非公開化による影響 (▲512) ※
利益剰余金	5,305	5,771	466	四半期純利益 (+906)、配当金 (▲439)
自己株式	▲229	▲229	▲0	
その他の包括利益累計額	▲212	▲298	▲86	
その他有価証券評価差額金	105	▲22	▲128	
繰延ヘッジ損益	▲9	▲8	1	
為替換算調整勘定	▲308	▲267	41	
新株予約権	8	9	0	
少数株主持分	4,980	4,989	8	ヤフー：12/3末 (2,632) → 12/6末 (2,663)

※ 詳細はP.26を参照

Alibaba.com非公開化による影響（参考）

Alibabaグループ*1（当社が株式の31.8%を所有）が、子会社であるAlibaba.com *2 株式について2012年6月に公開買付けを実施し、非公開化しました。Alibabaグループは、米国会計基準に準拠しているため、資本剰余金の減少として処理しました。それに伴い、当社においても資本剰余金が、512億円（持分相当額）減少しました。

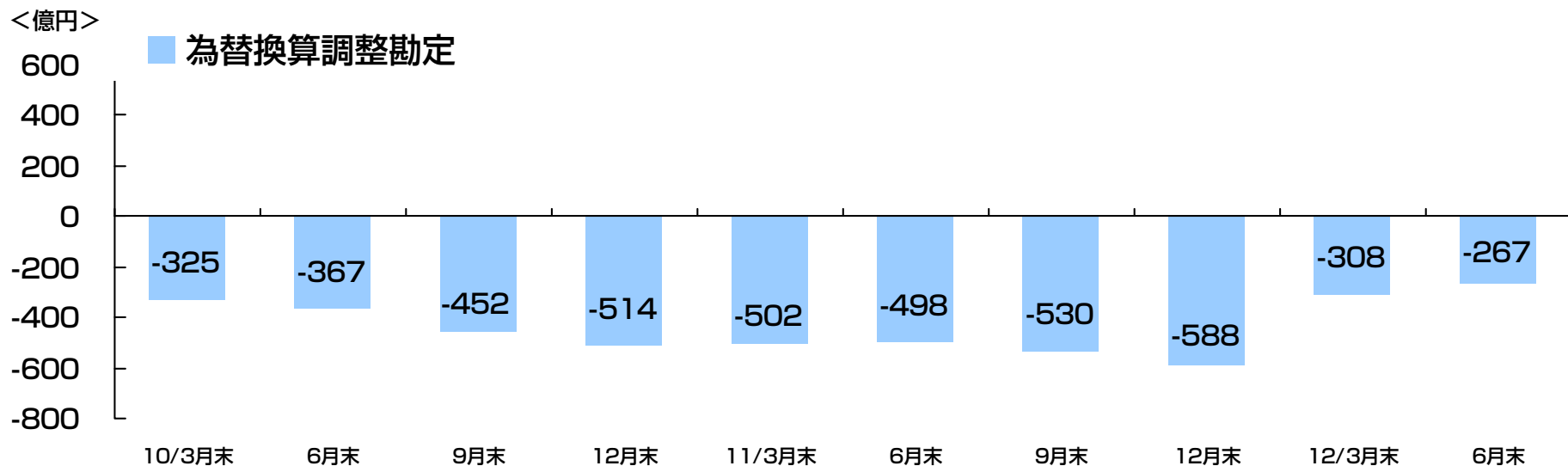
【当社とAlibabaグループとの関連図】



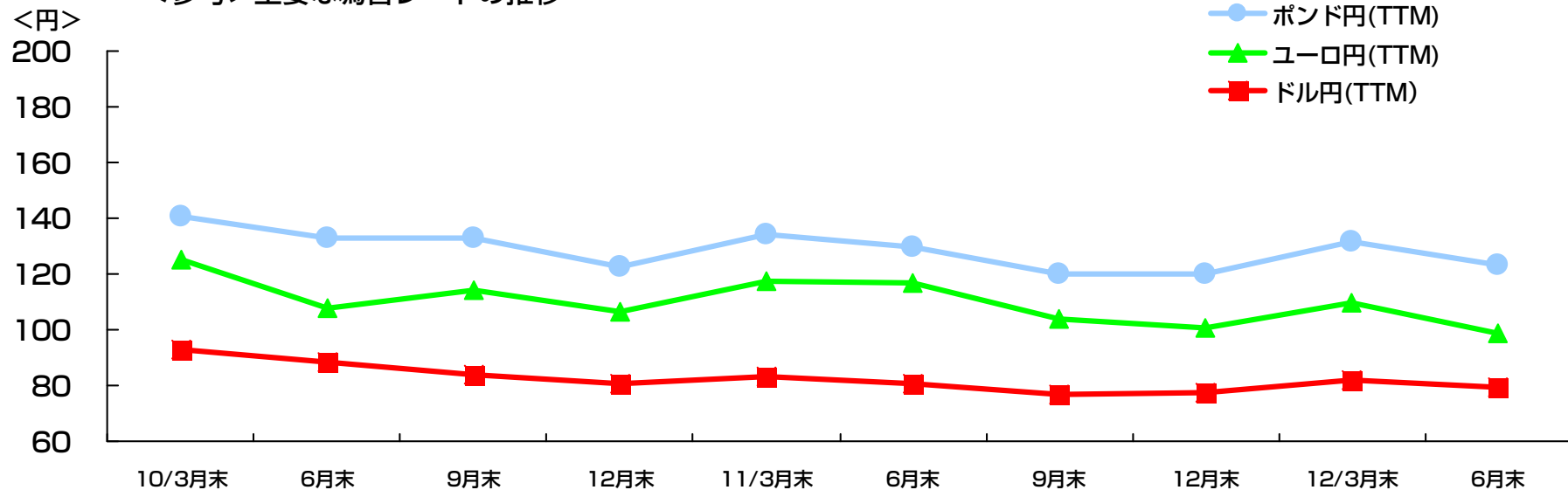
*1 Alibaba Group Holding Limited

*2 Alibaba.com Limited

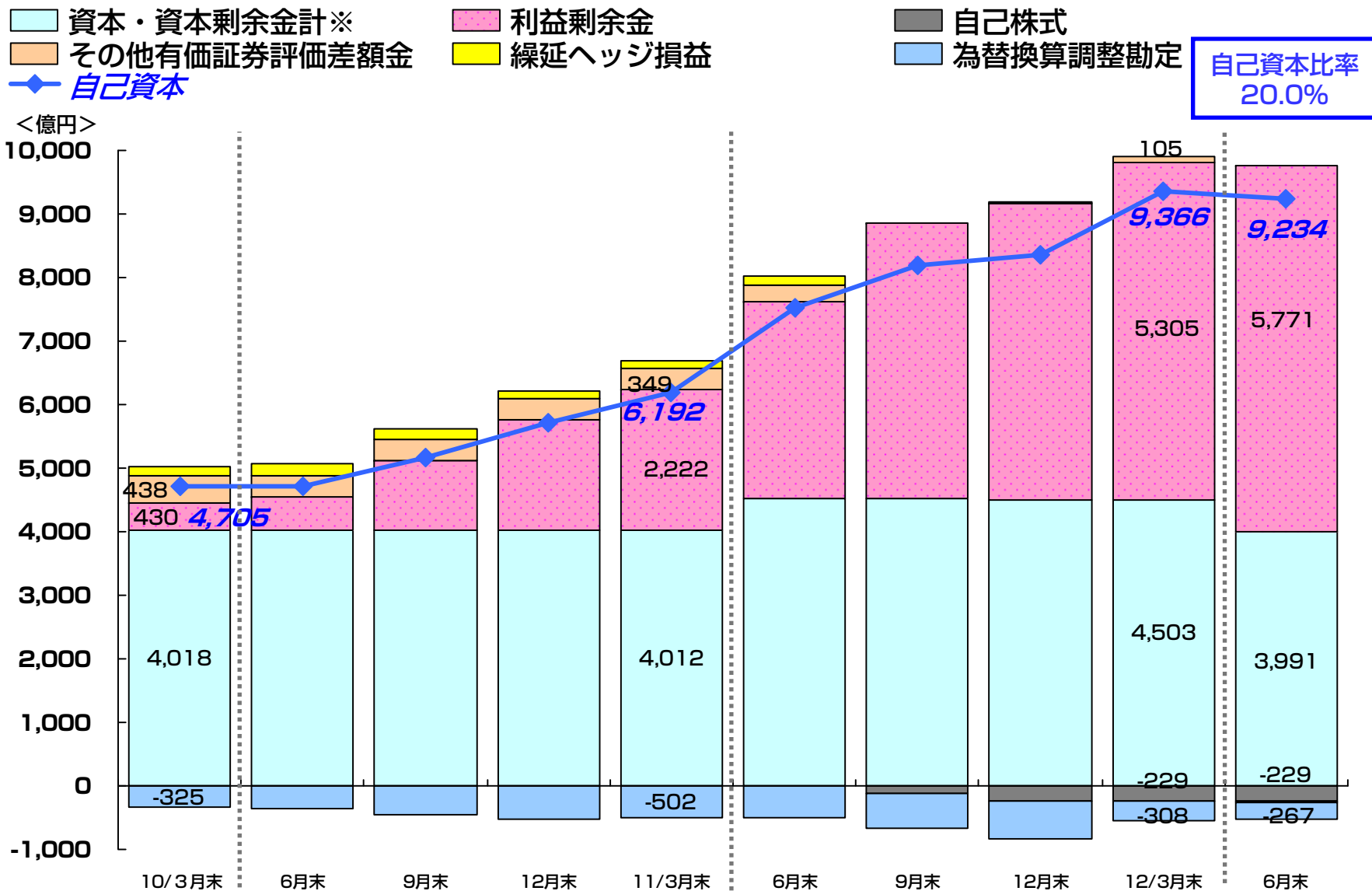
[純資産]為替変動による為替換算調整勘定への影響



<参考> 主要な為替レート推移



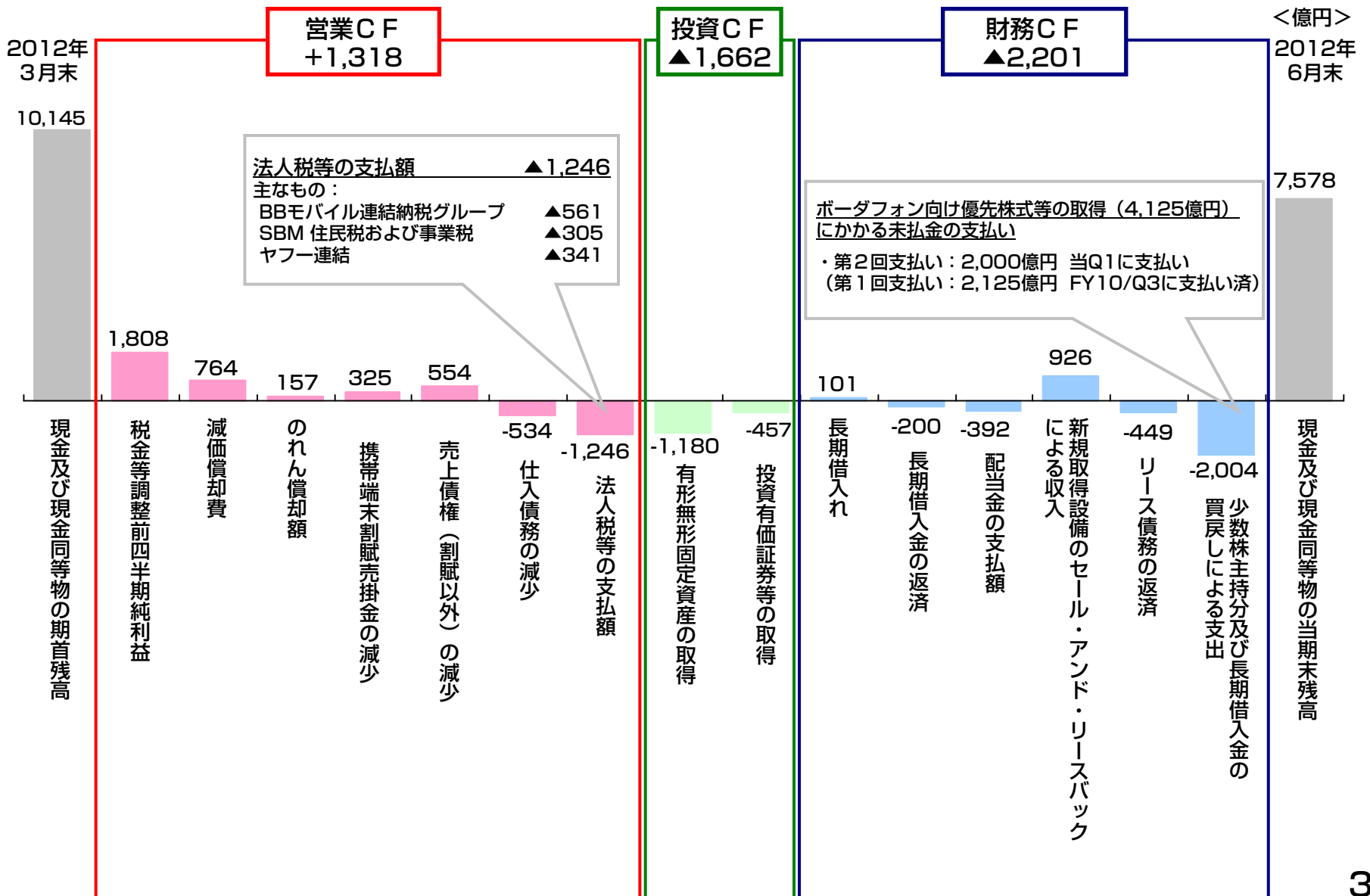
[純資産]自己資本の推移



※新株式申込証拠金を含む。

連結C/F增減分析

連結キャッシュ・フロー 主な内訳



※連結キャッシュ・フロー計算書に記載している項目のうち、主なものを記載しています。

(参考) 福岡Yahoo! JAPANドーム取得の会計処理

当グループは、2012年3月24日に GIC*1 グループより、福岡Yahoo! JAPANドームを取得（2015年7月1日に福岡ソフトバンクホークスマーケティング(株)*2が信託受益権を取得）することで合意しました。当契約は従来のドームリース契約と一体をなすものです。

	旧契約（リース） ～2011年度	新契約（リース & 信託受益権取得） 2012年度～	2015年7月～
	所有権移転外ファイナンスリース 賃貸借処理（リース注記）	所有権移転ファイナンスリース オンバラ処理（BS計上）	信託受益権を取得 （745億円支払）
BS	なし 旧リース会計基準適用のため 賃貸借処理	建物：382 土地：493 876億円	建物：345 土地：493 838億円
CF	リース料の支払 （営業CF） ▲50億円 /年	利息の支払額（営業CF） ▲10億円 /年 リース債務の返済（財務CF） ▲40億円 /年 ②	リース債務の返済 （財務CF） ▲745億円 （① - ② × 3年4カ月分）
PL	リース料 ▲50億円 /年	支払利息 ▲10億円 /年 減価償却費 ▲11億円 /年 ③	減価償却費 ▲11億円 /年

減価償却③ 3年4カ月分 減少

① ② × 3年4カ月分

*1 GIC：シンガポール政府投資公社

*2 当契約の主体である福岡ソフトバンクホークスマーケティング(株)の決算日である2月末日の財務諸表を連結財務諸表に反映しているため、当契約は当連結会計年度（2012年度）における取引となります。

*3 BS、CF、PLの金額は概算

The logo consists of two horizontal gray bars stacked vertically, positioned to the left of the text.

SoftBank

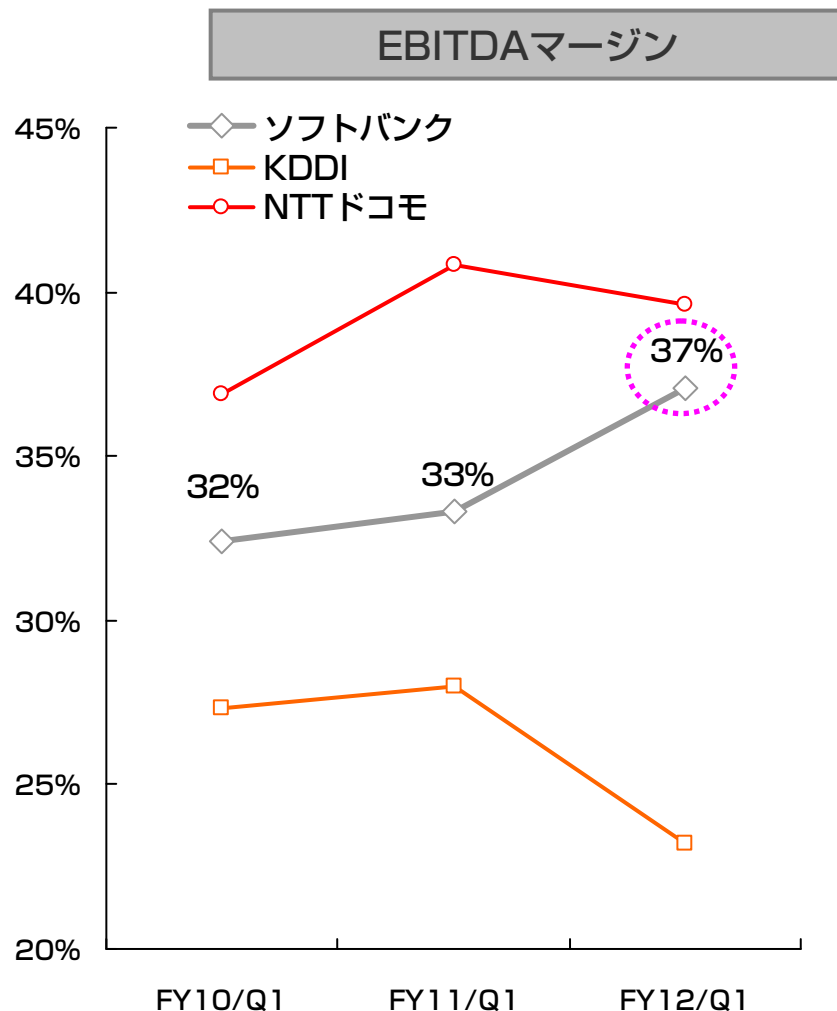
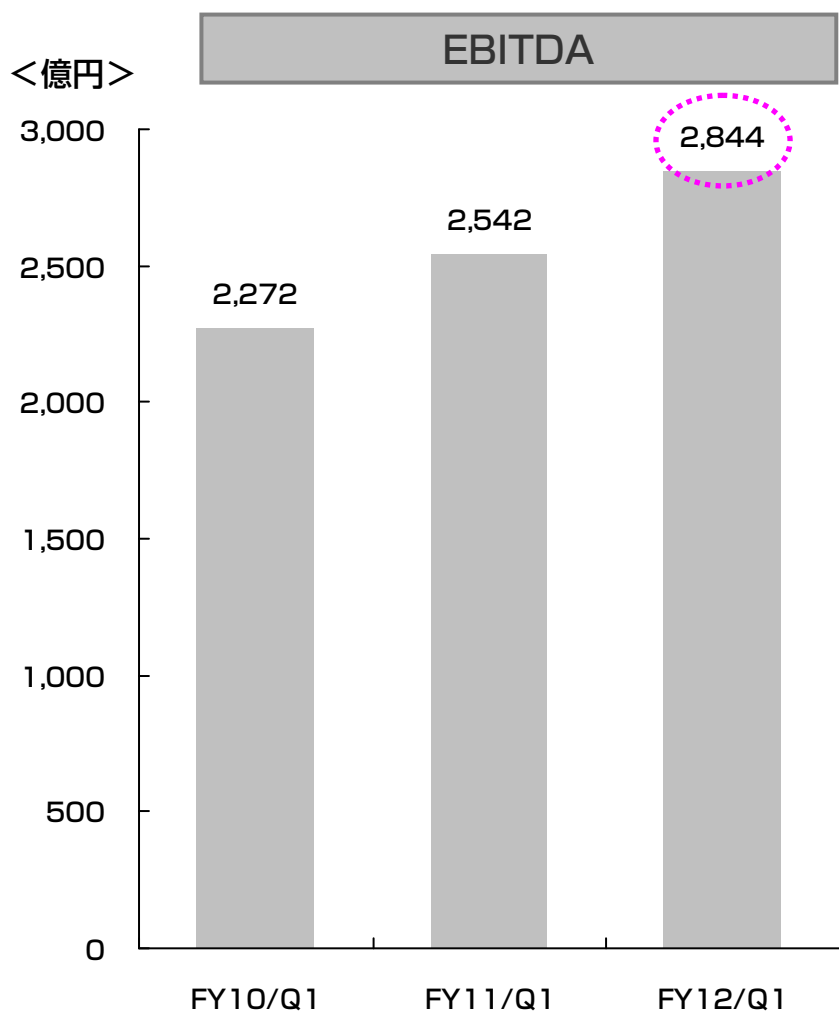
財務編

ソフトバンク株式会社
常務執行役員 財務部長

後藤 芳光

EBITDA・EBITDAマージン

EBITDAマージンは上昇を維持

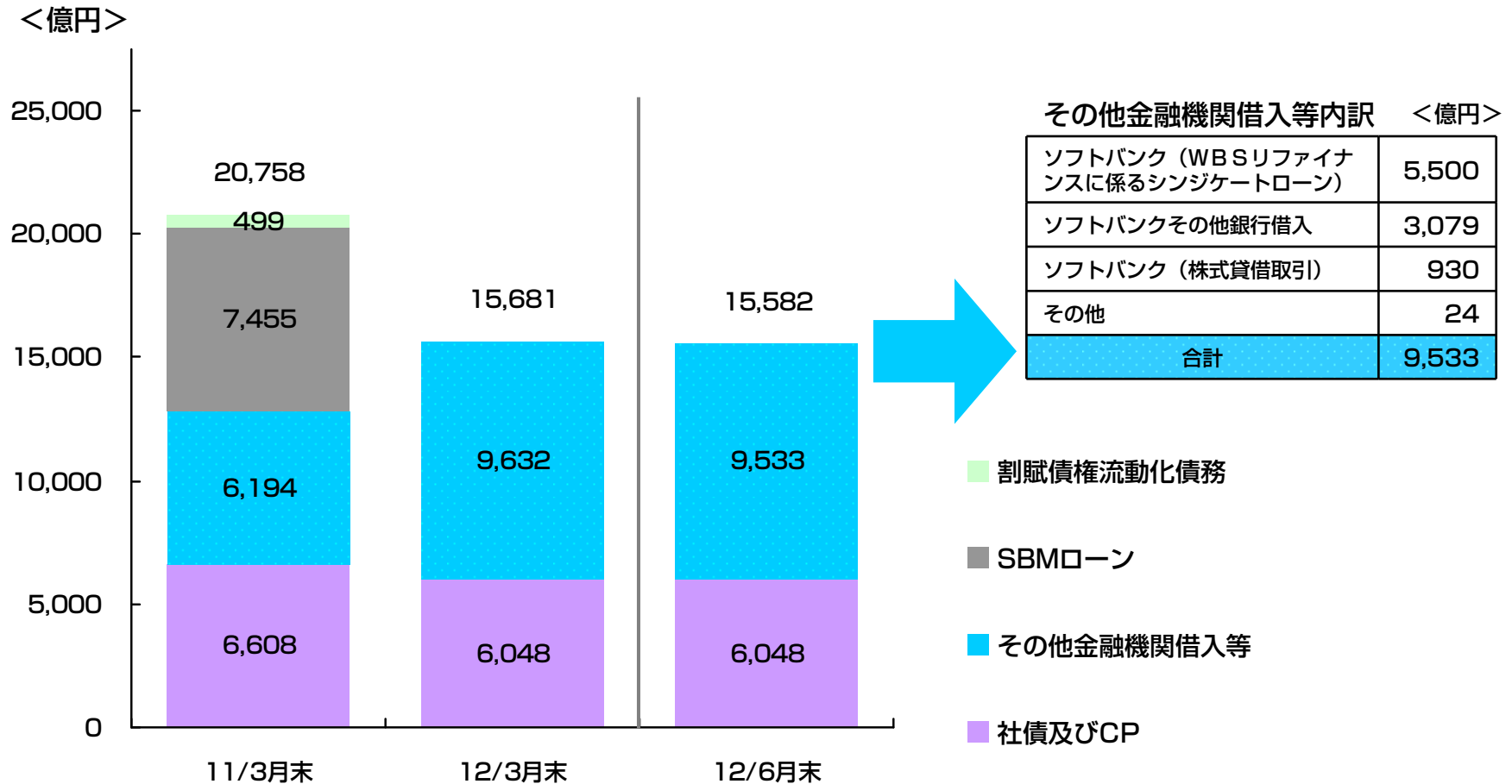


※ 1. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却費
2. EBITDAマージン=EBITDA÷売上高

(出所) 各社開示資料を基に当社作成

有利子負債

第1四半期は変動なし

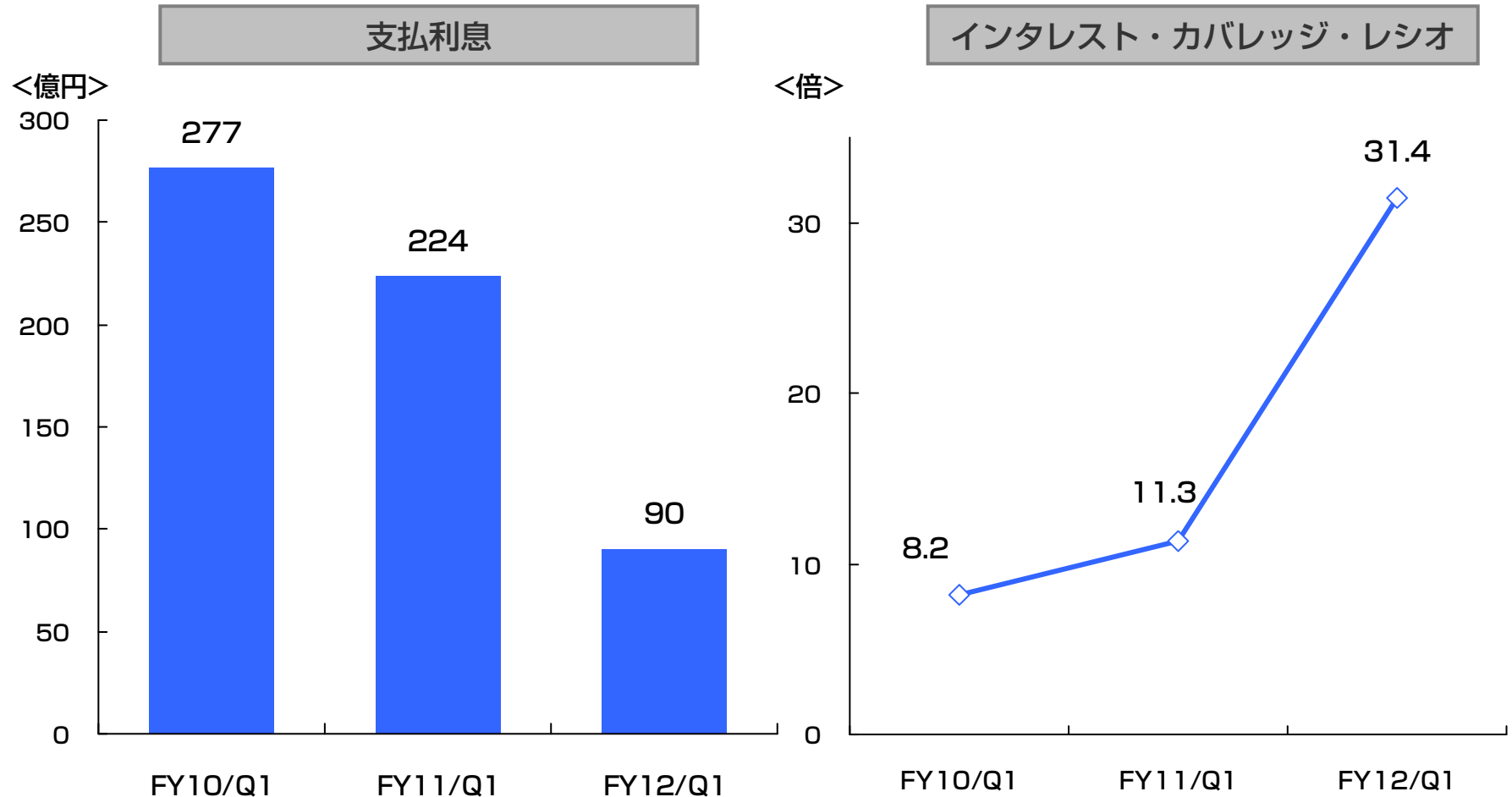


※ 1. 有利子負債＝短期借入金＋コマーシャルペーパー＋1年内償還予定の社債＋社債＋長期借入金。リース債務を含まず。

2. SBMローン：ポータフォン日本法人の買収のために調達した資金を、2006年11月に事業証券化（WBS）の手法によりリファイナンスしたものの、2011年3月末は、当社が取得したWBS Class B2 Funding Notes（実質的にSBMローンの一部）の額面270億円をSBMローンから控除。

支払利息

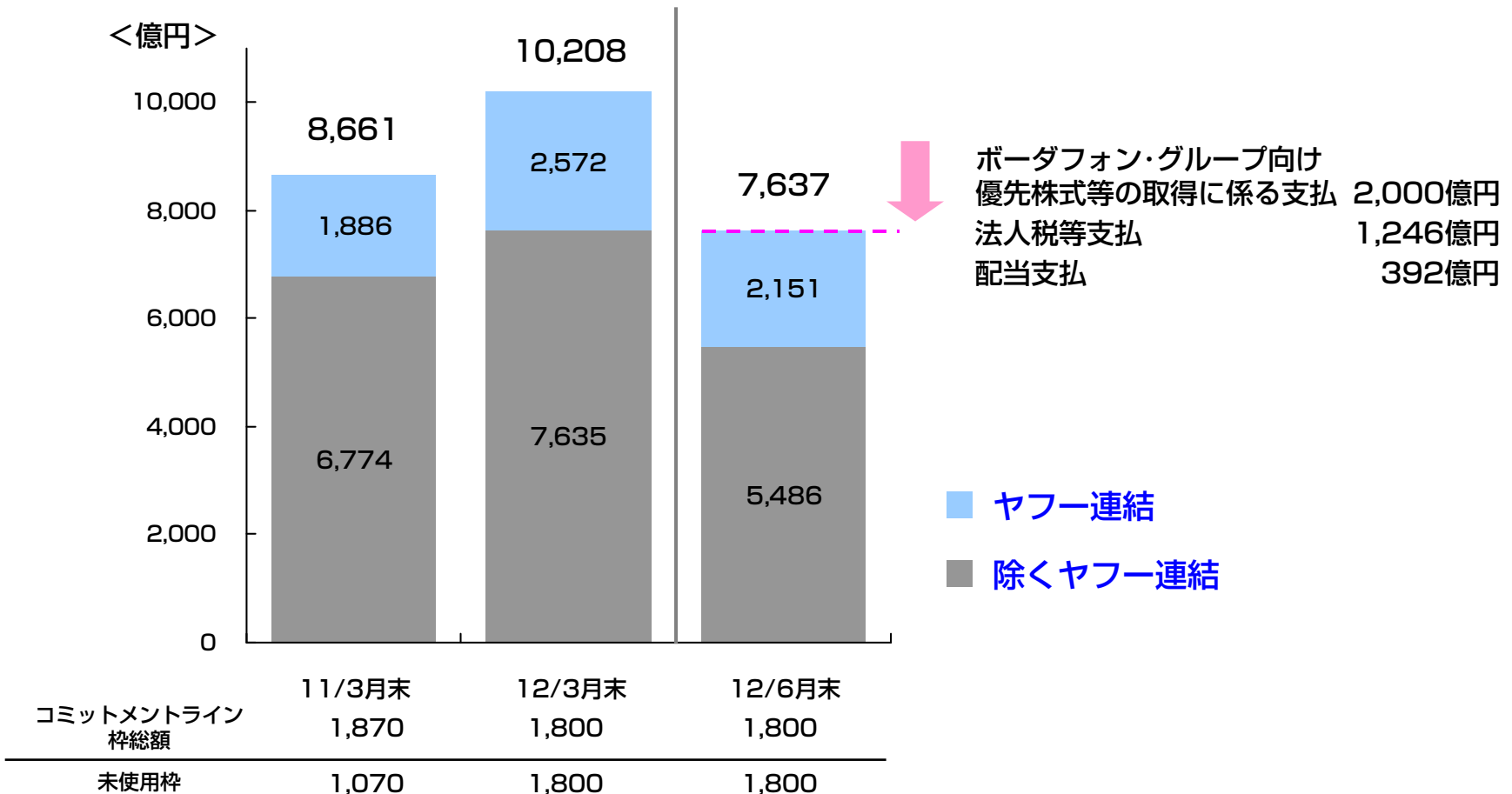
携帯事業買収資金のリファイナンスにより、支払利息は大幅に減少



※ 1. $\text{インタレスト・カバレッジ・レシオ} = \text{EBITDA} \div \text{支払利息}$
2. $\text{EBITDA} = \text{営業損益} + \text{減価償却費} + \text{のれん償却費}$

手元流動性

未払金や税金支払等により減少も、潤沢な水準を維持

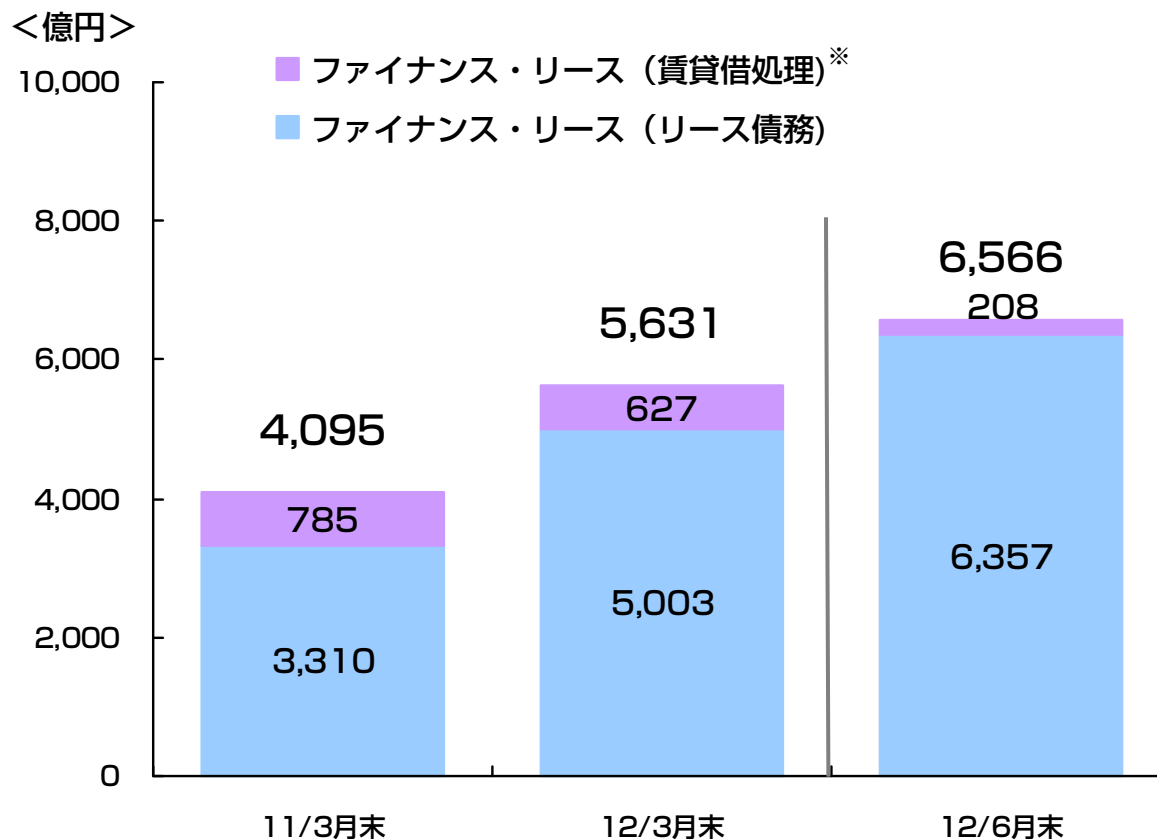


※ 1. 手元流動性=現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券 (当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く)

2. コミットメントライン未使用枠=コミットメントライン枠総額-コミットメントライン借入額

リース債務

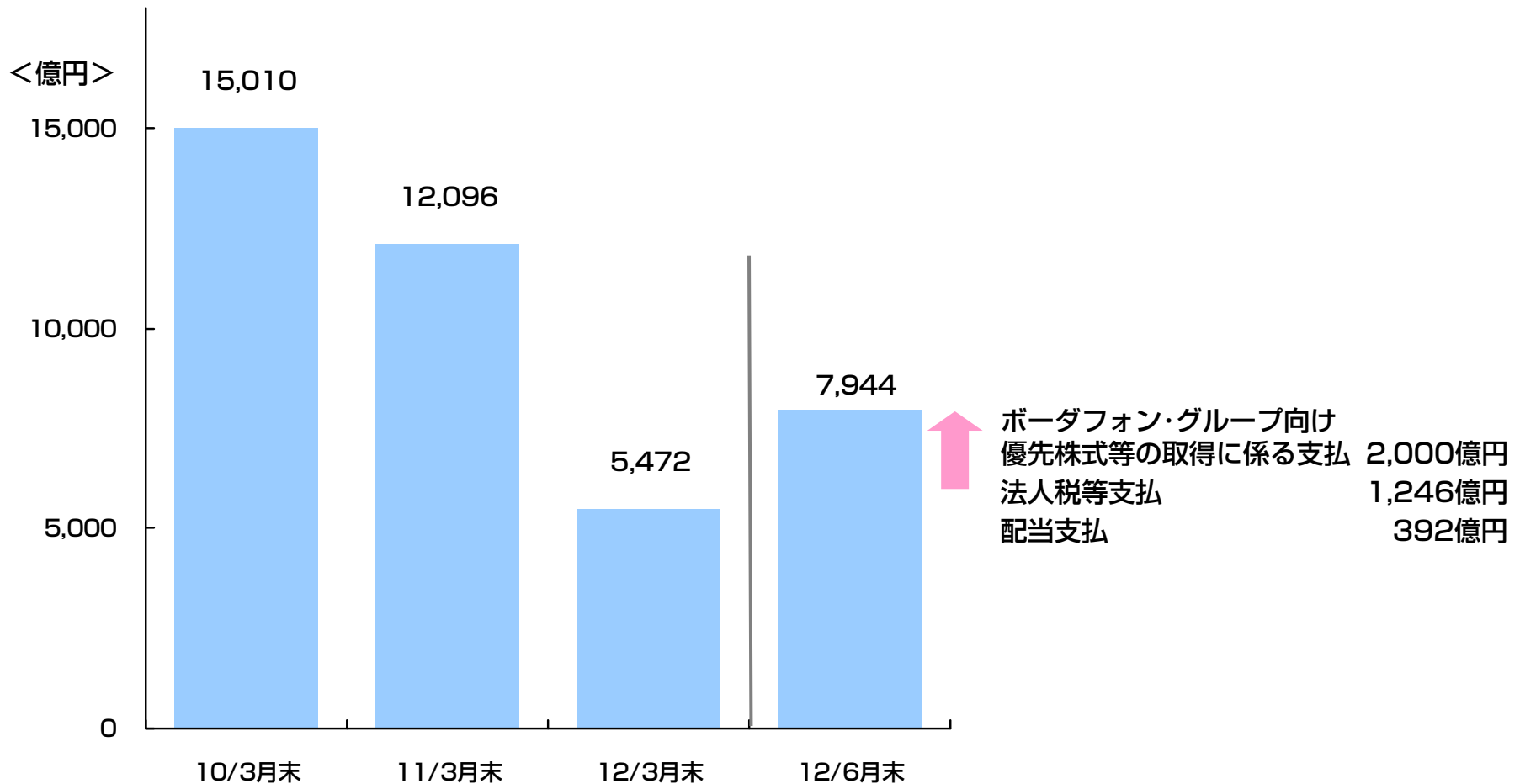
リース調達の積極活用による通信設備増強を継続



※ リース取引契約日が2008年4月1日より前の所有権移転外ファイナンス・リース取引。

純有利子負債

未払金・税金支払等により増加



※ 1. 純有利子負債=有利子負債-手元流動性

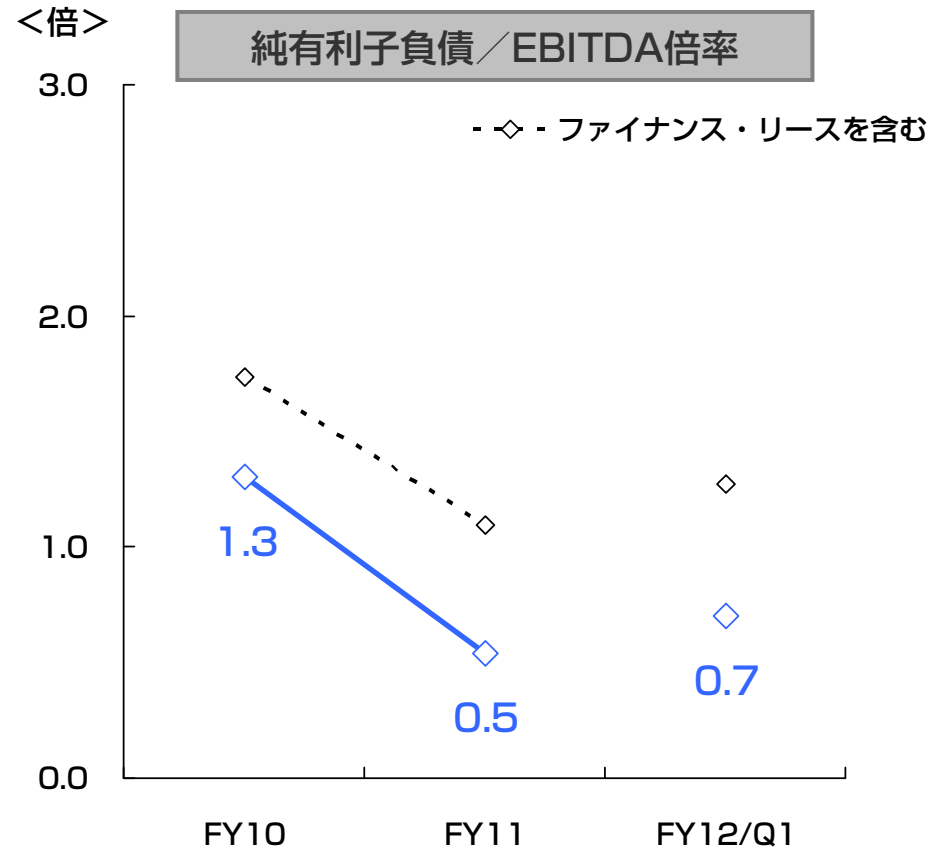
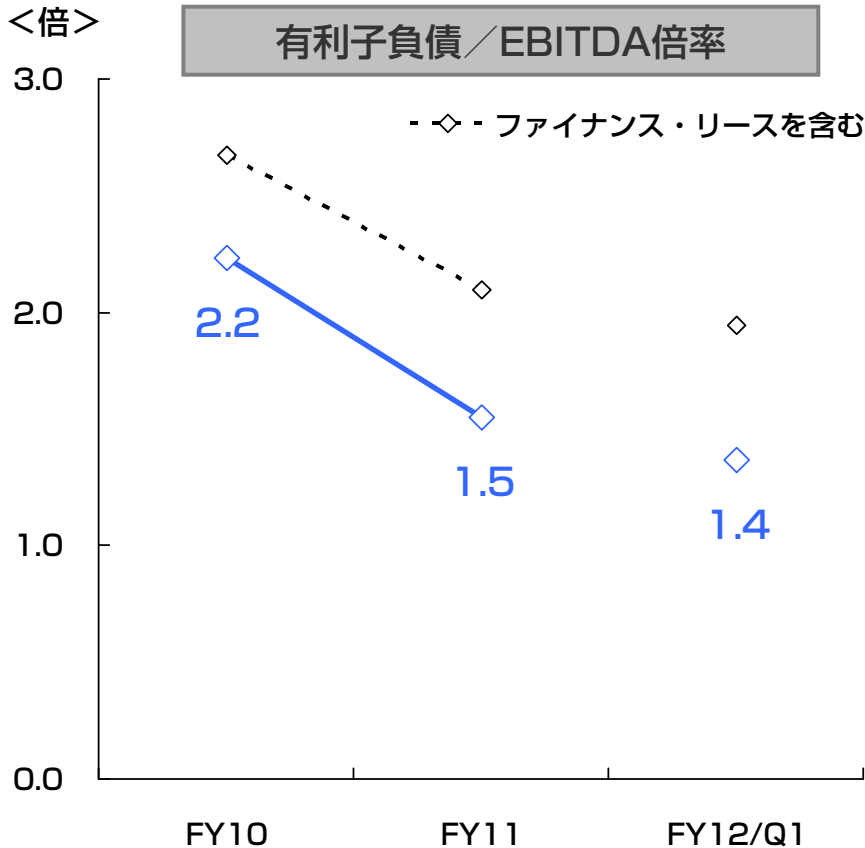
2. 有利子負債=短期借入金+コマーシャルペーパー+1年内償還予定の社債+社債+長期借入金。リース債務を含まず。

2010年3月末および2011年3月末は、ボーダフォン日本法人の買収に伴う事業証券化スキームにおいて発行された社債（銘柄：WBS Class B2 Funding Notes、発行体：J-WBSファンディング株）のうち、当社が取得した額面270億円を除く。

3. 手元流動性=現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券（当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く）

有利子負債／EBITDA倍率

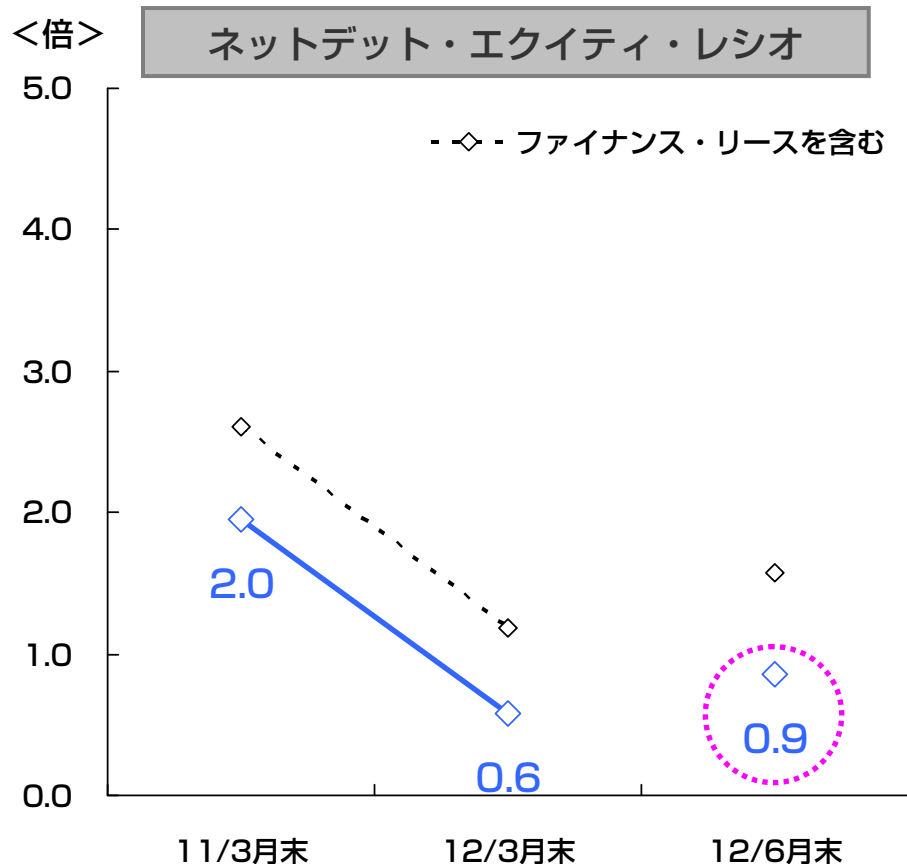
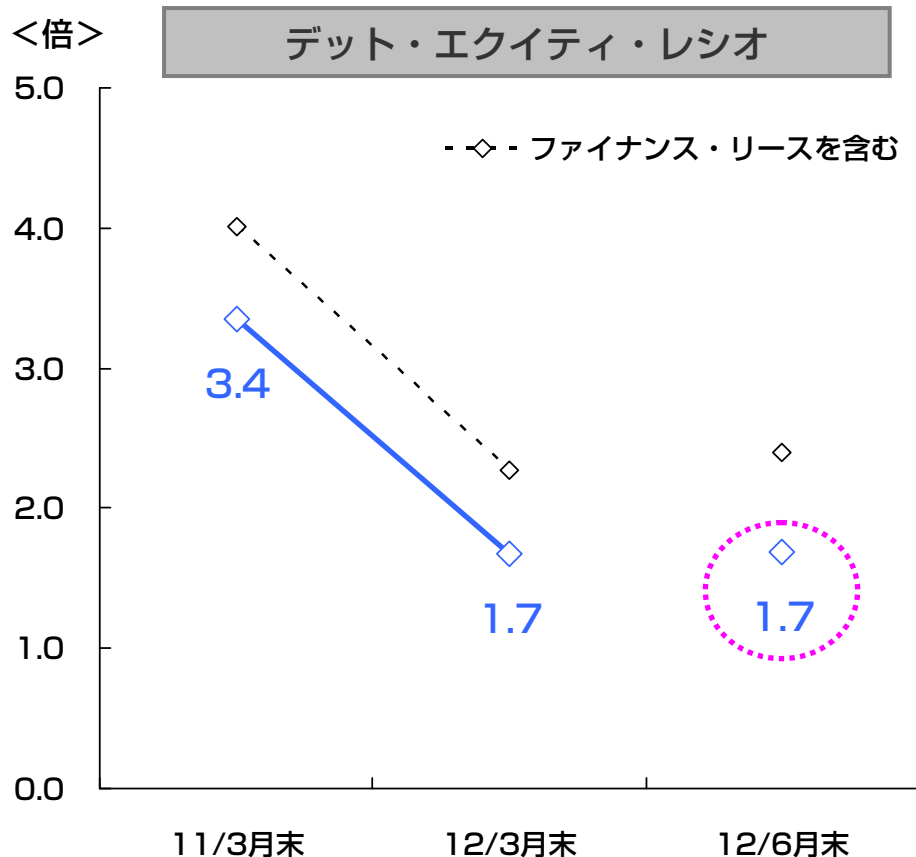
有利子負債/EBITDA倍率は低い水準を維持



- ※ 1. 純有利子負債＝有利子負債－手元流動性
2. 有利子負債＝短期借入金＋コマーシャルペーパー＋1年内償還予定の社債＋社債＋長期借入金。リース債務を含まず。
FY10は、ボーダフォン日本法人の買収に伴う事業証券化スキームにおいて発行された社債（銘柄：WBS Class B2 Funding Notes、発行体：J-WBSファンディング株）のうち、当社が取得した額面270億円を除く。
3. 手元流動性＝現金及び預金＋流動資産に含まれる有価証券（当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く）
4. EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却費。 Q1実績値を4倍して年換算。

デット・エクイティ・レシオ

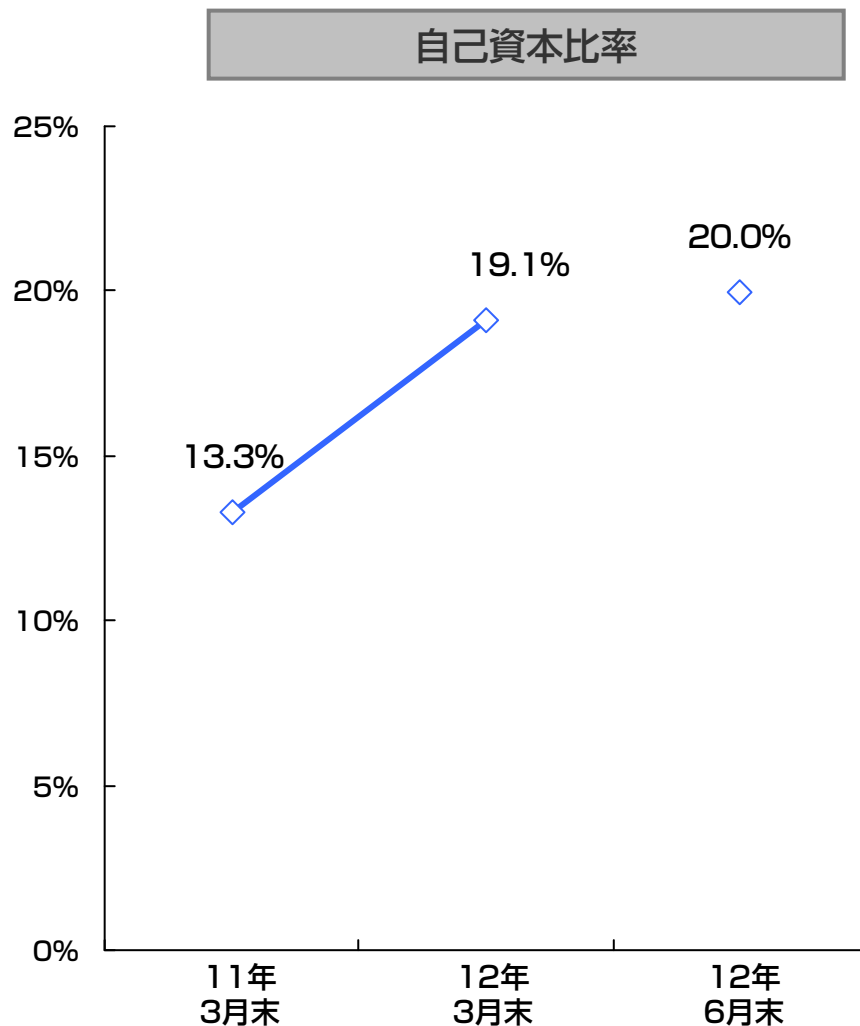
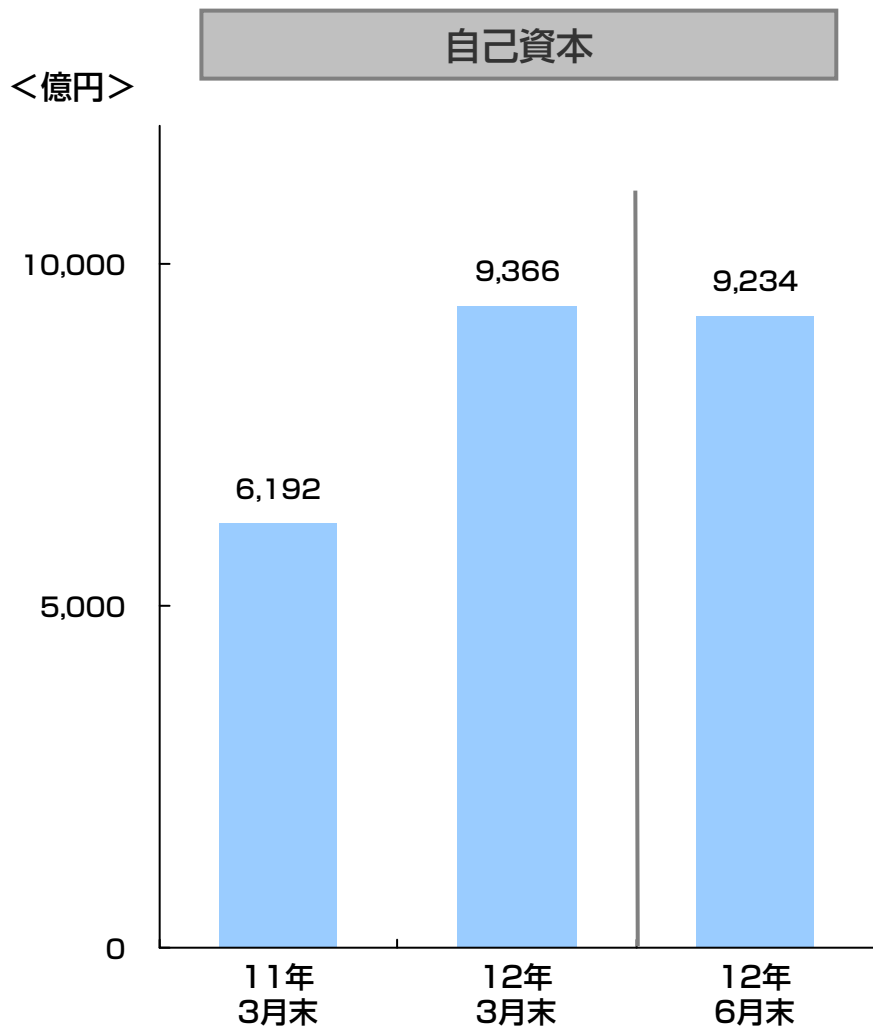
デット・エクイティ・レシオは低位安定



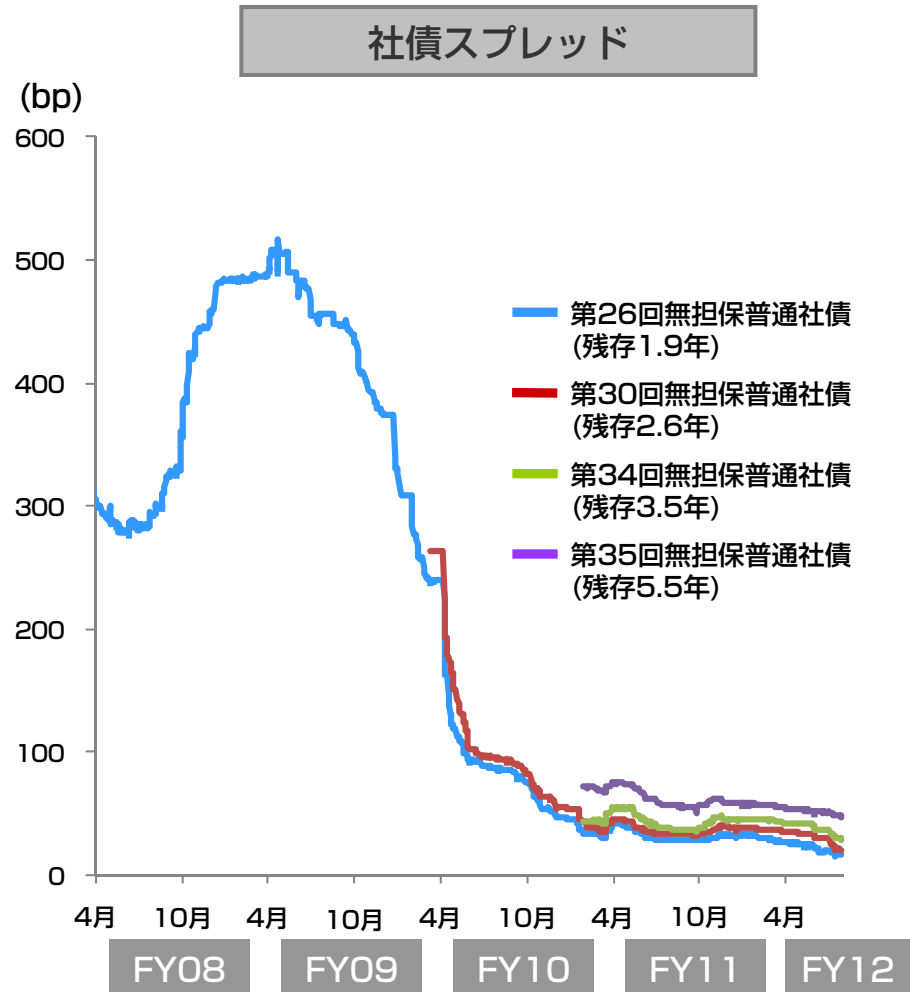
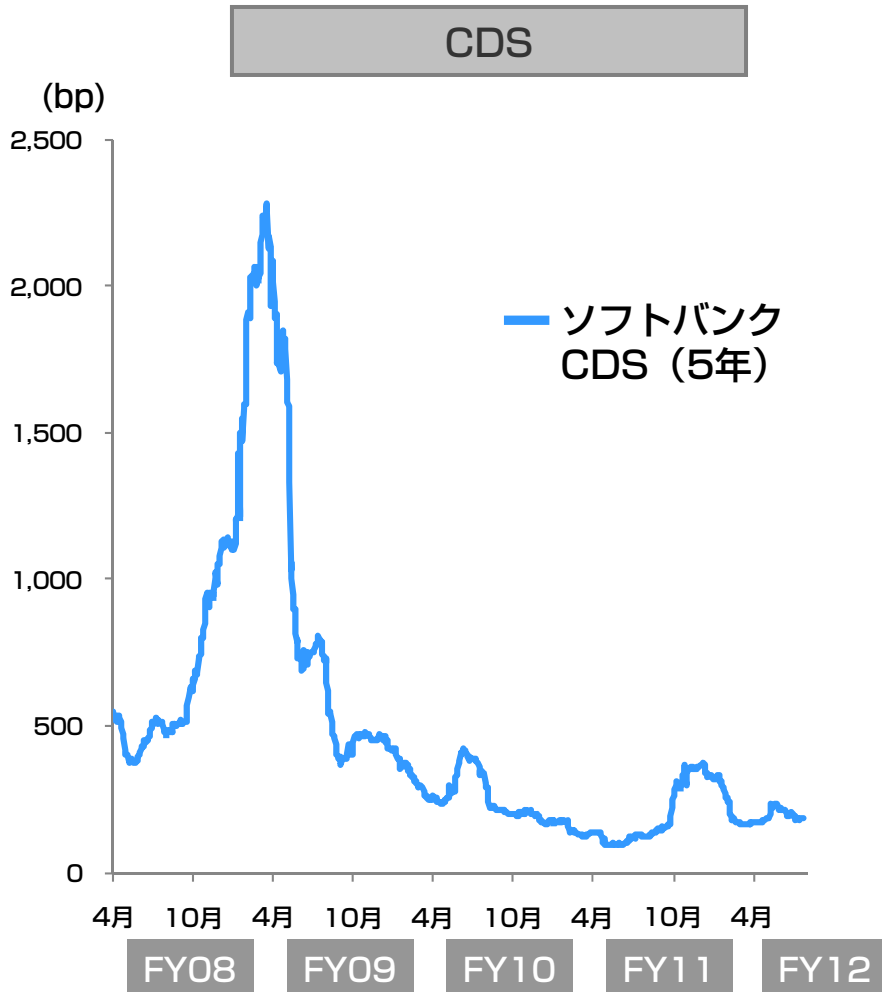
- ※ 1. デット・エクイティ・レシオ=有利子負債÷自己資本
 2. ネット・デット・エクイティ・レシオ=純有利子負債÷自己資本
 3. 純有利子負債=有利子負債-手元流動性
 4. 有利子負債=短期借入金+コマーシャルペーパー+1年内償還予定の社債+社債+長期借入金。リース債務を含みます。
 2011年3月末は、ボーダフォン日本法人の買収に伴う事業証券化スキームにおいて発行された社債（銘柄：WBS Class B2 Funding Notes、発行体：J-WBSファンディング(株)）のうち、当社が取得した額面270億円を除く。
 5. 手元流動性=現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券（当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く）

自己資本比率

自己資本比率は20%レベルへ



当社クレジット推移



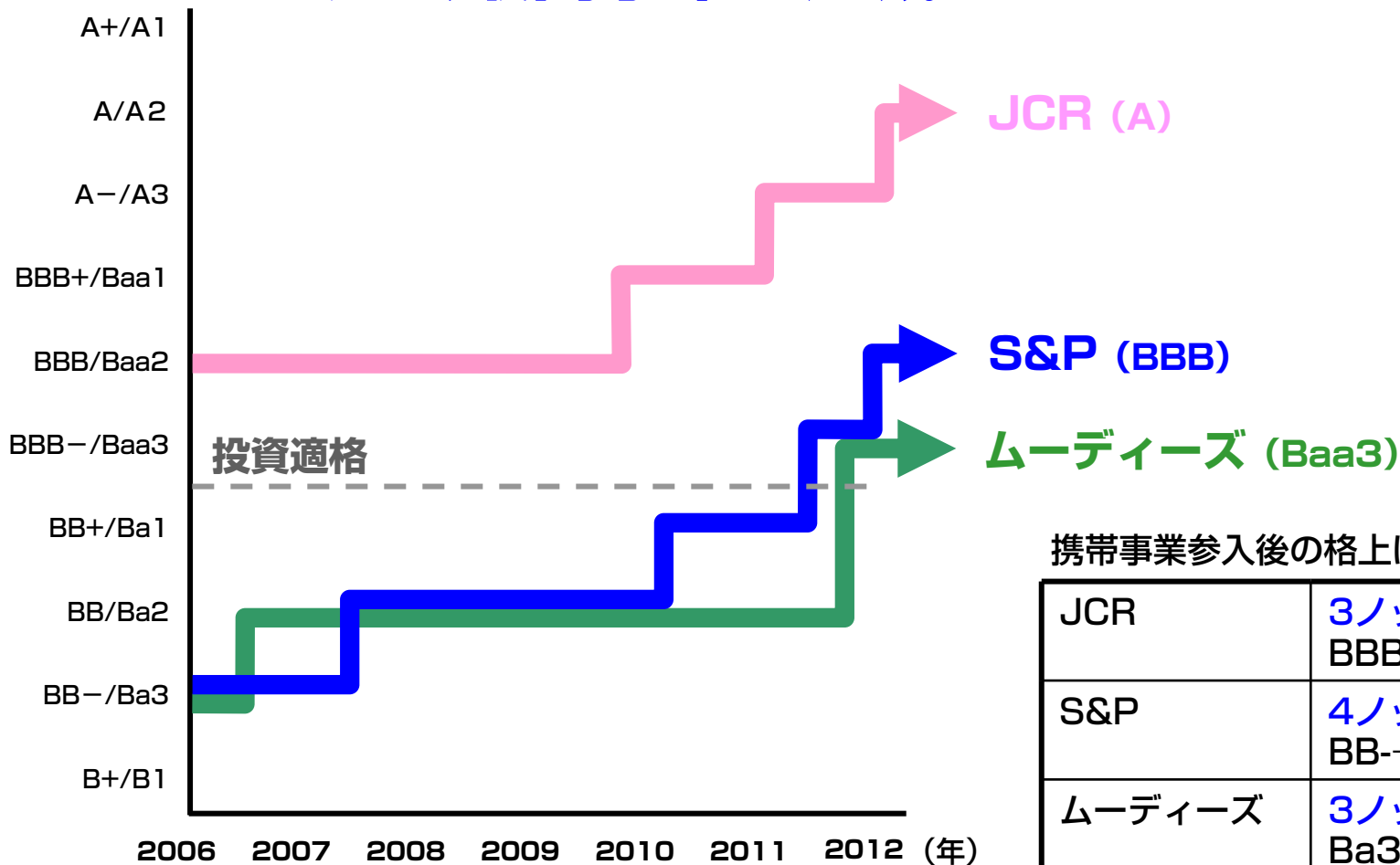
出所: ・CDSはBloomberg

・社債スプレッド(スワップ金利に対する上乗せ幅)は日本証券業協会の売買参考統計値を基に当社算出

※ CDS : Credit Default Swap

ソフトバンク格付けの推移

過去最高水準を達成



携帯事業参入後の格上げ幅

JCR	3ノッチ BBB→A
S&P	4ノッチ BB-→BBB
ムーディーズ	3ノッチ Ba3→Baa3

ボーダフォン
日本法人買収

純有利子負債削減
目標発表

携帯事業買収資金の
リファイナンス完了



成長戦略

財務改善

株主還元

**「財務改善」から
「企業価値の追求」へ**

1株当たり配当金

	2011年度	2012年度 (予想)
中間配当	—	20円
期末配当	40円	20円
年間配当	40円	40円

中間配当により株主還元を充実へ

- ※ 中間配当の額および支払開始日については、別途、取締役会で正式に決議する予定
- ※ 期末配当については、2013年6月開催予定の定時株主総会で決議されることが条件

2012年度の財務戦略

「財務改善」から「企業価値の追求」へ

1. 最適レバレッジを目指す財務

- 成長重視と安全性を両立するレバレッジレベルの設定
- 成長分野への投資機会を適時にとらえた成長戦略を追求
- 調達コストも最適化

2. 外部環境の変化に強い柔軟な財務

- 多様な調達手段を更に拡充
- 直接調達と間接調達のバランス重視
- グループCMSの徹底による持ち株会社機能の強化
- 保有資産の市場リスクの分析と管理の徹底

3. 投資家満足度を重視する財務

- 安定的な株主還元を強化、ポリシーの確立へ
- 投資家との対話を徹底し、成長シナリオと財務戦略の共有を目指す
- より多くの市場に参加し投資家層を開拓

Appendix

(ご参考) 社債明細表

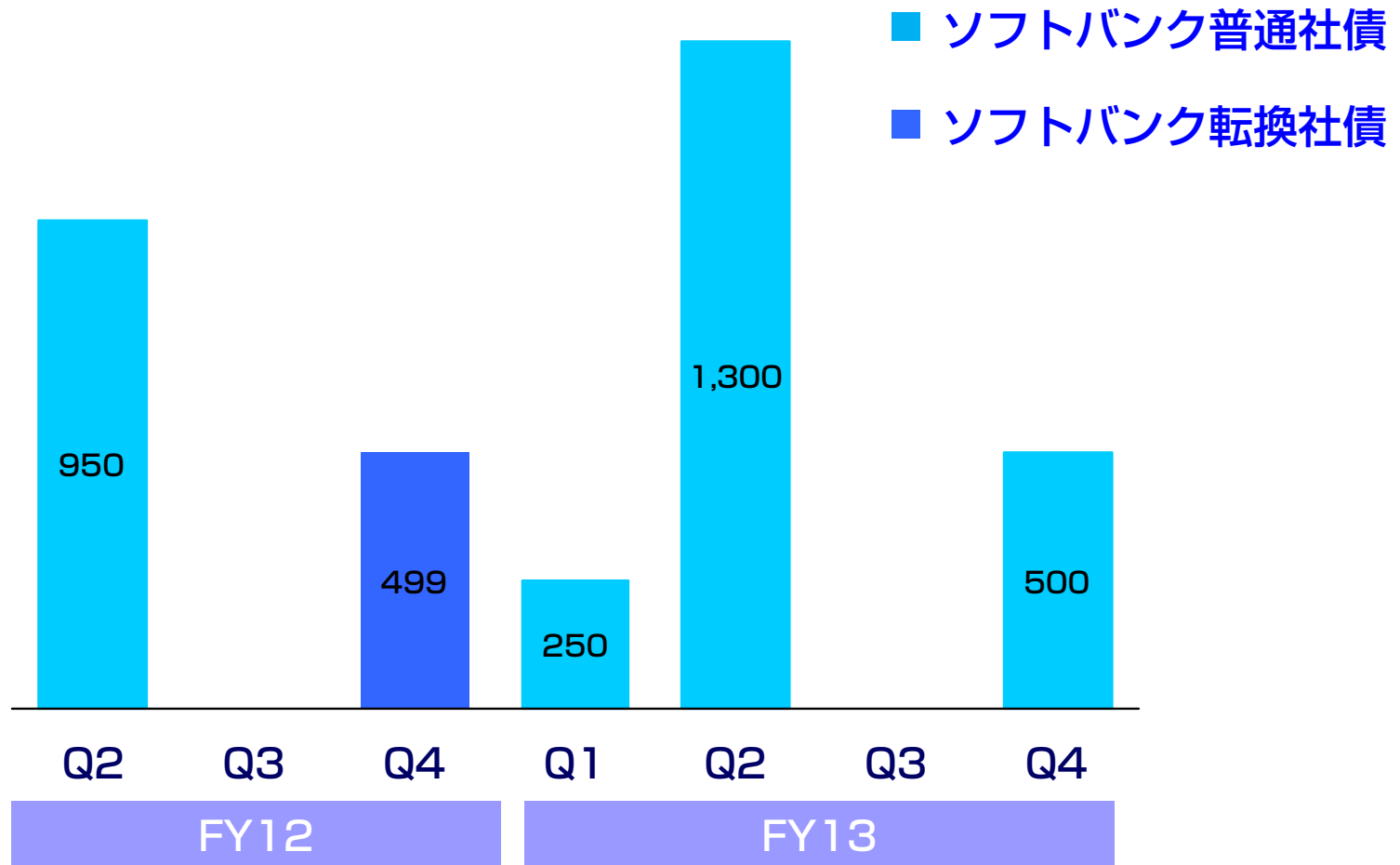
<百万円>

会社名	銘柄	発行年月日	償還期限	利率 (%、年)	担保	12年3月末	12年6月末	対前期末比
ソフトバンク	第28回無担保普通社債	2009年7月24日	2012年7月24日	4.72	なし	30,000	30,000	—
	第29回無担保普通社債 (福岡ソフトバンクホークス社債)	2009年9月18日	2012年9月18日	4.52	なし	65,000	65,000	—
	2013年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債※	2003年12月30日	2013年3月31日	1.50	なし	49,988	49,988	—
	第31回無担保普通社債	2010年6月2日	2013年5月31日	1.17	なし	25,000	25,000	—
	第33回無担保普通社債 (福岡ソフトバンクホークス社債)	2010年9月17日	2013年9月17日	1.24	なし	130,000	130,000	—
	第38回無担保普通社債	2012年1月27日	2014年1月27日	0.42	なし	50,000	50,000	—
	第37回無担保普通社債	2011年6月10日	2014年6月10日	0.65	なし	30,000	30,000	—
	第26回無担保普通社債	2007年6月19日	2014年6月19日	4.36	なし	14,900	14,900	—
	第30回無担保普通社債	2010年3月11日	2015年3月11日	3.35	なし	30,000	30,000	—
	第32回無担保普通社債	2010年6月2日	2015年6月2日	1.67	なし	25,000	25,000	—
	第34回無担保普通社債	2011年1月25日	2016年1月25日	1.10	なし	45,000	45,000	—
	第36回無担保普通社債 (福岡ソフトバンクホークス社債)	2011年6月17日	2016年6月17日	1.00	なし	100,000	100,000	—
	第35回無担保普通社債	2011年1月25日	2018年1月25日	1.66	なし	10,000	10,000	—
合計	—	—	—	—	—	604,888	604,888	—

※ 2013年満期ユーロ円建転換社債は、一定の条件を満たした場合、当社の請求による繰上償還の可能性がある

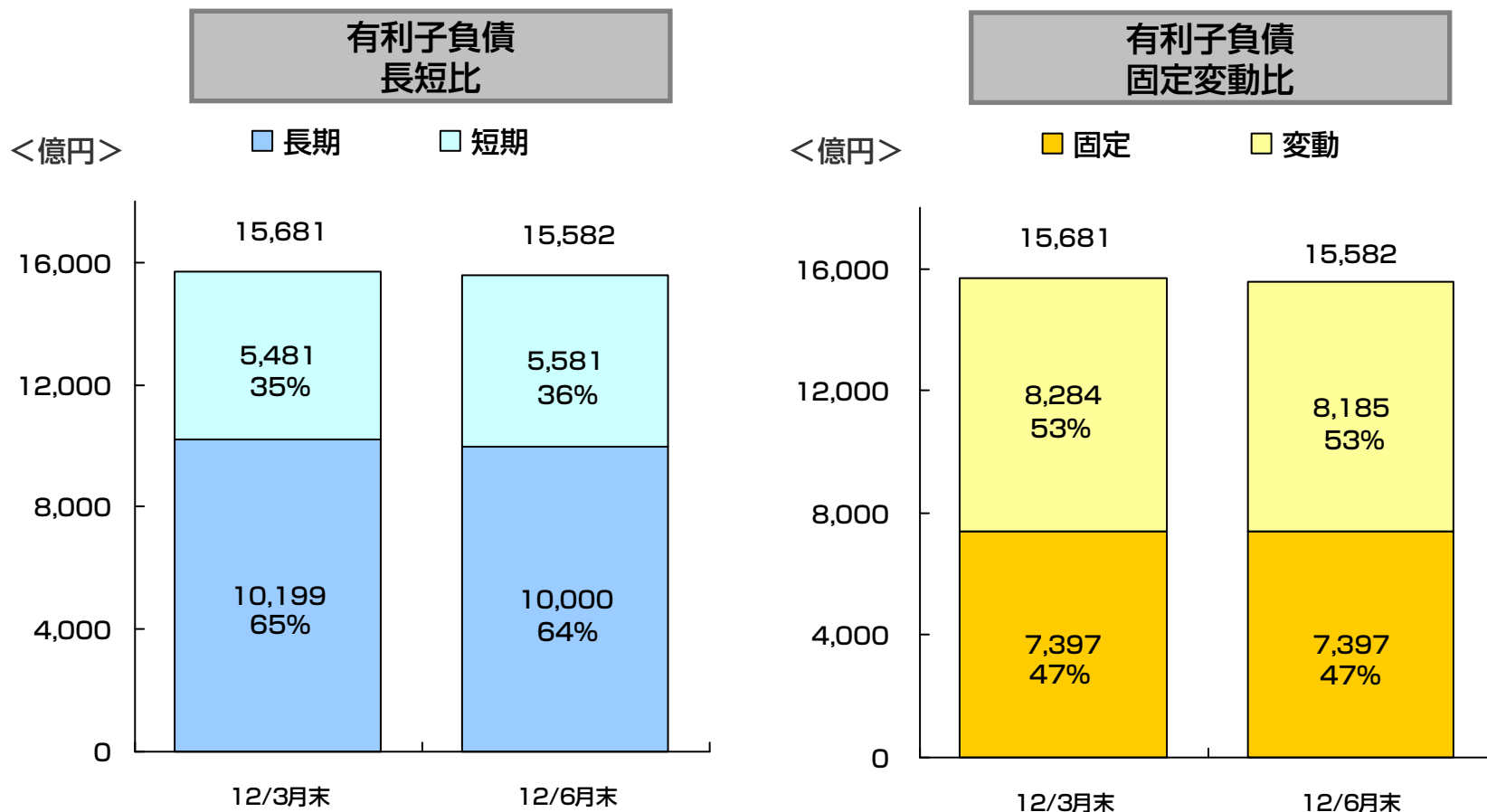
(ご参考) 社債償還等のスケジュール

<億円>



(ご参考) 有利子負債の長短・固変比率

長短比率、固定変動比率は共に安定



※ 有利子負債=短期借入金+商業ペーパー+1年内償還予定の社債+社債+長期借入金。リース債務を含まず。

The logo consists of two horizontal gray bars stacked vertically, positioned to the left of the text.

SoftBank

事業編

ソフトバンクモバイル株式会社 取締役 専務執行役員 兼 CFO 財務統括
ソフトバンクBB株式会社 取締役 専務執行役員 兼 CFO 財務統括
ソフトバンクテレコム株式会社 取締役 専務執行役員 財務統括

ふじはら
藤原 和彦

通信関連事業の業績概要

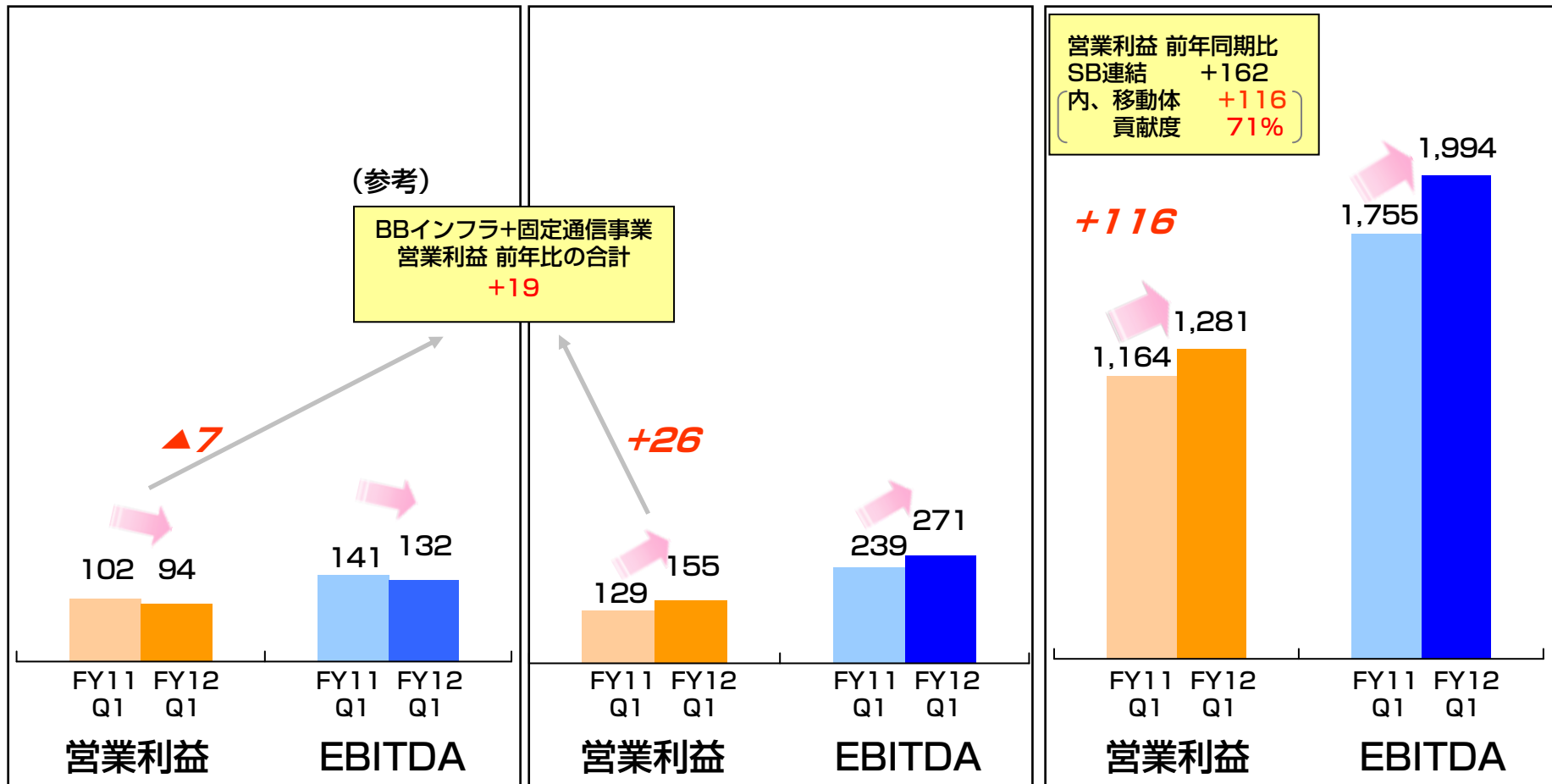
■通信事業で連結最高益（7期連続最高益）を牽引。

<億円>

BBインフラ事業

固定通信事業

移動体通信事業



※ 1. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額

2. FY11Q3より、減価償却費に「営業費用に含まれる固定資産除却損」を含めています。これに伴い過去の減価償却費についても、同様の方法にて組替再表示しています。

3. BBインフラ事業：ブロードバンド・インフラ事業、SB：ソフトバンク、移動体：移動体通信事業

ブロードバンド・インフラ事業

営業利益・EBITDA

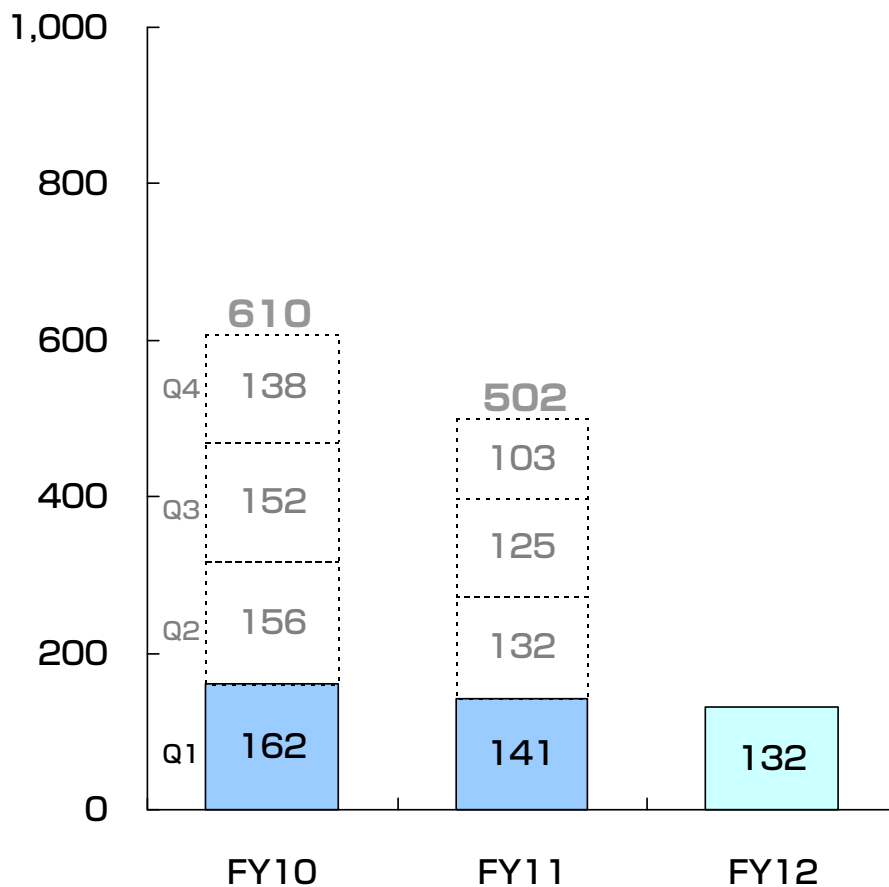
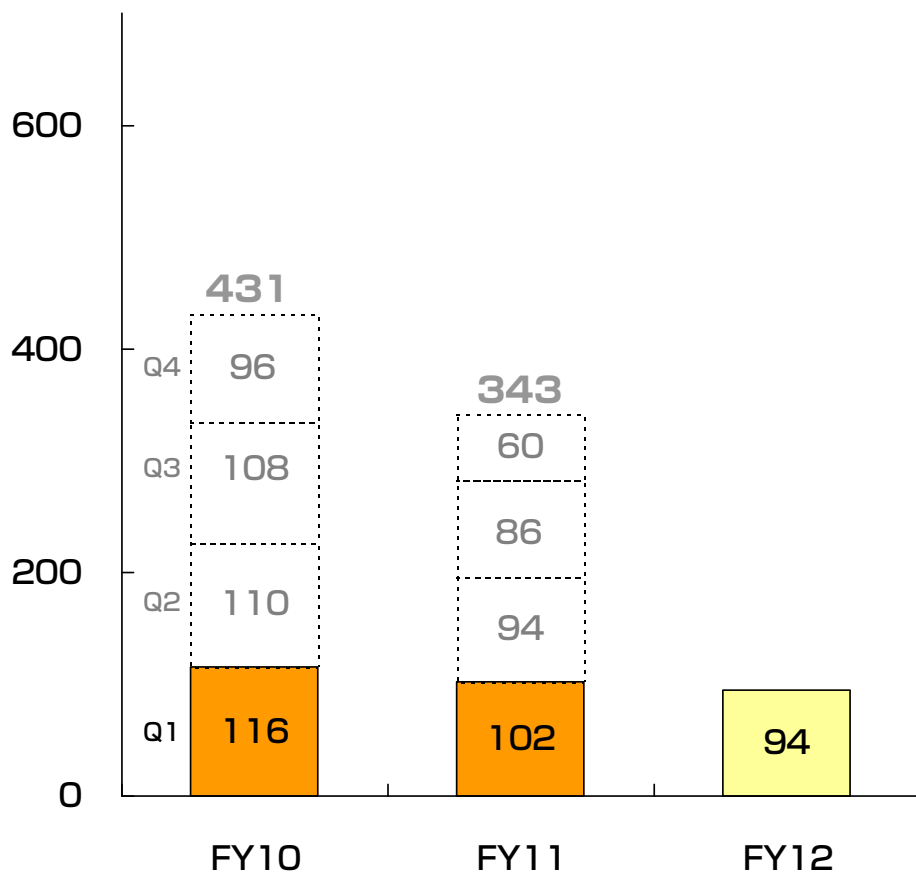
<BB>

■前年同期比減益。契約数増加の取り組みを推進。

<億円>

営業利益

EBITDA

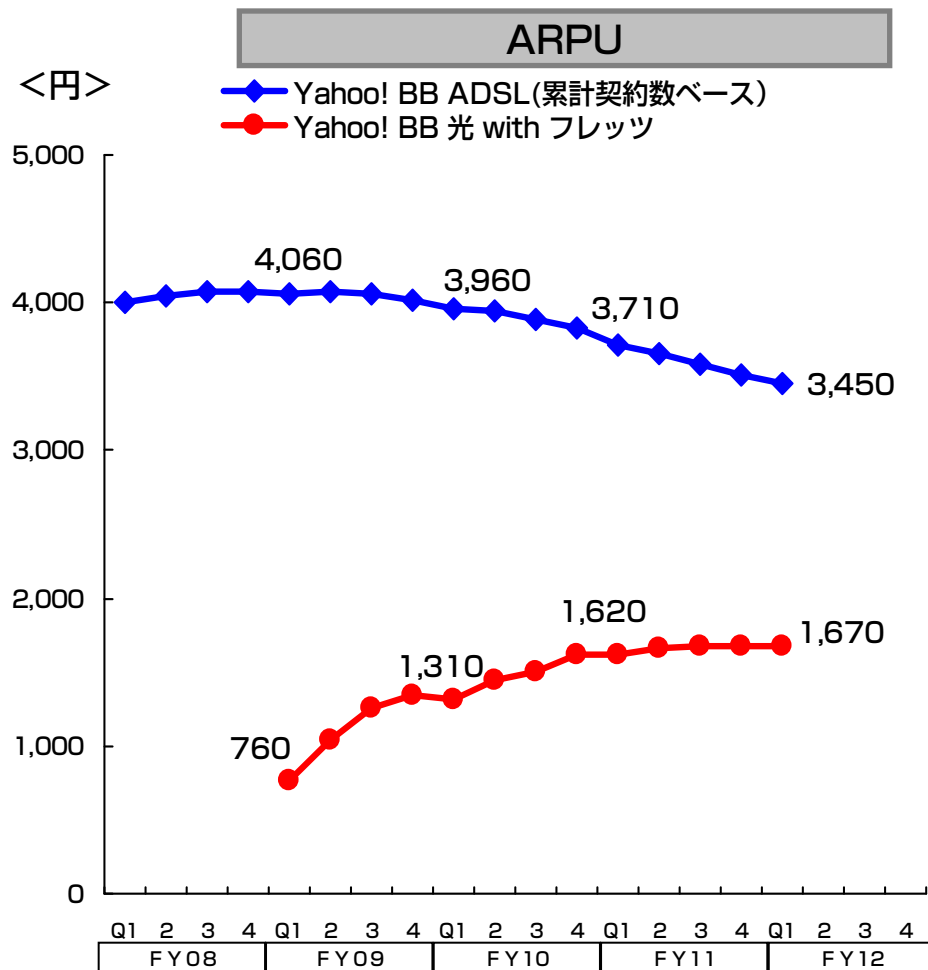
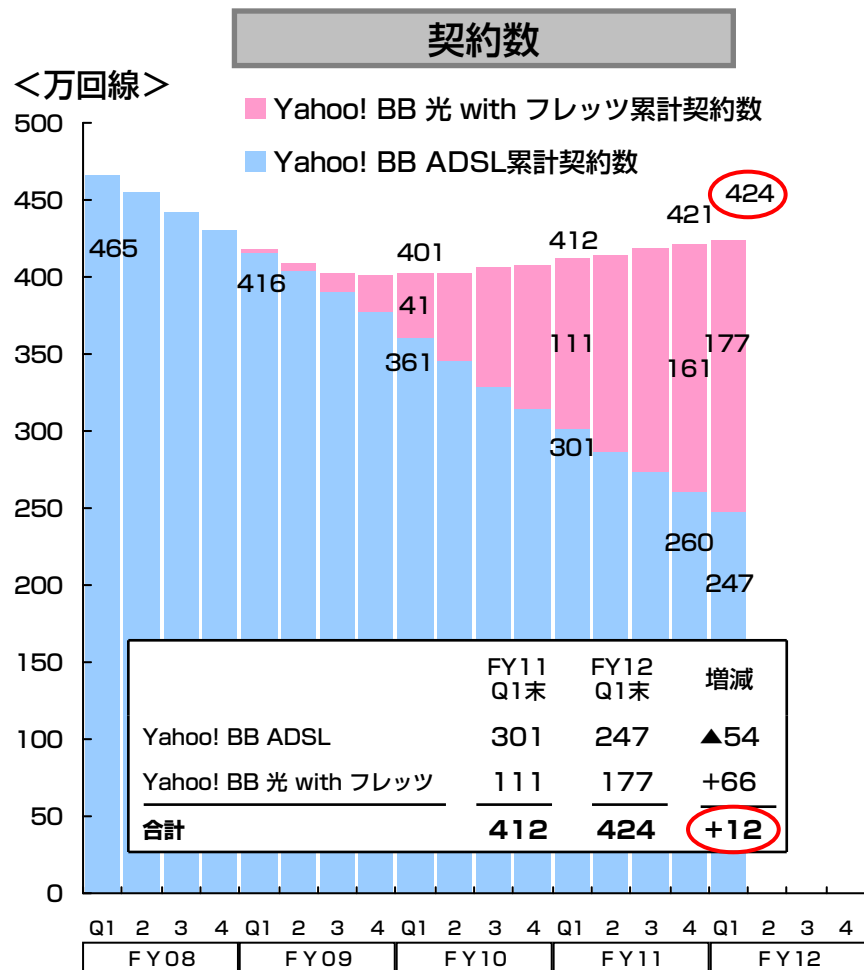


※. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額

Yahoo! BB の契約数・ARPU

<BB>

■ADSL契約数は減少、Yahoo! BB 光 with フレッツが増加。トータルで純増。



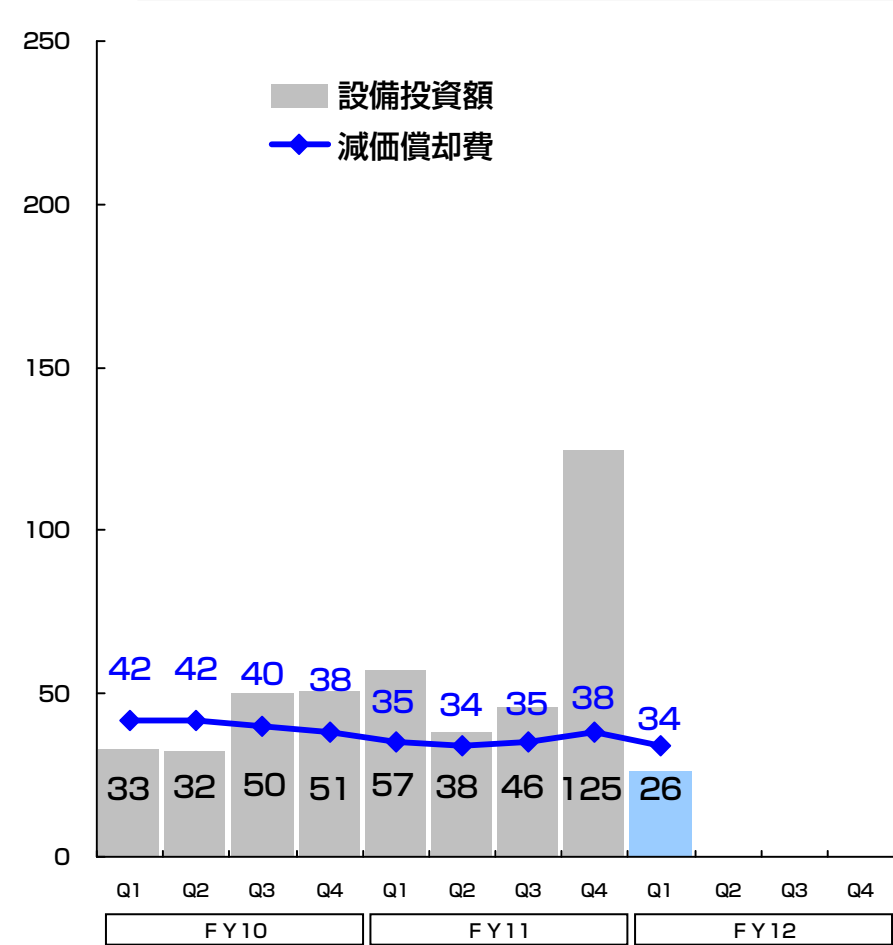
※ 1. ADSL累計契約数：東日本電信電話株式会社（以下「NTT東日本」）および西日本電信電話株式会社（以下「NTT西日本」）の局舎において、ADSL回線の接続工事が完了している回線数（休止プランを含む）。
 Yahoo! BB 光 with フレッツ累計契約数：NTT東日本およびNTT西日本の局舎において、フレッツ光回線の接続工事が完了し、サービスを提供しているユーザー数。
 2. Yahoo! BB 光 with フレッツ：インターネット接続サービス「Yahoo! BB」と、NTT東日本とNTT西日本の提供する光回線「フレッツ光」を組み合わせたブロードバンド接続サービス
 「フレッツ」および「フレッツ光」はNTT東日本およびNTT西日本の商標
 3. ARPU (Average Revenue Per User)：1契約当たりの平均収入（10円未満を四捨五入して開示）

設備投資（検収ベース）

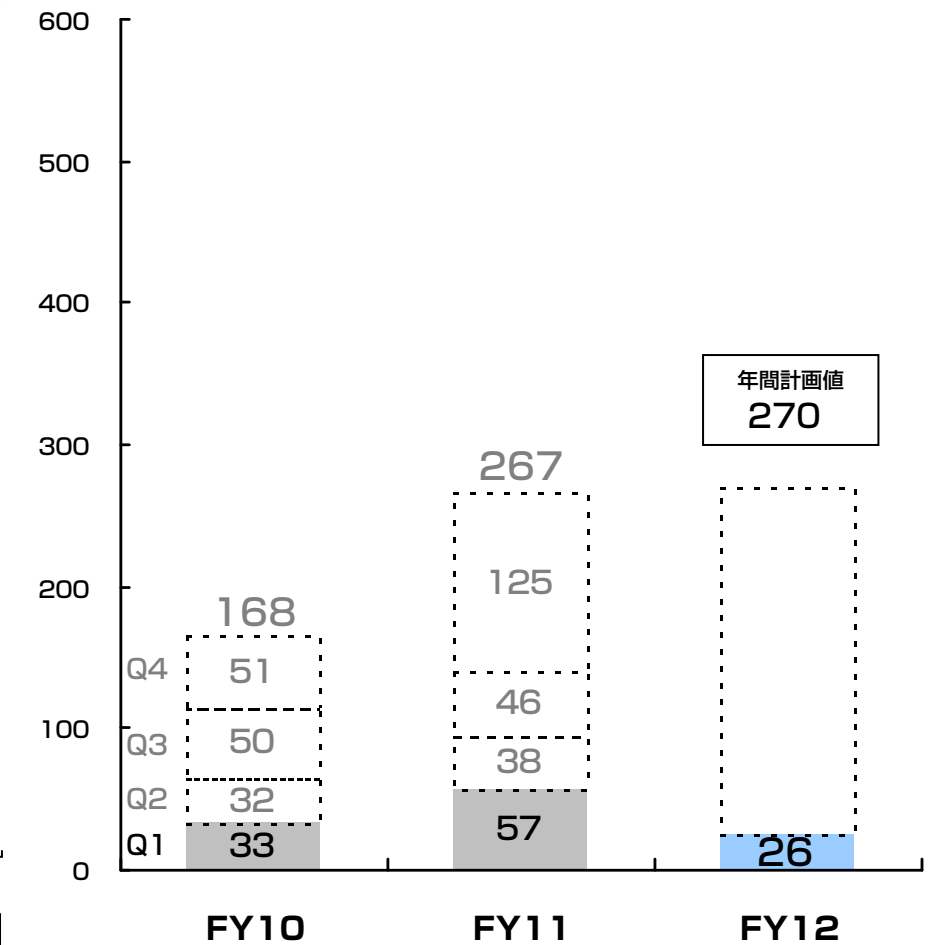
<BB>

■年間計画270億円（Q1進捗率10%）

<億円> 設備投資額と減価償却費（四半期推移）



<億円> 設備投資額（年度推移）



※. FY11Q3より、減価償却費に「営業費用に含まれる固定資産除却損」を含めています。これに伴い過去の減価償却費についても、同様の方法にて組替再表示しています。

固定通信事業

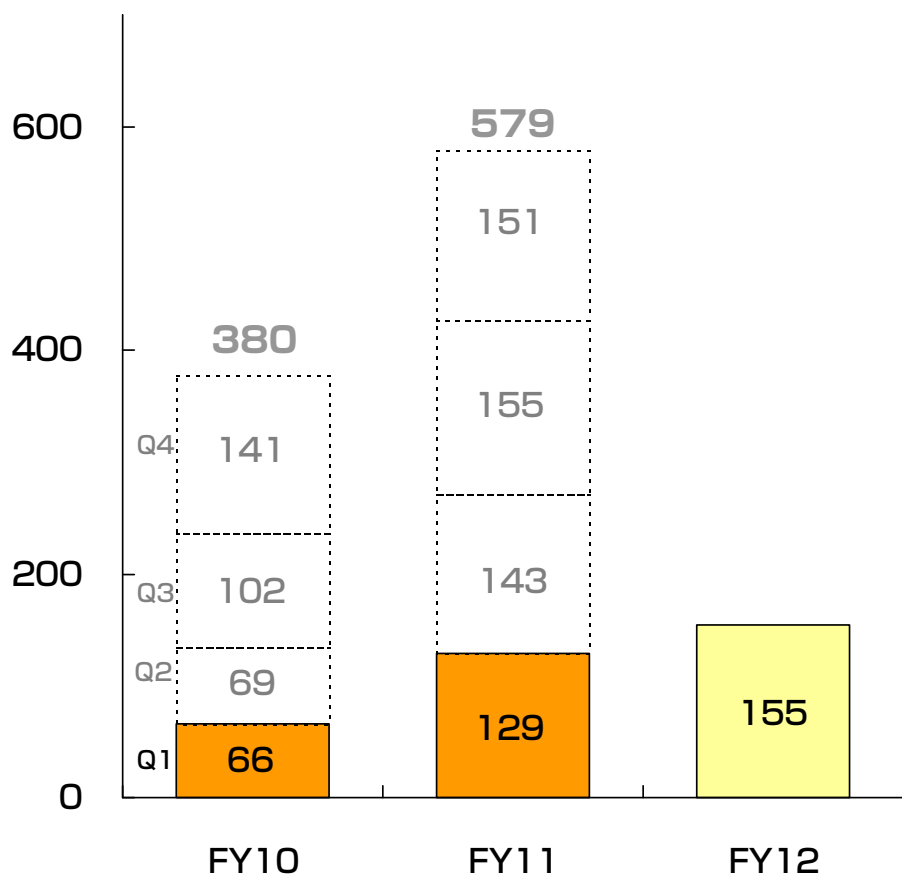
営業利益・EBITDA

<固定>

■法人営業の強化、経営効率化とグループシナジーで増収増益を維持。

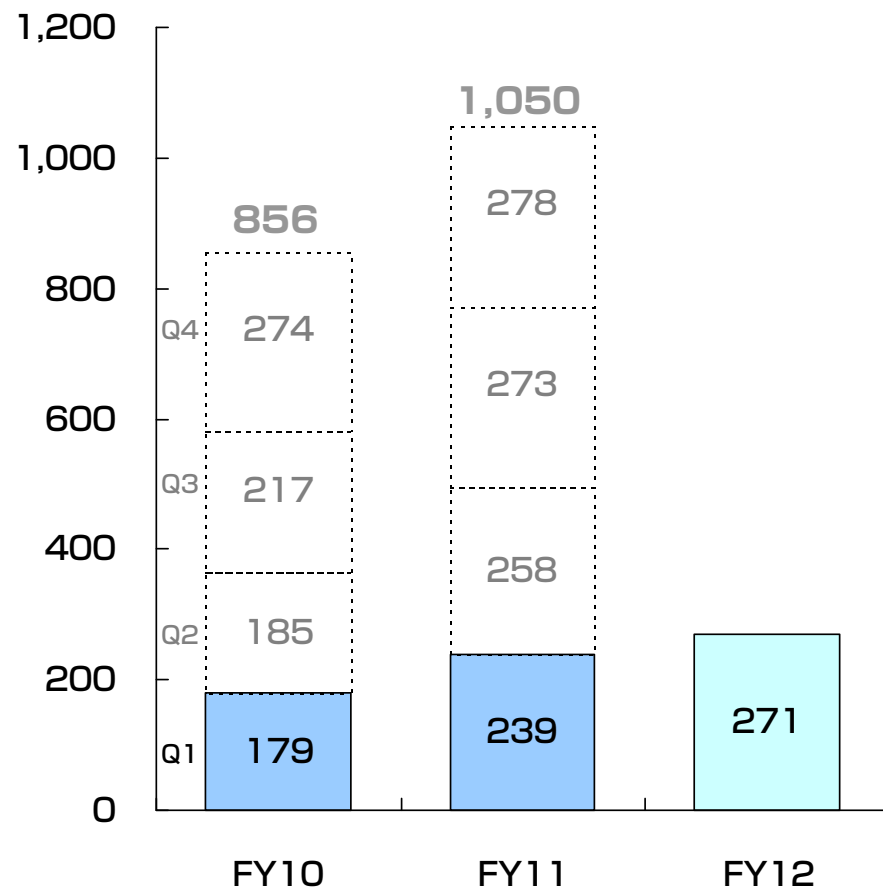
<億円>

営業損益



<億円>

EBITDA

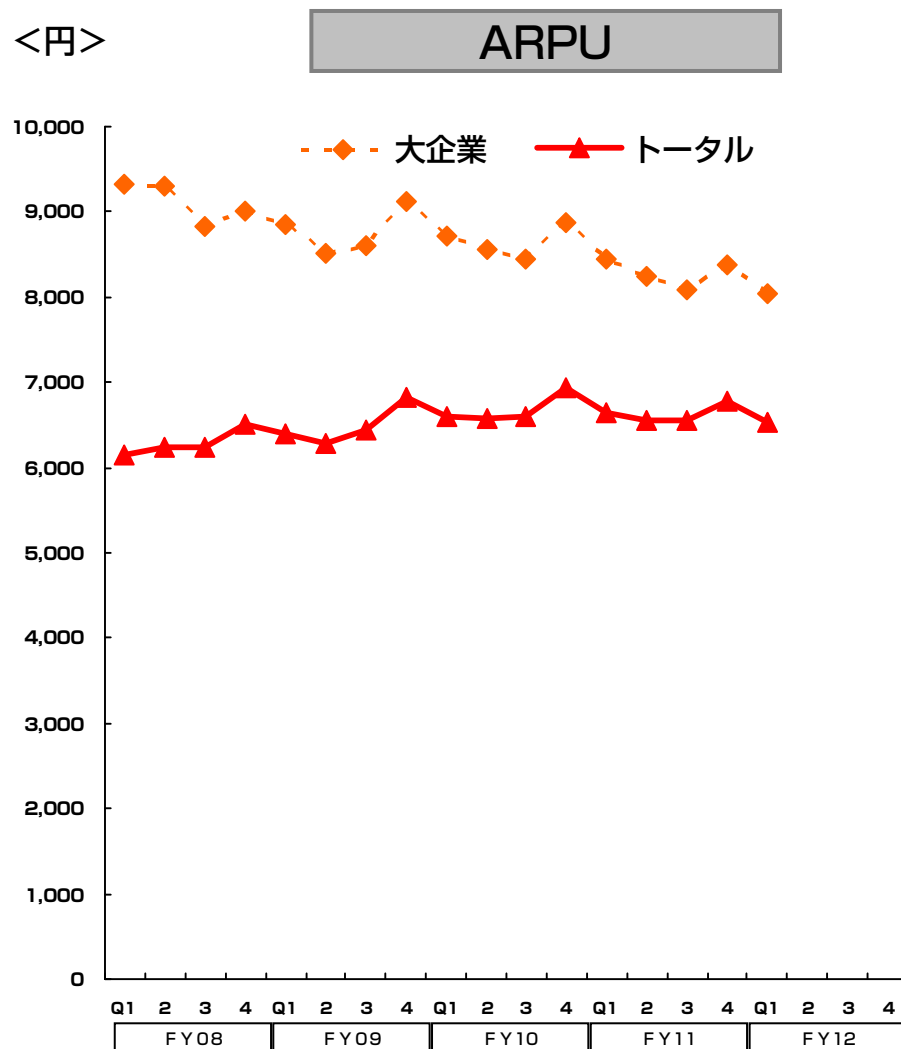
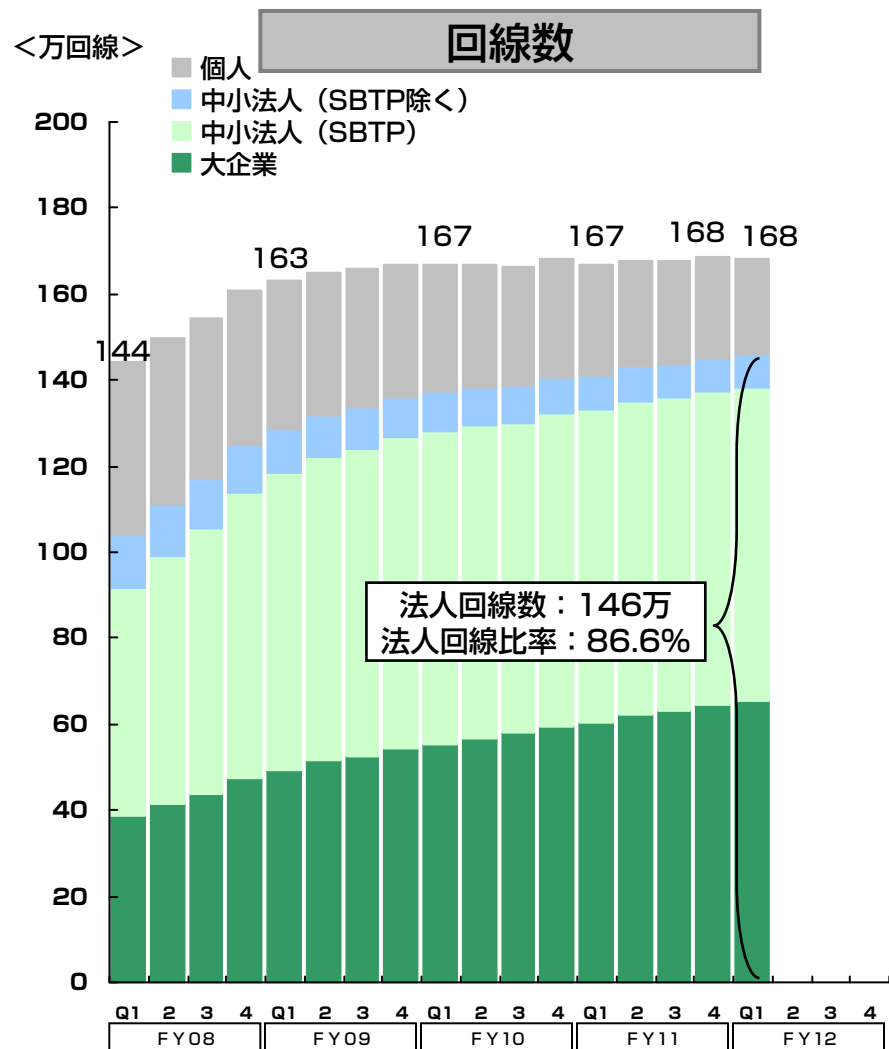


※. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額

おとくライン 回線数・ARPU

<固定>

■回線数とARPUは法人営業の強化で堅調に推移。

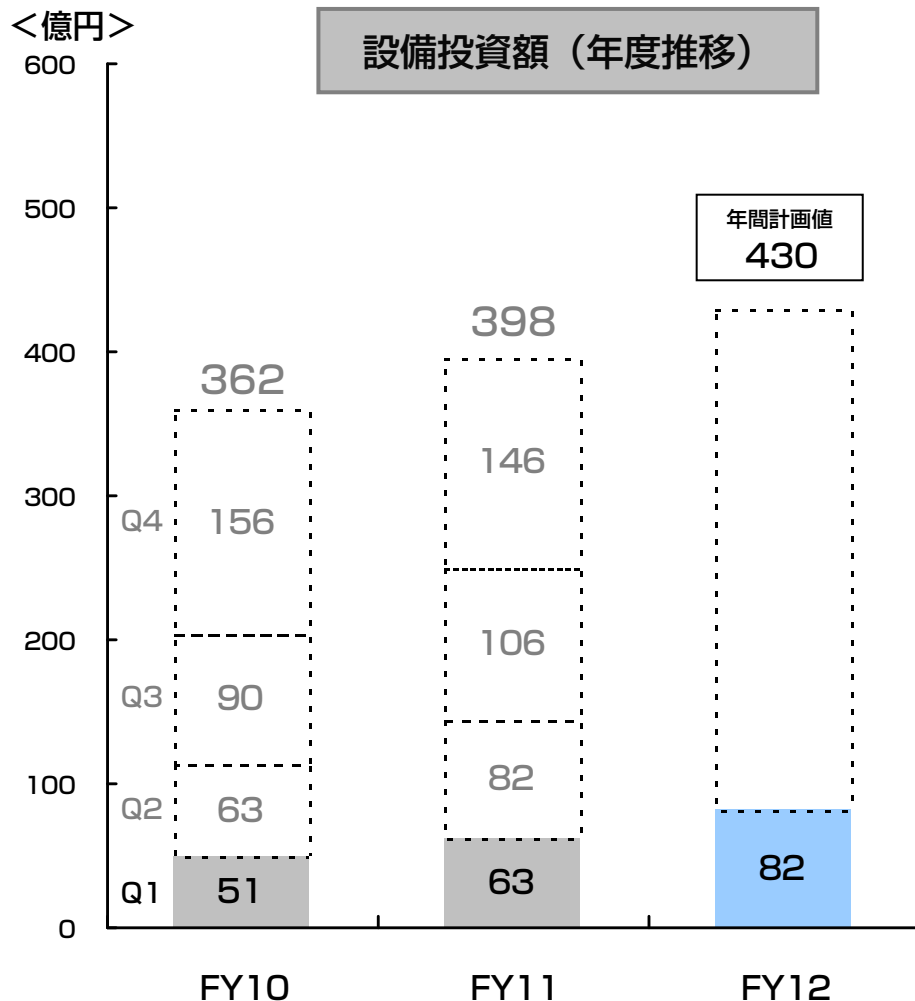
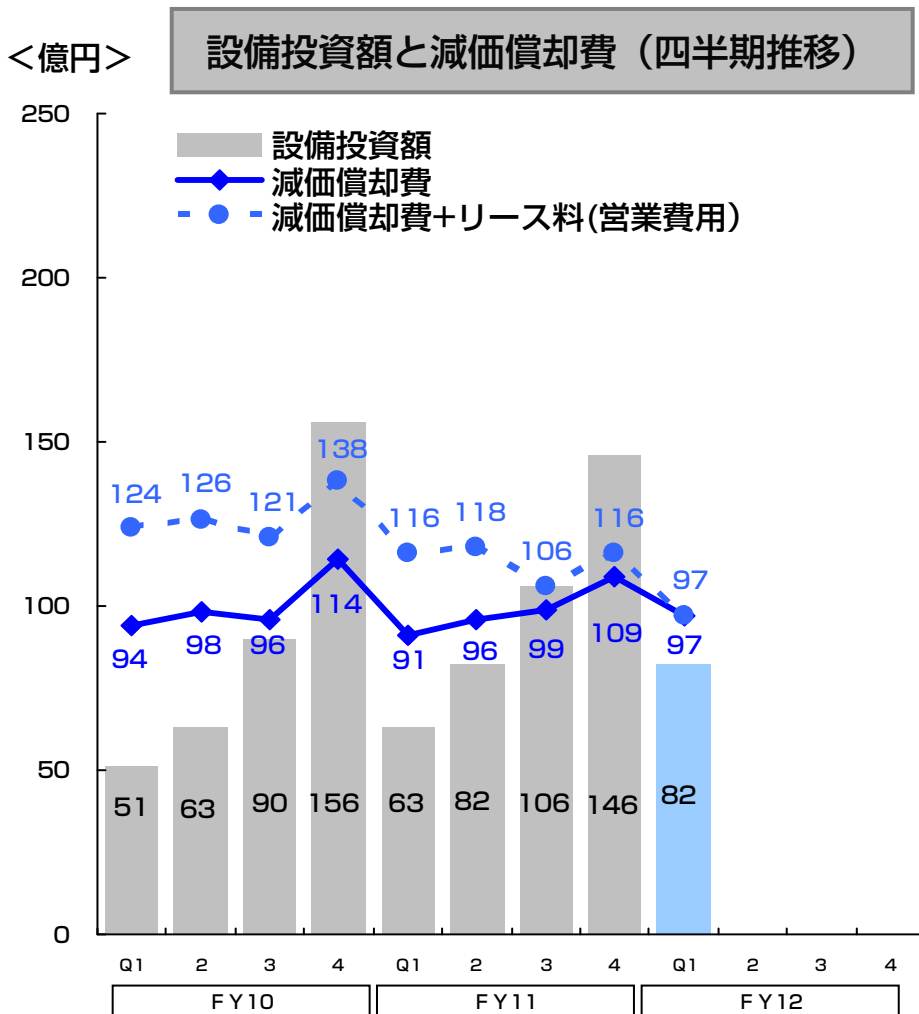


※ 1. ARPU (Average Revenue Per User) : 1契約当たりの平均収入 (10円未満を四捨五入して開示)
2. SBTP : ソフトバンクテレコムパートナーズ

設備投資（検収ベース）

<固定>

■年間計画430億円（Q1進捗率19%）



※ 1. FY11Q3より、減価償却費に「営業費用に含まれる固定資産除却損」を含めています。これに伴い過去の減価償却費についても、同様の方法にて組替再表示しています。

The logo consists of two horizontal gray bars stacked vertically, positioned to the left of the text.

SoftBank

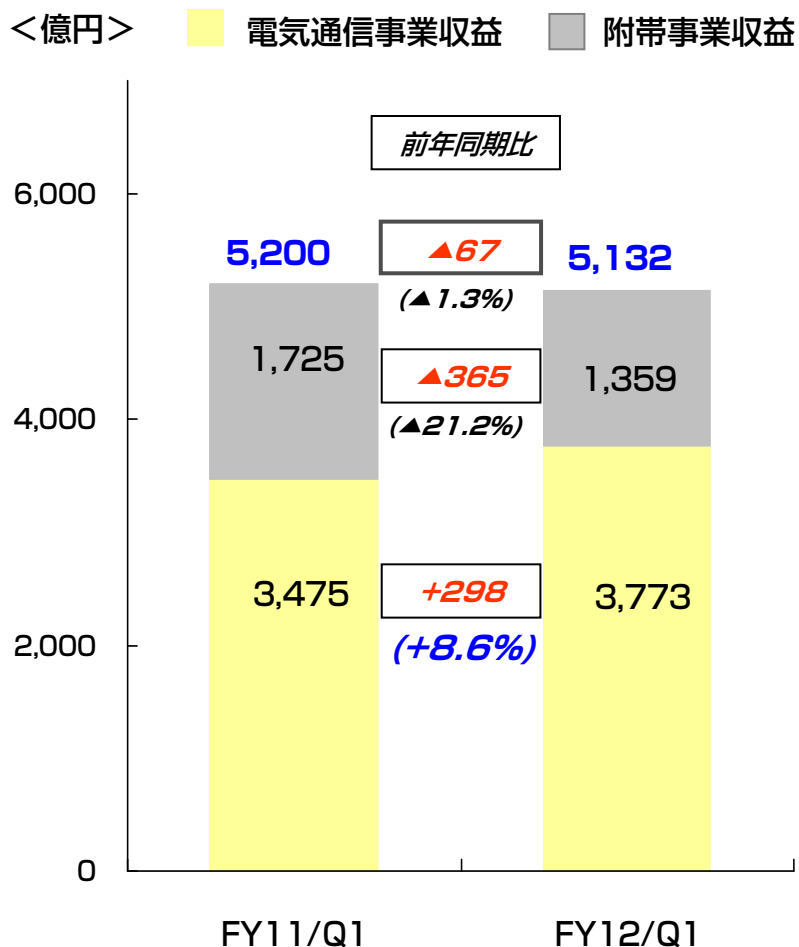
移動体通信事業

SBM連結 売上高

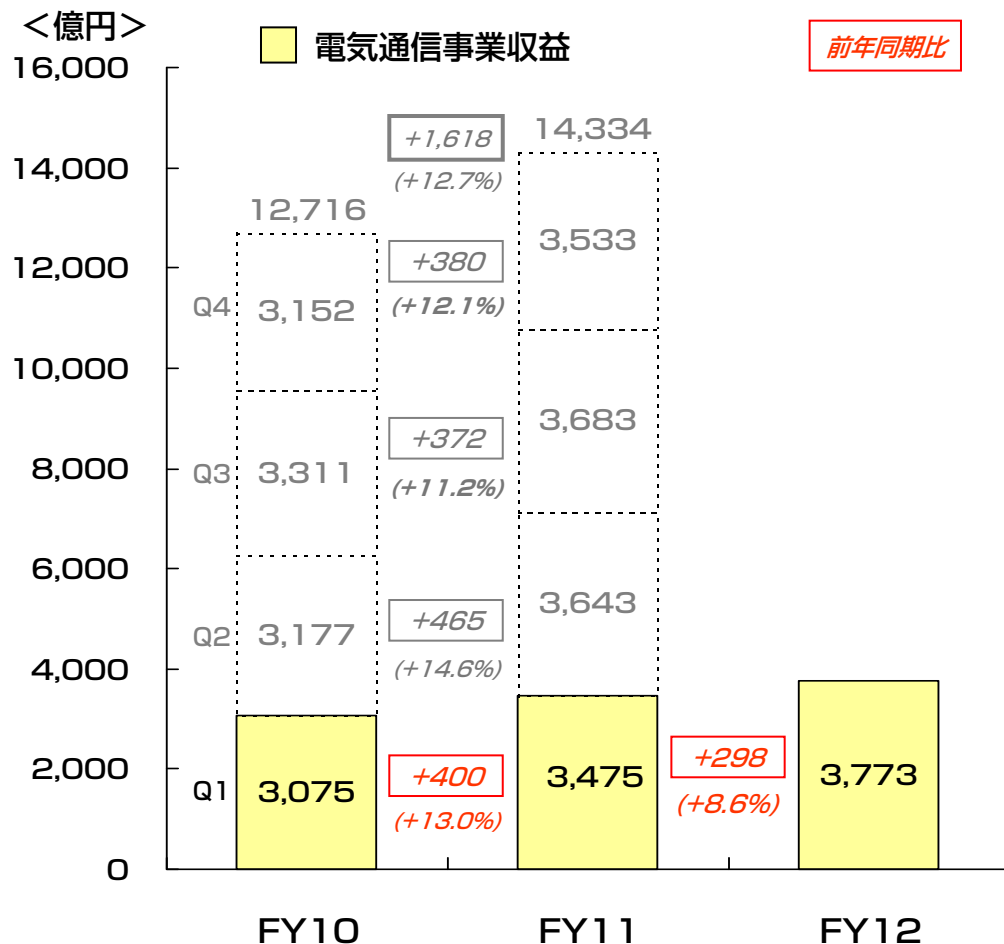
<移動体>

■ 電通収益：8.6%増。 附帯事業収益：21.2%減。

SBM連結 営業収益



SBM連結 電通収益 (四半期比較)



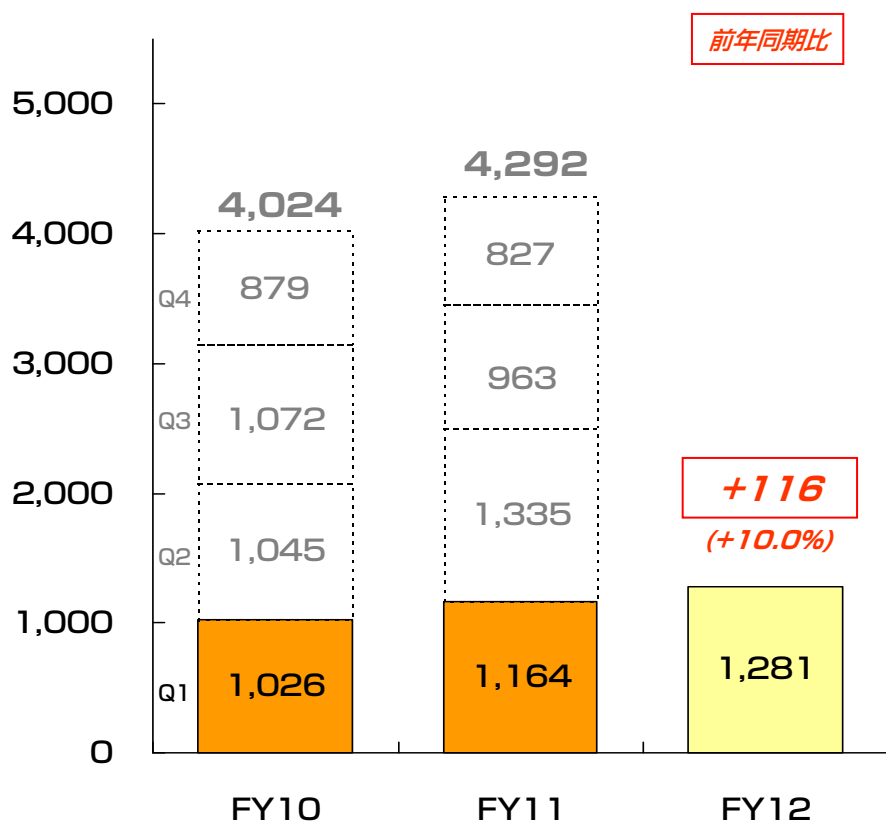
営業利益・EBITDA (SB連結)

<移動体>

■増収増益で最高益更新。^{※1} 前年同期比10.0%の増益。

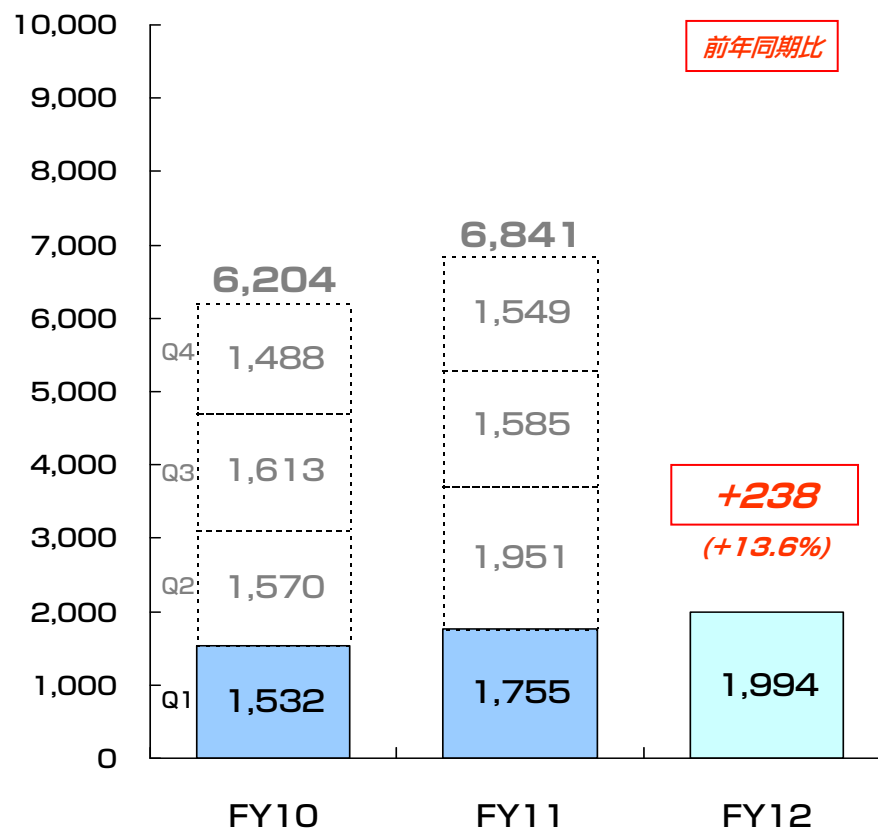
営業利益 (移動体通信事業)

<億円>



EBITDA (移動体通信事業)

<億円>



- ※ 1. 当社が移動体通信事業セグメントを設置した2006年度以降
- 2. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額
- 3. SB: ソフトバンク

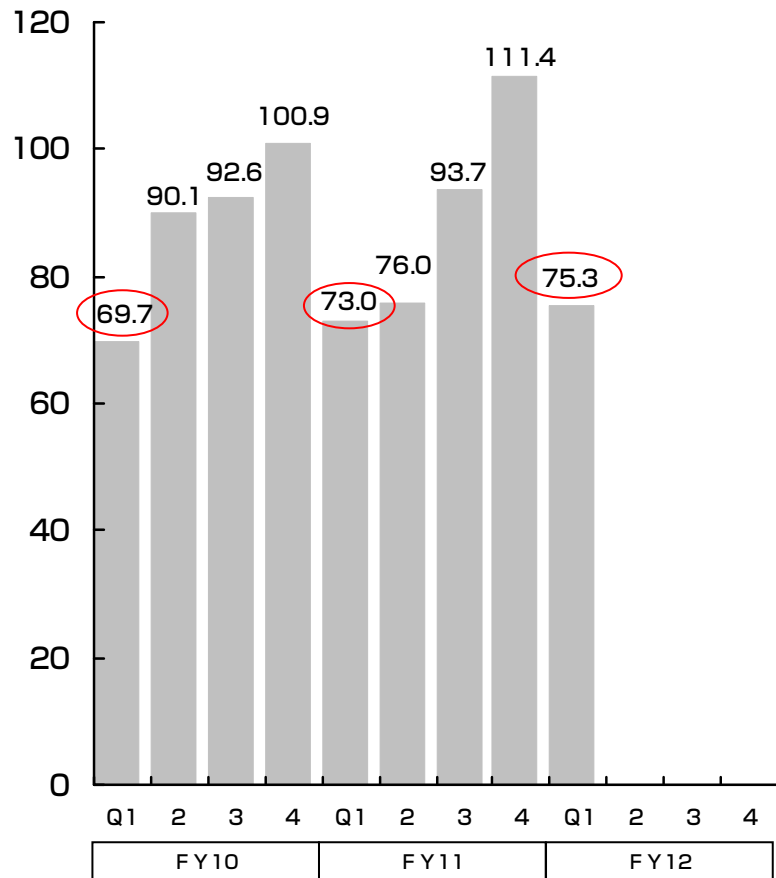
契約数（四半期純増数・累計）

<移動体>

■ Q1純増は75.3万件(過去最高)。累計は前年同期比 +356万件。

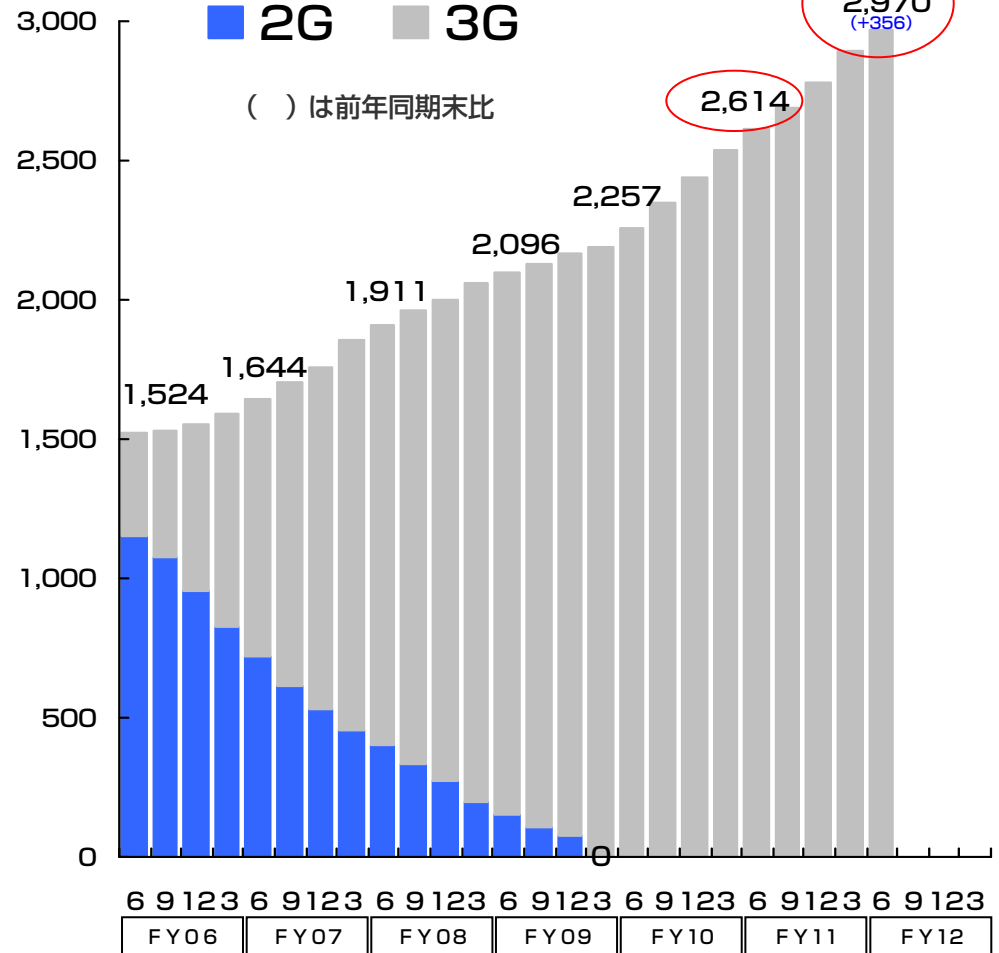
<万件>

純増契約数



<万件>

累計契約数

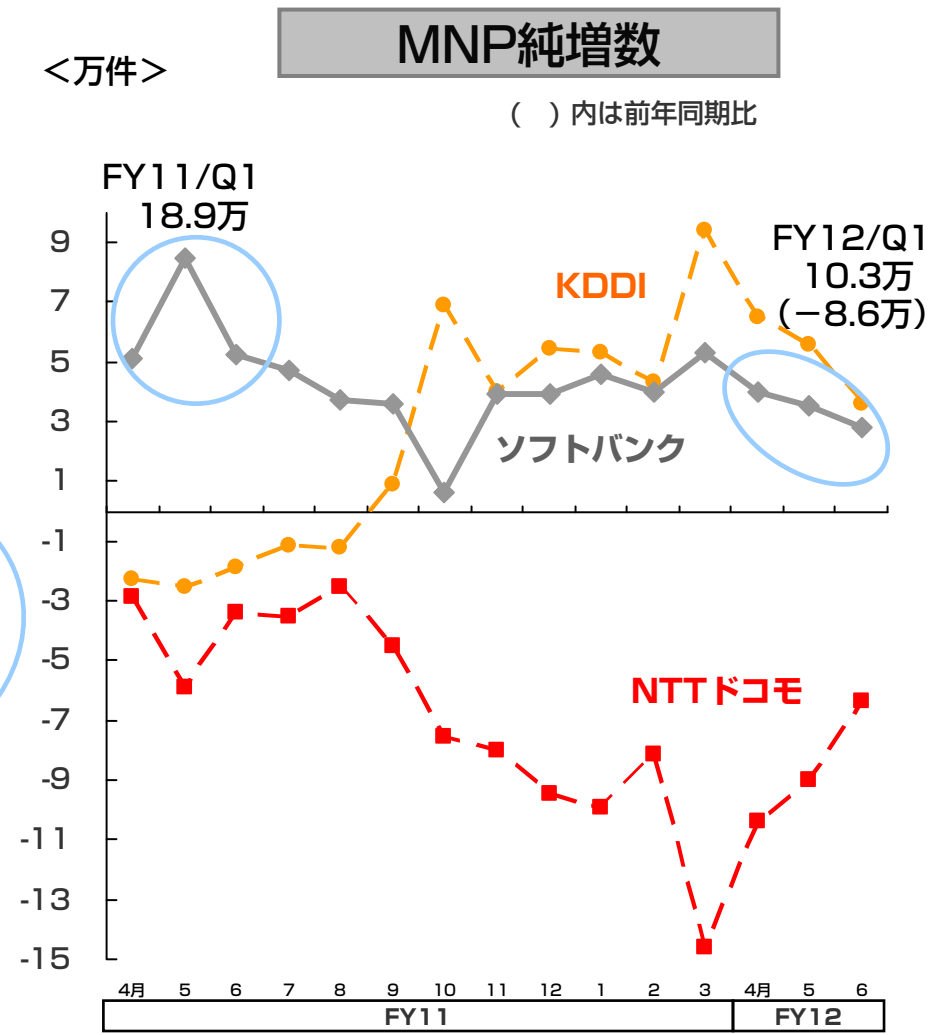
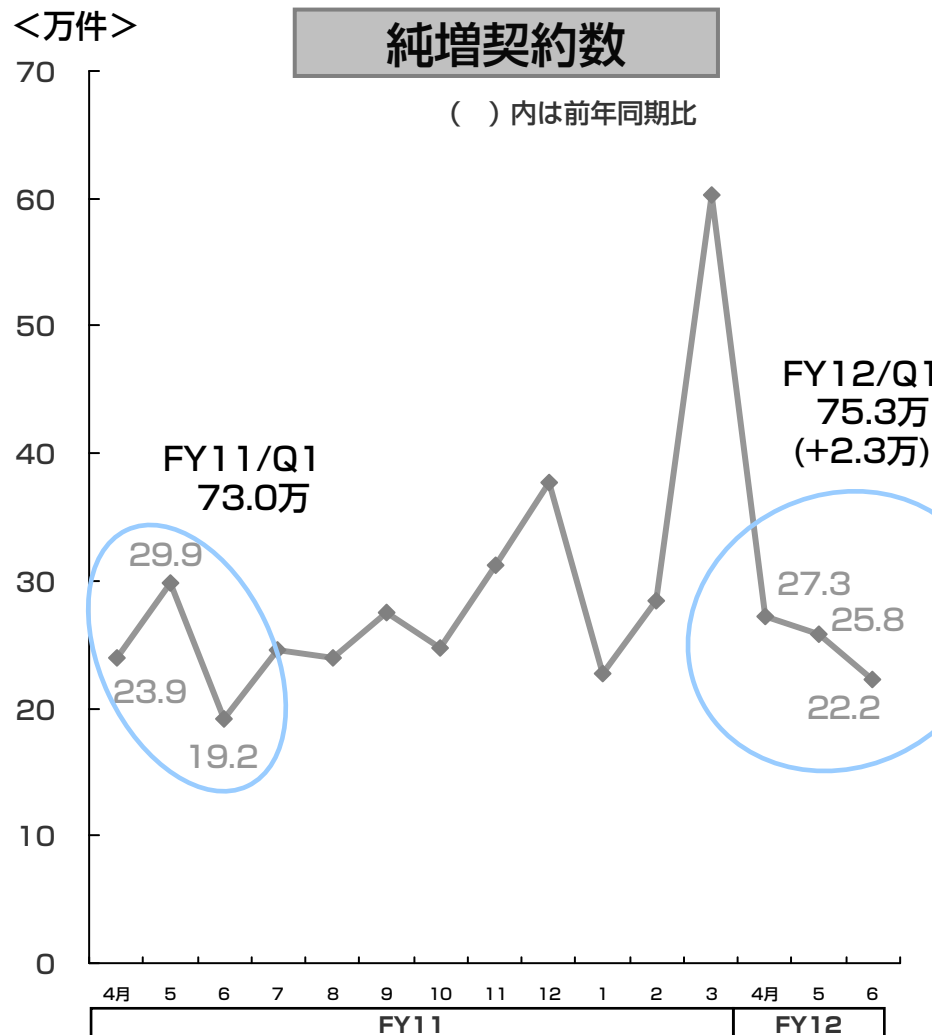


※純増契約数および累計契約数は、プリペイド式携帯電話および通信モジュールの契約数を含む

純増契約数（月次）

<移動体>

■Q1の純増数は75.3万で過去最高、MNPは10.3万と堅調。



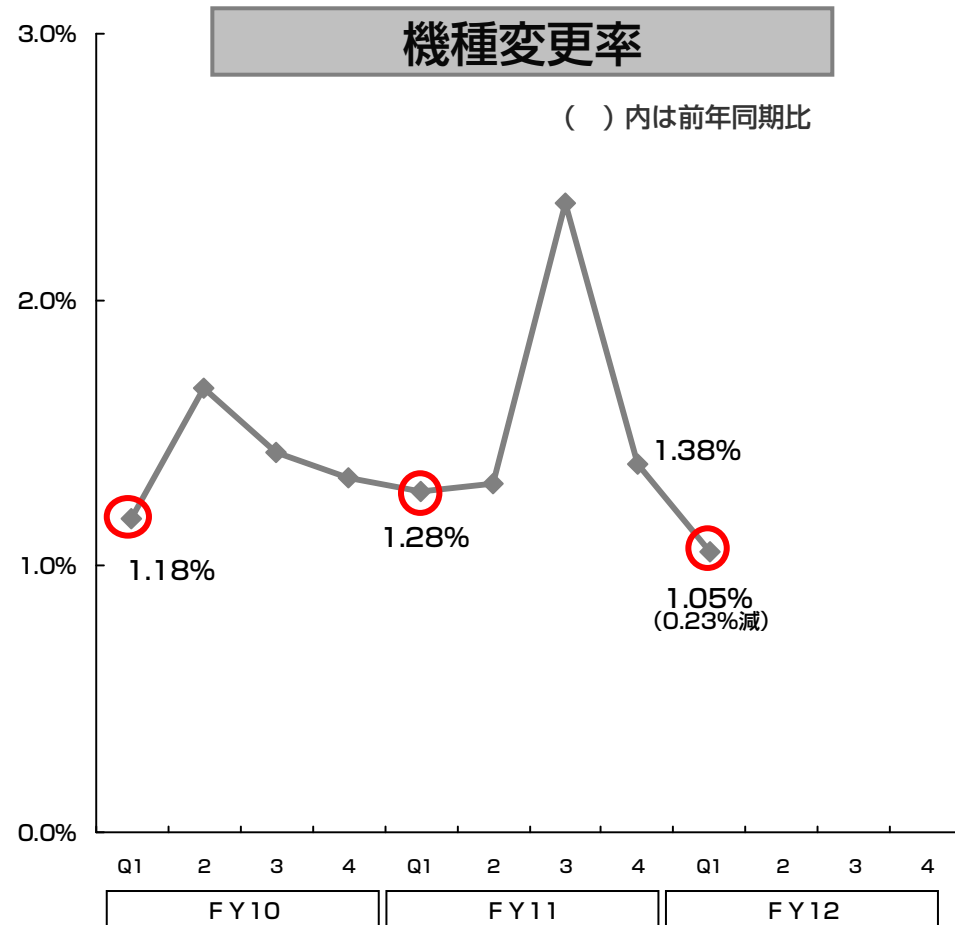
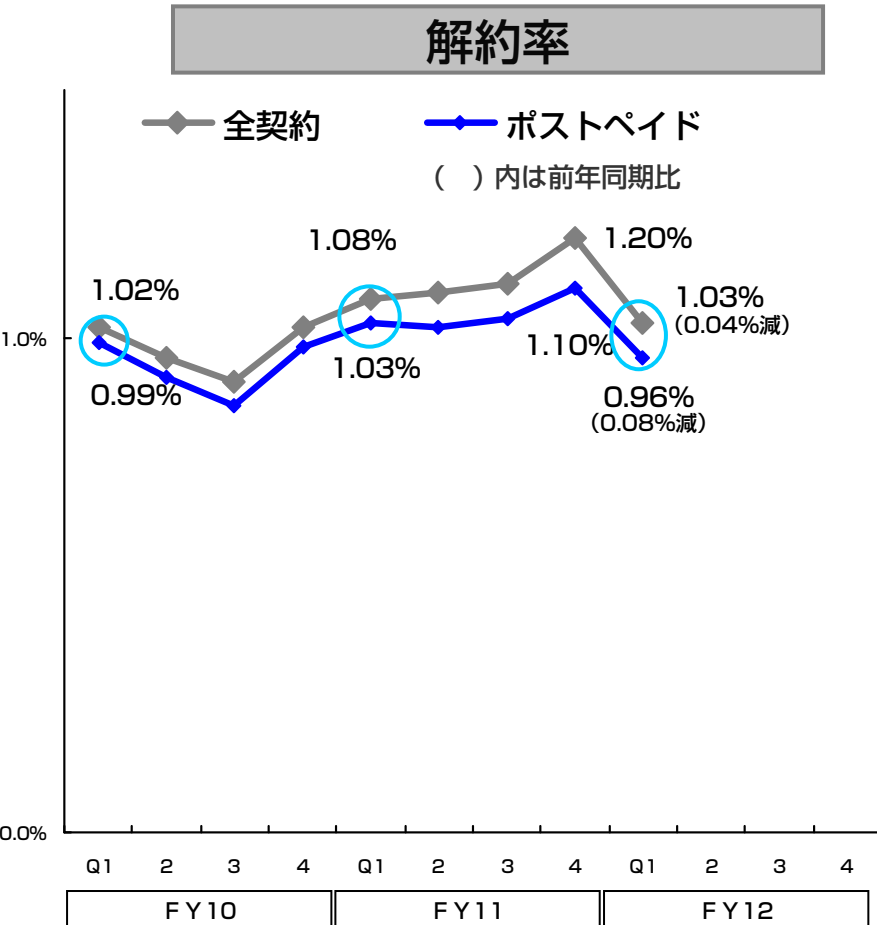
※純増契約数：プリペイド式携帯電話および通信モジュールの契約数を含む

※当社調べ

解約率と機種変更率

<移動体>

- 解約率：前年同期比 0.04%改善(全契約) 0.08%改善(ポストペイド)
- 機種変率：前年同期比 0.23%低下。過去最も低い水準。



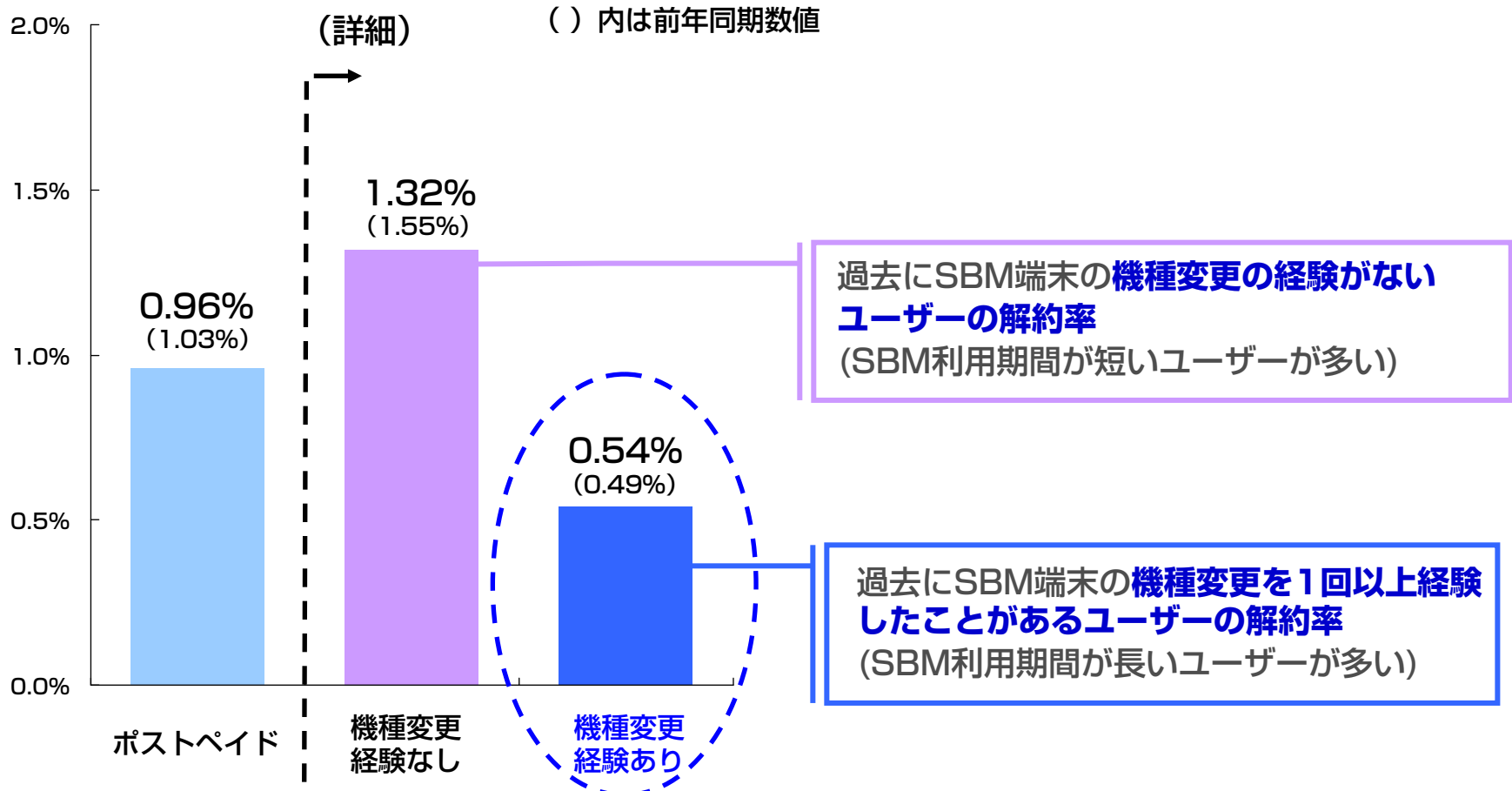
※1. 解約率、機種変更率の定義および算出方法については、本資料P.81を参照
 2. 解約率(ポストペイド)は、通信モジュールおよび通話機能のない端末の契約数および解約数を含めて算出

解約率詳細 (FY12/Q1)

<移動体>

■機種変更経験の有無で大きな差。

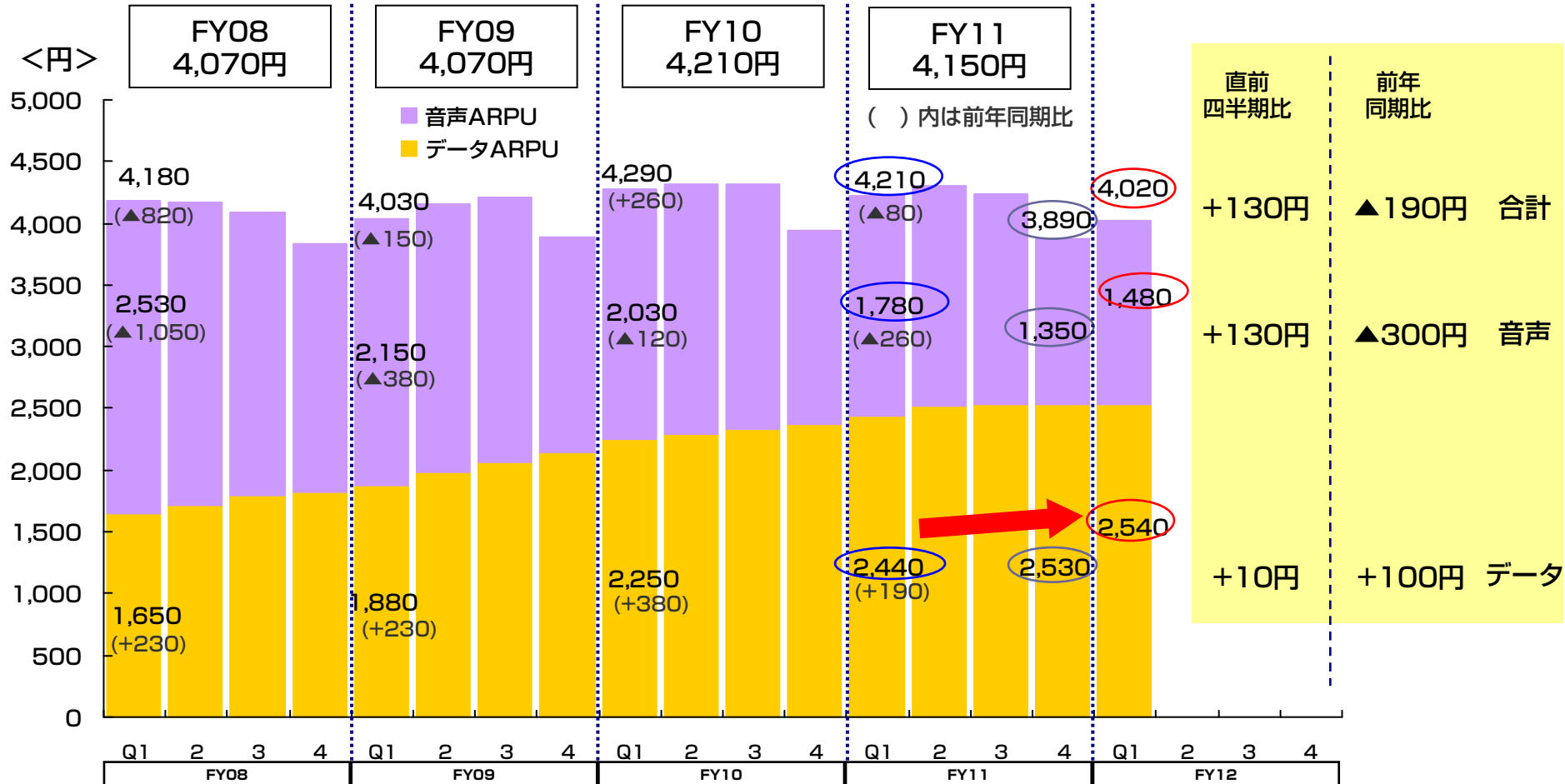
解約率 (ポストペイド) FY12/Q1
<機種変更経験の有無別>



※ 1. 解約率 (ポストペイド) : 通信モジュールおよび通話機能のない端末の契約数および解約数を含めて算出
2. SBM : ソフトバンクモバイル

ARPU（1契約あたり月間平均収入）<移動体>

- 直前四半期比：130円増加、データは10円増加。
- 前年同期比：190円減少、データは100円増加。



※ ARPU (Average Revenue Per User) : 1契約あたりの月間平均収入 (10円未満を四捨五入して開示しています)

ARPUは、月月割 (新スーパーボーナス特別割引) が控除された金額となります。なお、ARPUの定義および算出方法については、本資料P.81を参照

(参考) 月月割の影響

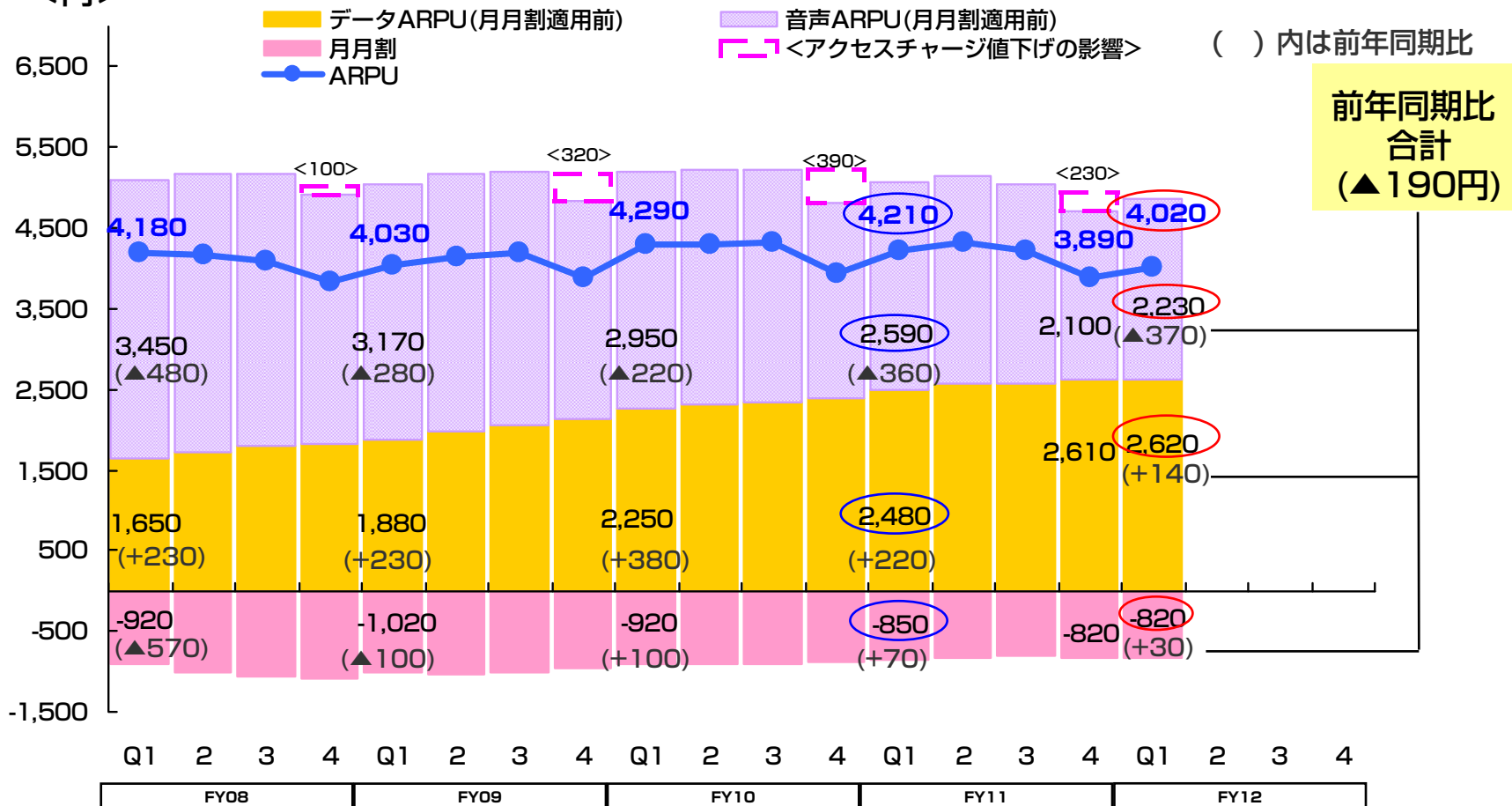
ARPU (1契約当たりの月間平均収入)

<移動体>

(月月割別記)

■ 前年同期比：基本使用料+音声 ▲370円、データ +140円、月月割の影響 +30円

<円>



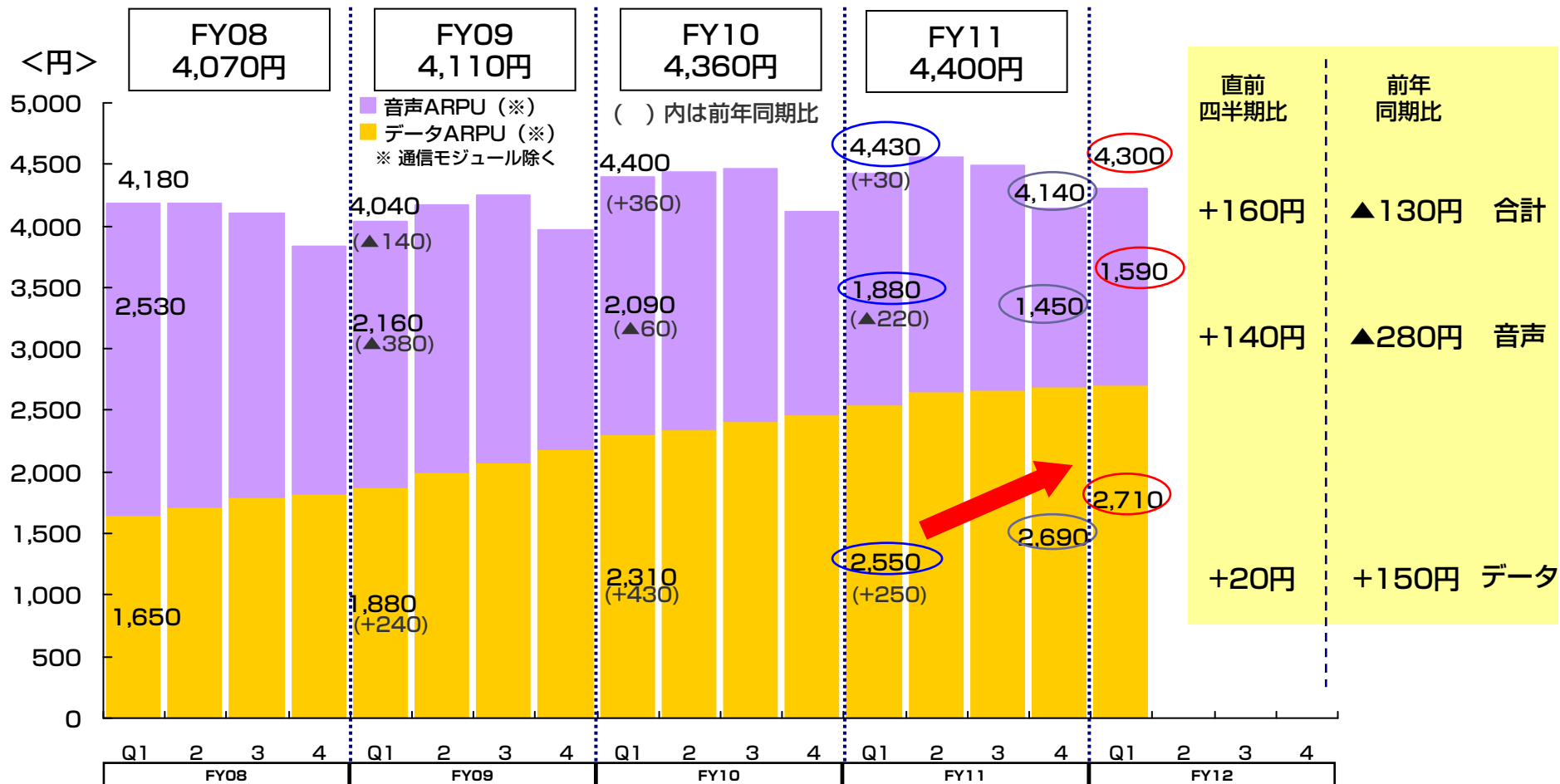
※ ARPU (Average Revenue Per User) : 1契約当たりの月間平均収入 (10円未満を四捨五入して開示しています)

ARPUは、月月割 (新スーパーボーナス特別割引) が控除された金額となります。なお、ARPUの定義および算出方法については、本資料P.81を参照

(ご参考) ARPU (通信モジュール除く)

■ 直前四半期比：160円増加、データは20円増加。

■ 前年同期比：130円減少、データは150円増加。



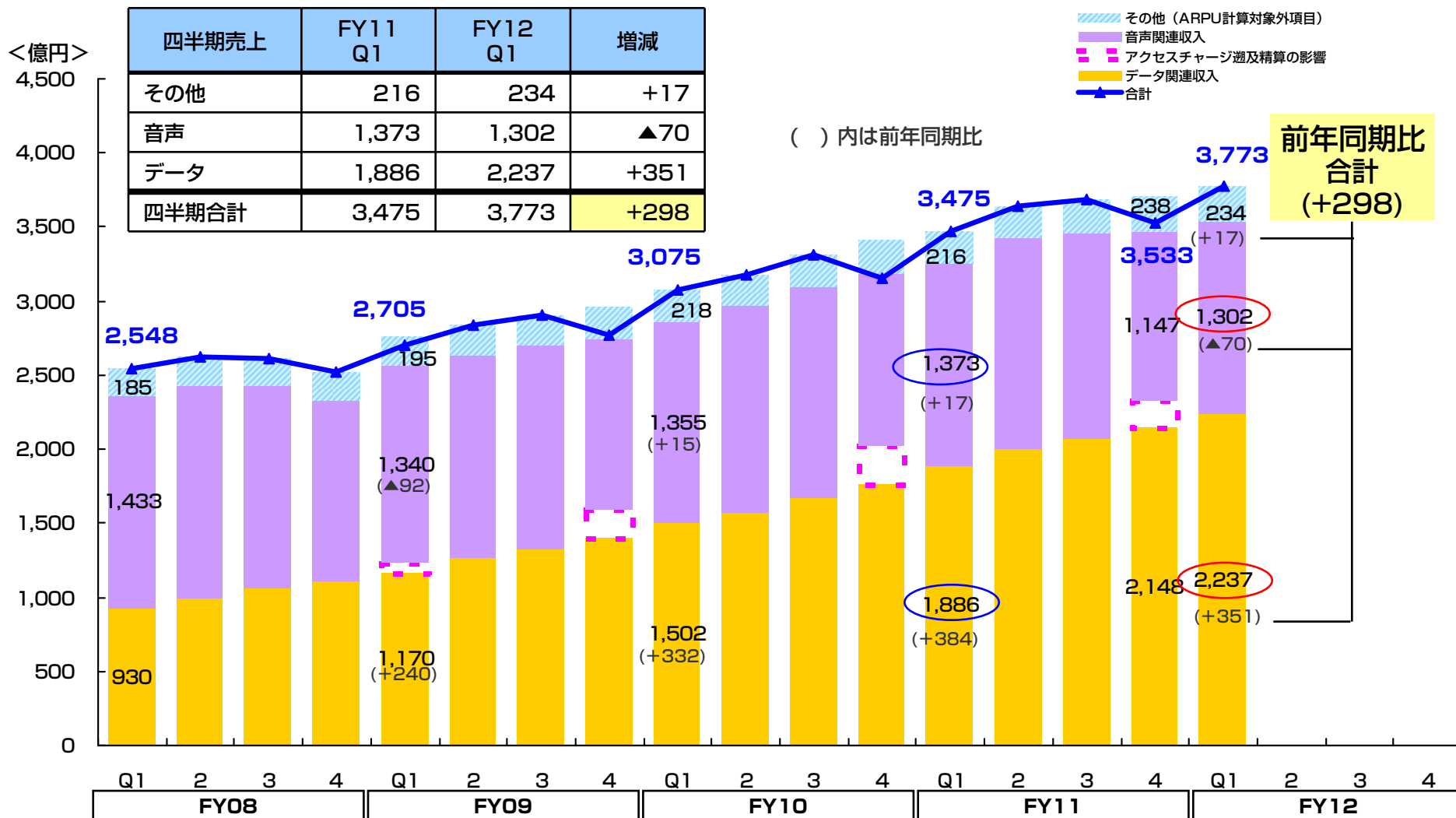
※ ARPU (Average Revenue Per User) : 1契約当たりの月間平均収入 (10円未満を四捨五入して開示しています)

ARPUは、月月割 (新スーパーボーナス特別割引) が控除された金額となります。なお、ARPUの定義および算出方法については、本資料P.81を参照

SBM通信料収入の推移

<移動体>

■対前年同期比298億円増加。データ収入増（351億）が大きく寄与。

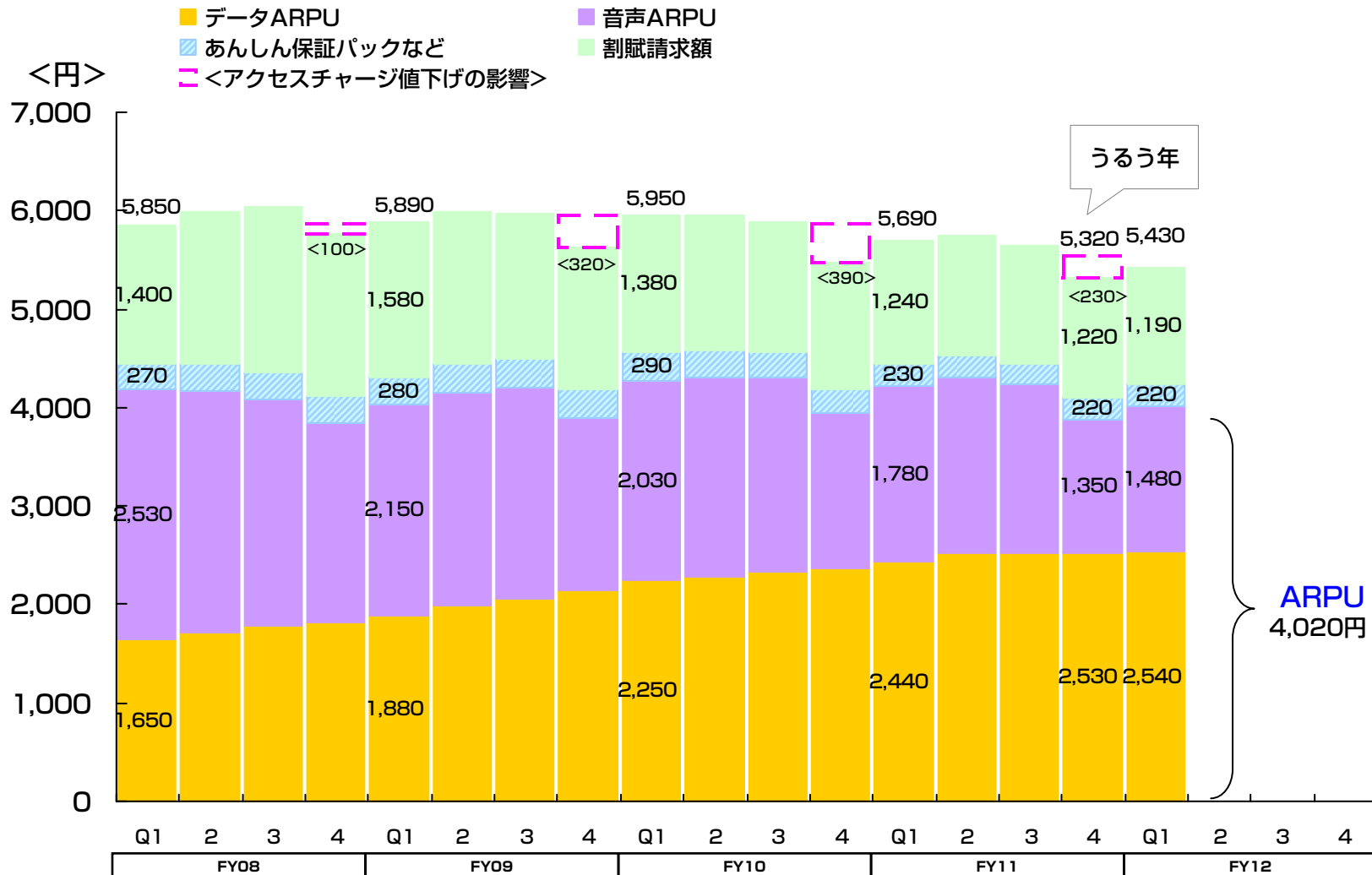


※ 音声関連収入とは通話料、着信料収入、基本使用料などを、データ関連収入とはパケット通信料などを指します。

1 契約当たり現金収入(割賦請求額含む)

<移動体>

■ 1 契約当たり現金収入は、微減傾向。



※ 1 契約当たり現金収入=ARPU (音声 ARPU+データ ARPU) + 端末割賦請求分+あんしん保証パックなど (10円未満を四捨五入して開示)
 なお、ARPUの定義および算出方法については、本資料P.81を参照。
 アクセスチャージ値下げの影響：事業者間接続料金の改定による値下げの影響（各期の12ヵ月分）を一括して表示

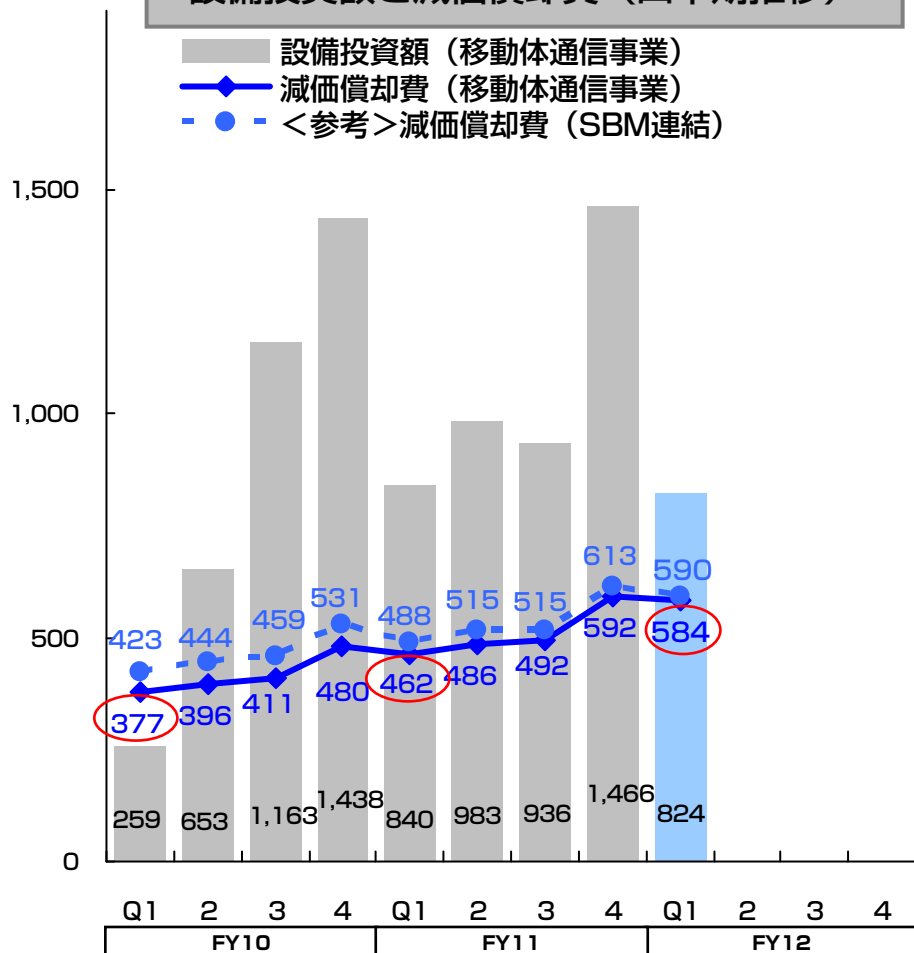
設備投資（検収ベース）

<移動体>

■年間計画は5,000億円（Q1進捗率16%）、減価償却は上昇傾向。

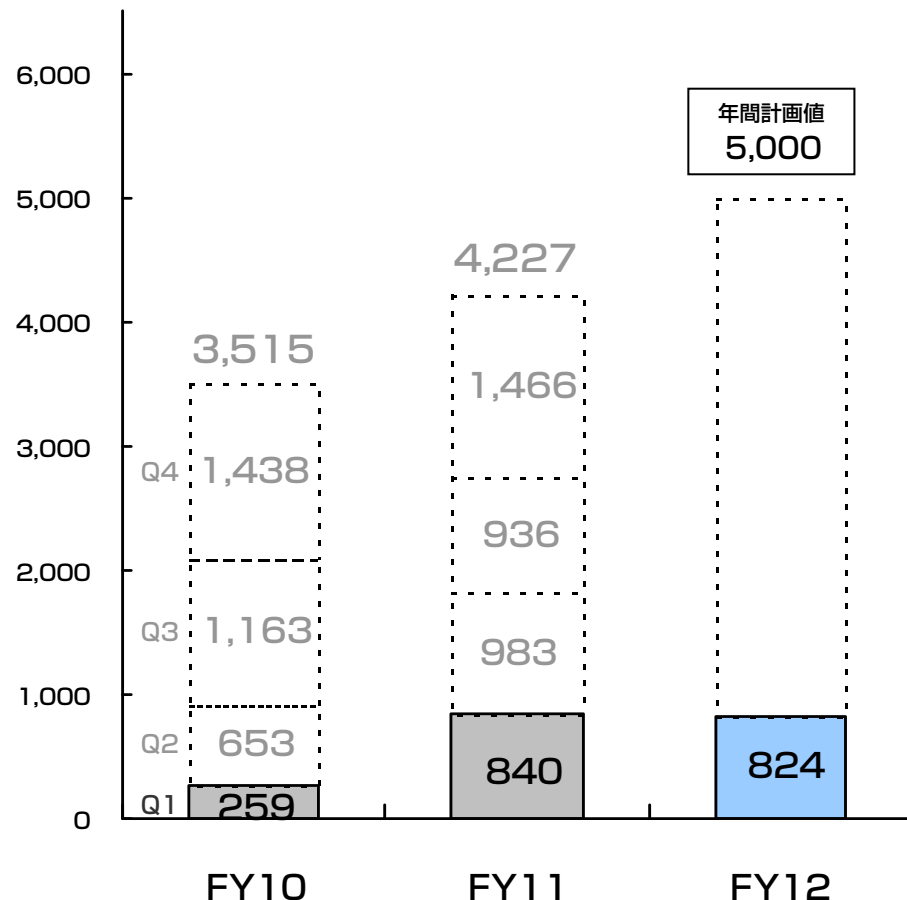
設備投資額と減価償却費（四半期推移）

■ 設備投資額（移動体通信事業）
 ◆ 減価償却費（移動体通信事業）
 - ● - <参考>減価償却費（SBM連結）



<億円>

設備投資額（年度推移）



※ 1. FY11Q3より、減価償却費に「営業費用に含まれる固定資産除却損」を含めています。これに伴い過去の減価償却費についても、同様の方法にて組替再表示しています。
 2. SBM：ソフトバンクモバイル

新スーパーボーナス加入率

<移動体>

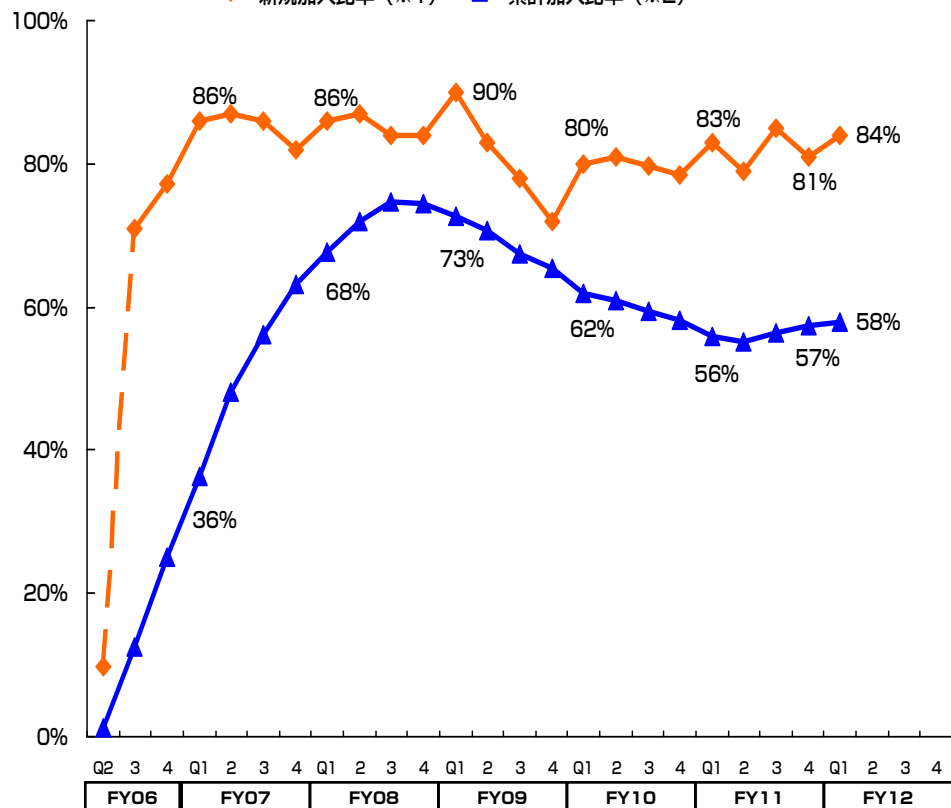
■新規加入率は80%前後で安定推移。

■割賦債権売却を継続。

新スーパーボーナス加入率

(スーパーボーナスを含む)

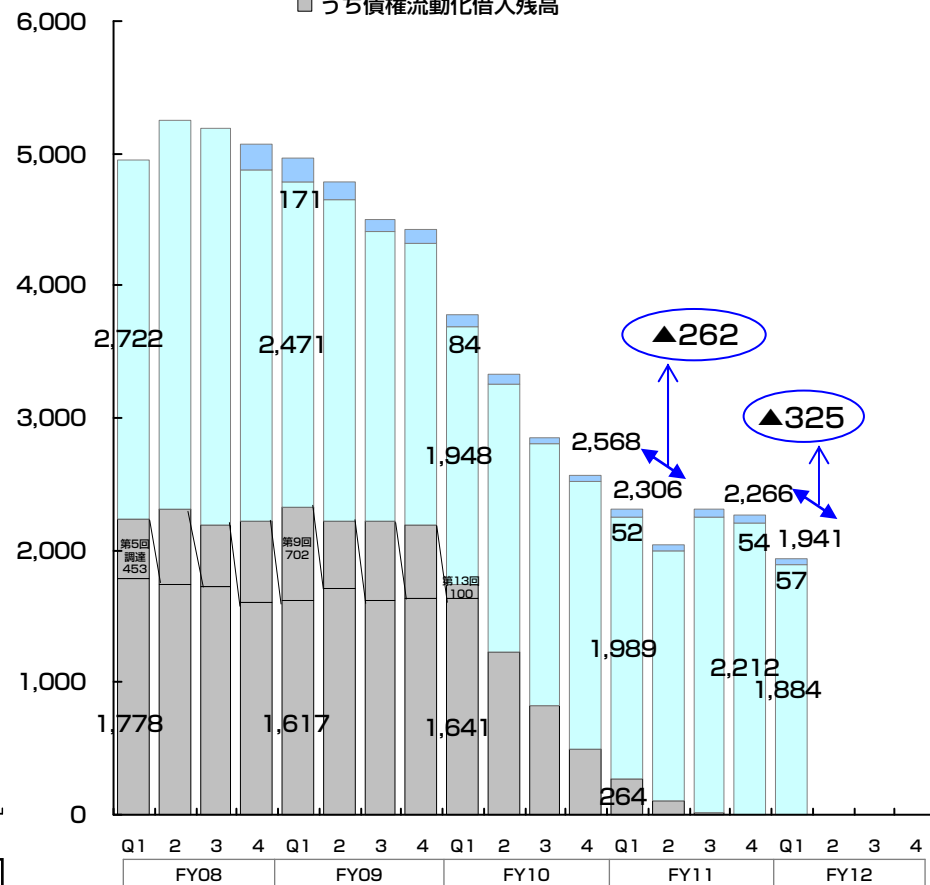
◆ 新規加入比率 (※1) ▲ 累計加入比率 (※2)



割賦債権残高

<億円>

■ うち長期の残高
■ うち債権流動化借入残高

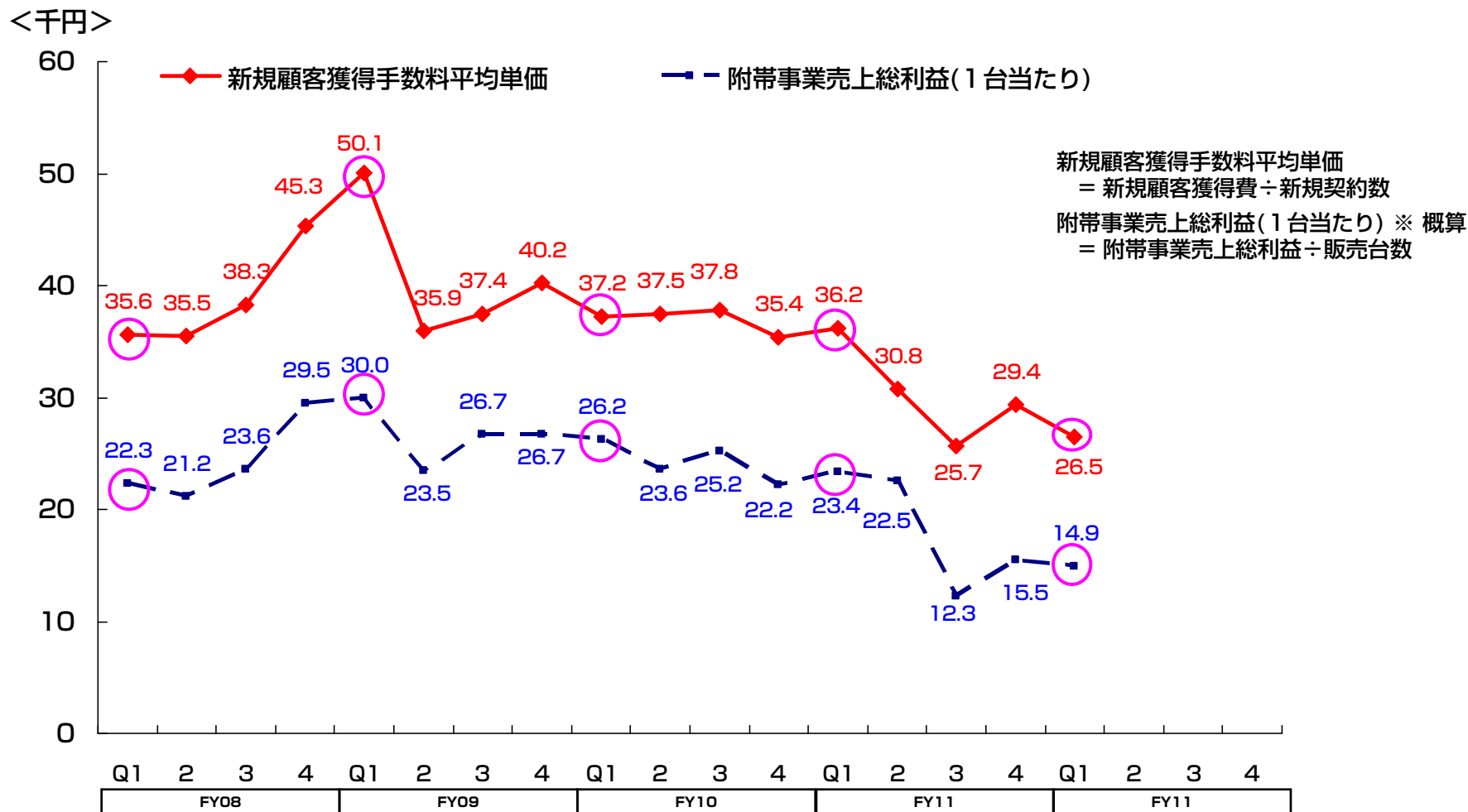


※1. 新規加入比率=期中の新規契約数(ポストペイド)および機種変更件数に占める新スーパーボーナス加入比率
 ※2. 累計加入比率=ポストペイド契約数に占める新スーパーボーナス契約数(月月割が終了した契約を除く)の比率

新規顧客獲得手数料と附帯事業売上総利益

<移動体>

■ 手数料単価の低い端末の販売構成比率の上昇などで減少。



※新規契約数には、プリペイド式携帯電話および通信モジュールを含みます。

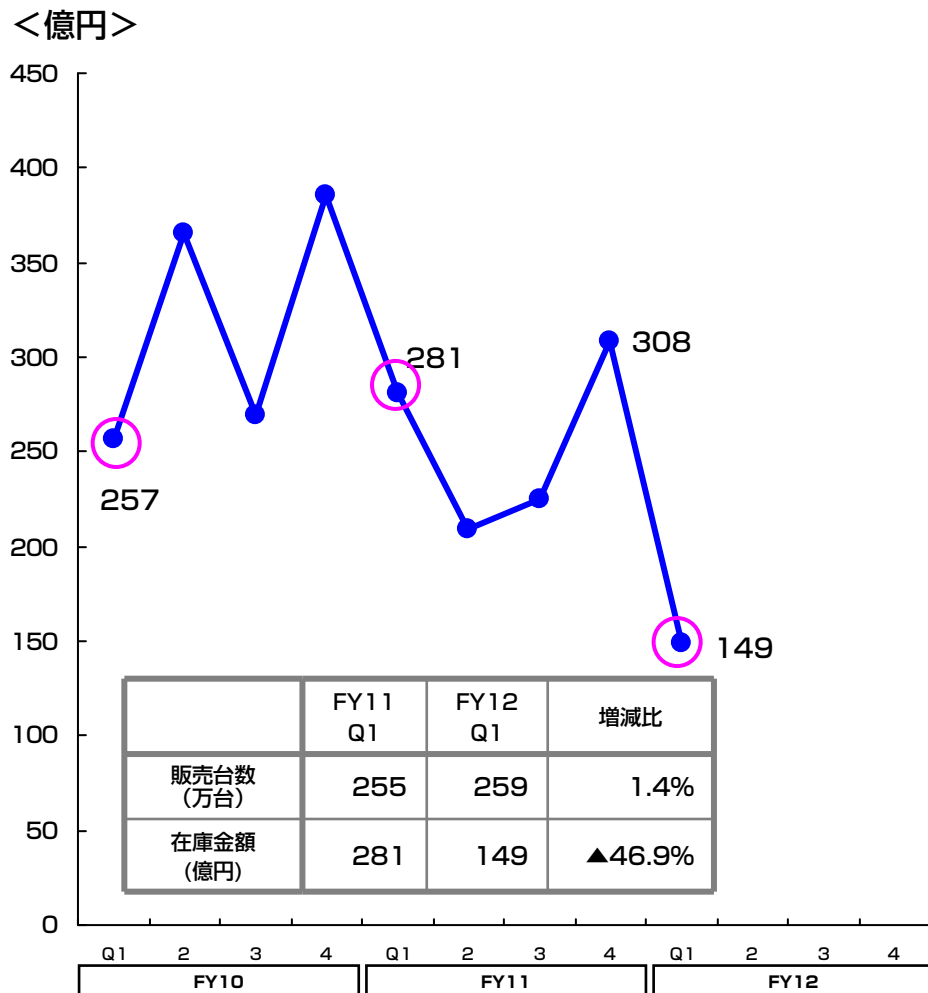
販売台数：新規契約数と機種変更数の合算値

経営の効率化推進

<移動体>

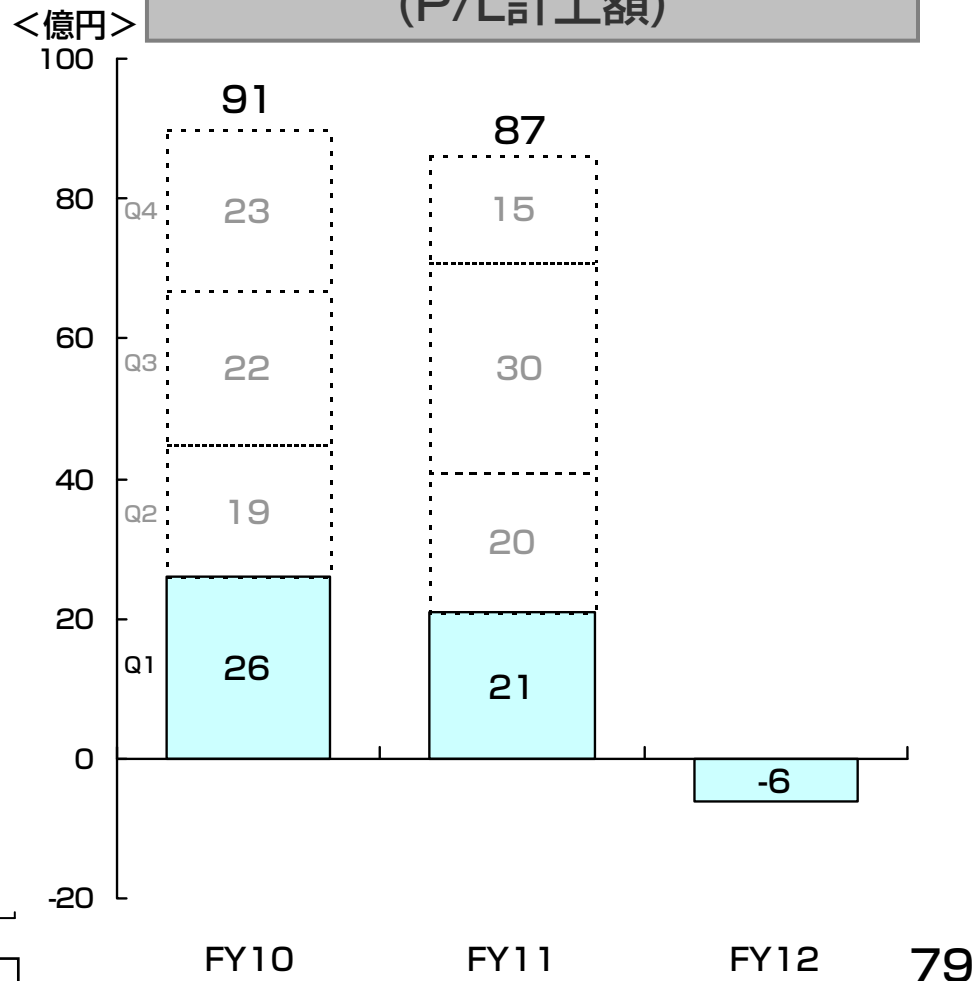
■ 在庫は過去最低水準。

SBM 在庫金額(B/S計上額)



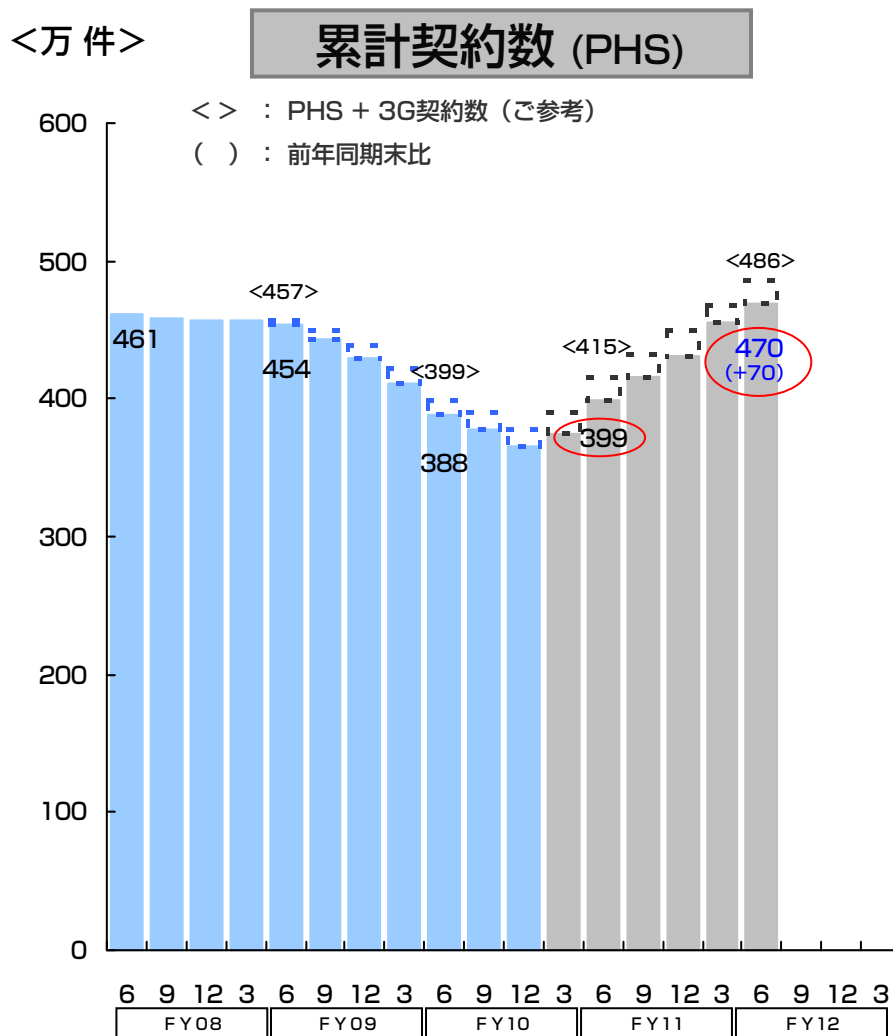
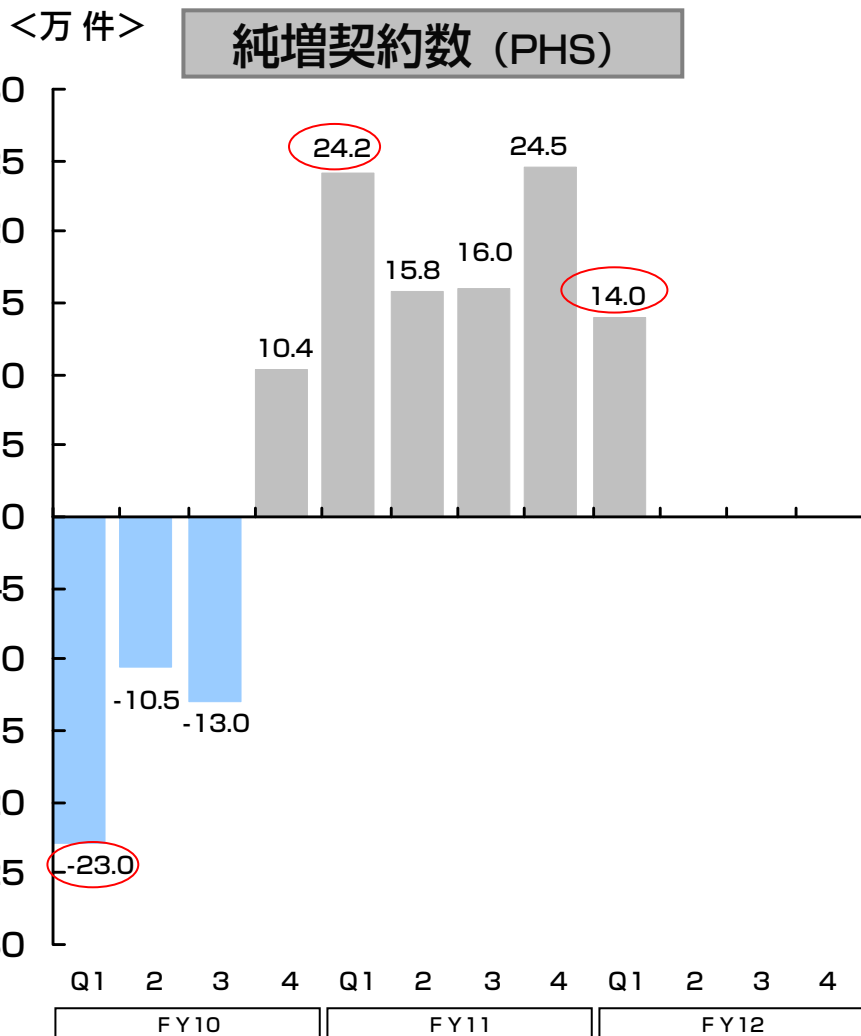
■ 戻入の影響あり。

SBM 割賦債権貸倒関連費用推移 (P/L計上額)



(参考) ウィルコム契約数 (四半期純増数・累計)

■ Q1純増は14.0万件。累計は470万件 (前年同期比 +70万件)



移動体通信事業のARPU等の定義および算出方法

<移動体>

ARPUの定義および算出方法

ARPU (Average Revenue Per User) : 1 契約当たりの月間平均収入 (10円未満を四捨五入して開示しています)。

ARPU = (音声関連収入 + データ関連収入) ÷ 稼働契約数 = 音声ARPU + データARPU

ARPU (通信モジュール除く) = (音声関連収入 + データ関連収入 - 通信モジュール関連収入)
÷ 稼働契約数 (通信モジュール除く)

音声ARPU = 音声関連収入 (通話料、着信料収入、基本使用料など) ÷ 稼働契約数

データARPU = データ関連収入 (パケット通信料など) ÷ 稼働契約数

稼働契約数 : 当該期間の各月稼働契約数 ((月初契約数 + 月末契約数) ÷ 2) の合計値。

プリペイド式携帯電話や通信モジュール、通話機能のない端末を含む、ソフトバンクモバイル(株)の全契約数で算出しています。

ARPU (通信モジュール除く) の算定における稼働契約数からは、通信モジュールを除く。

着信料収入 : 他の通信事業者の顧客がソフトバンク携帯電話へ通話する際に、ソフトバンクモバイル(株)が役務提供している区間の料金として他の通信事業者から受け取る接続料。

解約率の定義および算出方法

解約率 = 解約数 ÷ 稼働契約数 (小数点第3位を四捨五入して開示しています)。

解約数 = 当該期間における解約総数

稼働契約数 : 当該期間の各月稼働契約数 ((月初契約数 + 月末契約数) ÷ 2) の合計値。

プリペイド式携帯電話 (3Gポストペイドの稼働契約数には含まず) や通信モジュール、通話機能のない端末を含む、ソフトバンクモバイル(株)の全契約数で算出しています。

機種変更率の定義および算出方法

機種変更率 = 機種変更数 ÷ 稼働契約数 (小数点第3位を四捨五入して開示しています)。

機種変更数 = 当該期間における機種変更総数

稼働契約数 : 当該期間の各月稼働契約数 ((月初契約数 + 月末契約数) ÷ 2) の合計値。

プリペイド式携帯電話や通信モジュール、通話機能のない端末を含む、ソフトバンクモバイル(株)の全契約数で算出しています。



- 本資料に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。
- 本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。